令8現単観エ-1号

魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書（そのⅠ）	A-20	展開図-1	S-06	合成床仕様書
A-02	特記仕様書（そのⅡ）	A-21	展開図-2	E-01	（建設時）電気設備工事特記仕様書
A-03	（建設時）設計概要書、案内図、求積図	A-22	展開図-3	E-02	分電盤結線図・幹線系統図
A-04	配置図	A-23	展開図-4	E-03	1階・2階コンセント・通信設備図
A-05	仕上表	A-24	1階建具キープラン	E-04	1階・2階電灯設備図
A-06	１階平面図	A-25	2階建具キープラン	E-05	照明器具姿図
A-07	２階平面図	A-26	建具表-1	E-06	火災報知機系統図
A-08	屋根伏図	A-27	建具表-2	E-07	1階・2階火災報知設備図
A-09	立面図	A-28	オイルタンク雪囲い、犬走り図	M-01	（建設時）衛生設備工事特記仕様書
A-10	断面図	A-29	現況図、造成図	M-02	衛生設備配置図、桝一覧表
A-11	天井伏図	A-30	仮設計画図	M-03	衛生設備器具表・系統図
A-12	矩計図	A-31	仮設計画平面図（JR設備までの距離記載）	M-04	1階衛生設備平面図
A-13	内部階段詳細図	A-32	仮設計画断面図（JR設備までの距離記載）	M-05	2階衛生設備平面図
A-14	外部階段詳細図	A-33	基礎伏図（JR設備までの距離記載）	M-06	1階・2階衛生設備各部詳細図
A-15	１階平面詳細図	S-01	基礎伏図、基礎詳細図、各部配筋図	M-07	（建設時）空気調和設備工事特記仕様書
A-16	2階平面詳細図	S-02	小屋伏図、2階梁伏図	M-08	暖房、換気設備機器表・系統図
A-17	各部詳細図ー1	S-03	軸組図、共通注意事項	M-09	1階暖房、換気設備平面図
A-18	各部詳細図ー2	S-04	鉄骨基準図、部材リスト	M-10	2階暖房、換気設備平面図
A-19	各部詳細図ー3	S-05	構造詳細図		

有限会社サクライ設計

魚沼市入広瀬雪国観光会館
解体撤去工事設計図

魚沼市産業経済部観光課
令和　7年　1月（全　57枚）

建物概要

工事場所	魚沼市大栃山136番6		
敷地面積	620.0 ㎡		
用途	展示場		
構造・階数	S造　2階建		
建築面積	259.3㎡ （うち解体　259.3㎡）	延べ面積	367.1㎡ （うち解体　367.1㎡）
区域区分	区域区分未設定都市計画地域	用途地域	指定なし
防火地域	法第22条区域指定なし		
その他の区域	騒音規制法による規制　※あり（第　号区域）　・なし 振動規制法による規制　※あり（第　号区域）　・なし 砂防指定地内　・あり　・なし 地すべり防止区域　・あり　・なし		

※建物の棟別の詳細は、設計図を参照。

施工条件

項目	適用・条件等
作業時間等	※指定あり　・指定なし （ありの場合の条件） ・騒音、振動規制法による作業禁止日、時間帯　（特定建設作業に限る。） ・夜間作業　※行わない ・
駐車場その他	工事用車両の駐車場所　・場内（任意）　・図示 資機材の置場所　・場内（任意）　・図示
着手前対応	※工事に先立ち、周辺住民に対して工事説明を行なう。（発注者同席予定） （説明会予定時期　・令和　年　月頃　・実施時期未定）
	※建築物除却届　※必要（施工者作成とする。）
その他施工条件	

仕様書

Ⅰ　共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定　建築物解体工事共通仕様書　令和４年版」（以下「解体共仕」という。）により、解体共仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 解体共仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
(1)「工事請負契約書」を「新潟県財務規則（昭和57年3月31日新潟県規則第10号）別記（第78条関係）　魚沼市財務規則　建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する解体共仕の項目については、解体共仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章　1節　2項の定義の(7)、(ｻ)及び(ｾ)
(2) 1章　1節　6項　工事検査の(2)及び(3)

4. 解体共仕の次の項目の規定は適用しない。
1章　1節　2項の定義の(ｿ)
1章　1節　6-2項　技術検査

別　表（建築工事）

号	項目	置き換え後の解体共仕の規定
	1章　一般共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条の規定に基づき受注者に通知された者をいう。
		(ｻ)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書及び新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。
(1)	1.1.2 用語の定義	(ｾ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査（ただし、②に係る検査を除く。）を含む。 ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）
(2)	1.6.1 工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

Ⅱ　特記仕様

1. 項目は、番号に　印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、　印の付いたものを適用する。
　印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　印と　印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の（　．　）内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
　特記事項に記載の（標仕　．　）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	工事実績情報の登録（CORINS）	※請負工事費 500万円以上の場合は登録する。　(1.1.4)
	2 監理技術者の要件	※1　建設業法施工規則第７条の３に基づく資格を有するもの。 2　建設業法第２６条第３項ただし書の規定を受ける監理技術者の配置は認めない。
	3 電気保安技術者	※要（　　）　(1.3.3)
	解体工事における監督者の要件	※解体工事の施工は、次のいずれかの者の監督の下で実施すること。 1　解体工事施工技士 2　解体工事の実務経験が１年半以上の者で、建設リサイクル法で定める「技術管理者」の資格要件を有する者。
	施工条件	※解体共仕によるほか、左記施工条件及び図示による。　(1.3.5)
	6 交通安全管理	(1.3.7)
	（出入りの管理）	※工事現場への出入口には、解体工事期間中、交通誘導員等を配置し、公衆の交通に支障をあたえないようにしなければならない。又、近接して他の建設工事等が行われる場合には、施工者間で交通の誘導について十分な調整を行い、交通の安全を図らなくてはならない。 ※工事現場への車両等を出入りさせる場合には、道路構造物及び交通安全施設等に損害を与えることのないよう注意しなければならない。なお損傷させた場合は、直ちに当該管理者の指示により復旧しなければならない。
	（巡視）	※交通安全巡視員等により工事現場内及びその周辺の安全巡視を敢行し、事故防止設備の完備及びその維持管理に努めなければならない。
	周辺構造物対策	※工事にあたって、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破損、汚損等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。
	公共設備等への対策	※工事による影響があると思われる範囲内の公共埋設物、架空線等の処理等について、十分配慮して工事しなければならない。 公共の埋設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法等を決定しておかなければならない。
	発生材の処理	※構外搬出適切処理　(1.3.10) 発注者に引渡しを要する発生材 ・ＰＣＢ含有物　・金属類 工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの ・
	10 施工数量調査	調査範囲　・図示　(1.4.2) 調査方法　・
	11 完成図等	※下記のものを作成し提出する。作成方法・部数等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図　・残置物等の配置図 ※竣工図（A1　部　A3　部）・ＣＡＤデータ ・下記図面をＣＡＤデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。 案内図、配置図、残置物等の配置図、その他監督員が指示した図面
	12 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	工事完成写真	工事完了後、整理のうえ監督員に提出する。　※提出部数　1 部
	工事施工状況写真	撮影は、工事に係る材料、施工状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　営繕工事写真撮影要領（平成31年版）・同解説　工事写真の撮り方 建築編」を参考に、撮影計画書を作成して監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数　1 部
2 仮設工事	騒音・粉じん等の対策	・防音パネル　・防音シート　・養生シート　(2.2.1) 防音パネルの設置範囲と高さ 設置範囲： 高　さ：
	足場その他	外部足場は枠組足場とする。　(2.2.2) 「手すり先行工法に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」に基づく足場の設置に当たっては、同ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 内部解体足場　・架台足場　・枠組棚足場　・枠組本足場　・脚立足場
	総合仮設計画	※現場作業の安全確保、及び第三者災害の防止を目的として総合仮設計画を作成し、監督員の承諾を受ける。
	4 監督員用事務所等	・監督員事務所　・10　・20　・35　・65　・　㎡程度を設ける。　(2.3.1) ・仮設事務所の中に監督員用空間を　㎡程度確保する。 ・監督員が使用できる備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・保護帽　ケ　・雨具　着　・長靴　足　・安全帯　組
	工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。
	8 山留めの撤去	埋め戻し　・砂　(2.4.3)
3 解体施工	事前措置	※浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。　(3.2.1) ※オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油を処理し、洗浄等を行う。
	機器等の解体	※工事範囲内の機器類は、各種別ごとに分別解体する。　(3.4.1) 設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、バッテリー液・フロンガス等は関係法令に基づき適正に処分する。
	基礎及び杭	杭の撤去　※行う　・残置　(3.9.2) 残置または一部撤去の場合の処理 ※杭種、杭径、位置、杭頭部高さ等の記録を整備し、監督員に提出する。 解体方法　※引抜き　・破砕　・杭頭はつり（　mまで） 引き抜いた杭の処理　・ 杭撤去跡の処理　・山砂　・流動化処理土　・セメントミルク　・ 杭の種類 ・遠心力鉄筋コンクリートくい　・高強度プレストレスコンクリートくい ・場所打ちコンクリートくい　・木ぐい ・ＲＣパイル

建物名等	杭径	長さ	本数	備考

4 さく、照明設備等の付属物	付属物の解体　・行わない　・行う（・　・図示）　(3.10.1)	
5 構内舗装等	樹木等の伐採・伐根　・行わない　・行う（・　・図示）　(3.11.1) 支障となる樹木の移植　・行わない　・行う（・　・図示）	
6 地下埋設物及び埋設配管	撤去する地下埋設物、埋設配管　(3.12.1) あり（・図示　・　）　・なし	
7 解体後の整地	埋戻し及び盛土　Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(標仕3.2.3)(標仕表3.2.1) 発生土の処理　・構内指示の場所　（・敷均し　・堆積　）　(標仕3.2.5) ・構外搬出適切処理（指定場所：　） ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする	
8 火気使用作業等	※解体工事時にガスバーナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生の危険性がある場合には、事前に所轄の消防署へ連絡し、適切な措置を講じて作業しなければならない。	
4 建設廃棄物の処理	再資源化等	中間処理、再資源化施設　※「追加特記６ 建設廃棄物の処理」による。　(4.4.1) 再資源化する建設廃棄物 ※建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物　※金属類 ※資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 ※資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 ・廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ・硬質ポリ塩化ビニル管及び継手　・ガラス 指定建設資材廃棄物としての木材の縮減（焼却）　※不可　・可 再資源化して現場で利用する建設廃棄物 ・
4 建設廃棄物の処理	処理に注意を要する建設廃棄物	(4.5.1) 処理に注意を要する建設廃棄物 ・せっこうボード（石綿含有）　・せっこうボード（ひ素・カドミウム含有） ・せっこうボード（上記以外） ・ＣＣＡ処理木材（クロム・銅・ひ素化合物系防腐処理木材） 処理の方法 ・解体共仕第４章５節による。 施工に先立ち、処理計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。
5 特別管理産業廃棄物の処理	廃石綿等	※６　石綿含有建材の除去及び処理による。　(5.4.1(1))
	ＰＣＢ含有機器類	調査方法　※製造所、製造年、型式等による調査　(5.4.1(2)) ・専門分析機関による微量ＰＣＢ分析調査 調査対象　・ 上記のほかにも含有が疑われる機器があった場合は調査を行う。
	ＰＣＢ含有シーリング材	事前調査等　・行う（下記の要領で分析する）　・行わない　(5.4.1(3)) 現場においてｻﾝﾌﾟﾙを採集し、専門分析機関で分析を行う。 採取箇所　※外壁目地　・建具周囲目地　・図示 採取箇所数　・部材が異なる毎に1箇所　・図示 分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う。 調査範囲　※工事範囲全て　・図示 調査内容　ｼｰﾘﾝｸﾞ使用部位及び長さの確認 施工範囲と工事監理区分の確認 仮設計画 廃棄物等の搬出方法
	廃油	処理方法　焼却処分　・中間処理施設による再生処理　(5.4.1(4))
	廃酸・廃アルカリ	処理方法　・中和処理　・焼却処分　(5.4.1(5)) ・中間処理施設による再生処理
	ダイオキシン類	サンプリング調査　・行う　・行わない　(5.4.1(6))

材料名	調査箇所	測定方法

焼却施設の解体及び処分の方法
ダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成11年政令第 433号）その他関係法令に従い、適切に処理すること。

6 石綿含有建材の除去及び処理	共通	※建築物の解体等工事、石綿除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針（平成26年3月31日付け　技術上の指針公示第21号） ・建築物の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル（建設労働災害防止協会） ・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6（環境省・大気環境局大気環境課） ・石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について（平成29年５月30日付け 環水大大発第1705301号） ・石綿含有仕大気汚染防止法の一部を改正する法律について（令和２年11月30日付け 環水大大発第2011301号） ・石綿障害予防規則等の一部を改正する省令等の施行について（令和２年８月４日付け 基発0804第８号）
	施工調査	工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。　(6.1.3) 調査範囲　・　・図示 貸与資料　・

分析による石綿含有の調査　・行う（下表による）　・行わない

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	・　箇所	・　箇所
	・　箇所	・　箇所
	・　箇所	・　箇所

上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。

	石綿粉じん濃度測定	石綿粉じん濃度測定　・行う　行わない　[6.1.4] 測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各処理作業室ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・（ ）点
・	測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点　・（ ）点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・（ ）点
・	測定 4		ｾｷｭﾘﾃｨｿﾞｰﾝ入口	・（ ）点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	・出口吹出し風量　1m/s以下の位置各1点 ・（ ）点
・	測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点　・（ ）
・	測定 7	処理作業後	処理作業室内	・（ ）点
・	測定 8	（隔離ｼｰﾄ撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点　・（ ）

仕様書（そのⅠ）
Ver.030401

備考

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６　（小出東町）
一級建築士事務所登録(ﾁ)第１９２５号　TEL 025-792-3586・FAX 792-9990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人

設計者等氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第２４２２２号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026. 01
図面名称	特記仕様書（そのⅠ）	縮尺	

図面番号 A-01
構 電 機

6 石綿含有建材の除去及び処理

3 石綿粉じん濃度測定

測定方法

▪自動測定器による測定

測定名称	測定方法
▪測定 4 ▪測定 5	粉じん相対濃度(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん)計、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、繊維状粒子自動測定器(ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

▪JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
▪測定 4 ▪測定 5 ▪	25	5	30
▪測定 ▪	47	10	120
▪測定 ▪	47	10	240
▪測定 ▪			

4 石綿含有吹付け材の除去

除去工法 (6.3.2)

※解体共仕第６章３節による。

▪

5 石綿含有保温材等の除去

除去工法 (6.4.3)

※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。

▪掻き落し・破砕・切断等による除去を行う。

※「３ 石綿含有吹付け材の除去」により、作業場を隔離する。

6 除去した石綿含有吹付け材等のこん包及び飛散防止

除去した石綿含有吹付け材▪保温材等のこん包及び飛散防止 (6.3.2)(6.4.3)

※密封処理（二重袋梱包）

※湿潤化

▪固型化（※セメント固化 ▪ ）

⑦ 石綿含有成形板の除去

作業場の区画 (6.5.2)

建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位（出入口、換気口、窓等）は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生ｼｰﾄ等で塞ぐ。

石綿含有成形板の種類

材料名	使用部位	厚さ(mm)	備考
中空押出ｾﾒﾝﾄ板	外壁	15	
軽ｶﾙ板	軒天	5	

※上記以外に石綿含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。

8 除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等

除去した石綿等の処理 (6.3.3)(6.4.4)(6.5.4)

※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分

▪中間処理

▪アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理

▪大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理

7 追加特記

1 公共事業労務費調査への協力

※協力する

2 工事監理方式

共同監理 ▪ 有り ▪ 無し

3 適用基準等

▪営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室監修）

~~※工事運行ﾏﾆｭｱﾙ(新潟県土木部都市局営繕課作成)~~

▪

4 工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。~~※(様式等は、工事運行ﾏﾆｭｱﾙによる。)~~

⑤ 工事機械

（機械の選定）

※機械の選定に当たっては、地域の安全及び環境対策上、転倒、騒音、振動等について十分注意して行なわなければならない。また工事規模、施工方法等に見合った、安全な作業ができる能力をもった機械を選定しなければならない。機械の能力を十分に把握▪検討し、その能力を超えて使用してはならない。

（組立及び解体）

※機械の組立及び解体に当たっては、機械に精通した者の直接の指導により、定められた手順を厳守しなければならない。

（使用及び移動）

※建設機械を使用し又は移動させる場合は、機械類に関する関係法令を厳守し、架線その他の構造物に接触し、若しくは定められた範囲以上に近接し、又は道路等に損害を与えることがないようにしなければならない。

※建設機械を作動させる範囲は、原則として工事現場内としなければならない。やむを得ず工事現場外で使用させる場合には、作業範囲内へ立ち入りを制限する等措置を講じなければならない。

※架線、構造物又は工事現場の境界に近接して建設機械を使用する場合には、車止めの措置、ブームの回転に対するストッパーの使用、近接電線に対する絶縁材の装着、見張り員の配置等の措置を講じなければならない。

（移動式クレーン）

※移動式クレーンの選定に当たっては、自立できるもので、施工条件、近隣環境等と施工計画との関連を検討して、安全な作業ができる能力を持った機械を選定しなければならない。

※移動式クレーンを使用する場合には、作業範囲、作業条件を考慮して、安定度接地圧、アウトリガーの反力等の検討▪確認を行い、適切な作業地盤上で使用しなければならない。

※移動式クレーンを使用する場合には、高所及び敷地周辺から、吊荷、吊具等の落下、飛散等に十分注意すると共に、これらによる危害を防止するための措置を講じなければならない。

（排出ガス対策型等建設機械）

※共通事項特記仕様書 「排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書」による。

7 追加特記

6 建設廃棄物の処理等

1 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名▪所在地	備考

2 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名▪連絡先	備考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称		
工事場所／施設所在地		
連絡先		
仮置場所の有無		
備考		

④ 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	金属屑	ｺﾝｸﾘｰﾄ▪ﾓﾙﾀﾙ
処理施設名称	(有)渡辺鋼鉄店	ｸﾗｯｼｬﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（株）
施設所在地	魚沼市四日町381-1	南魚沼市茗荷沢1472-1
連絡先	025-792-6140	025-779-3330
備考	約 19 km	約 28 km

搬出する廃棄物名	ガラス陶磁器屑	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
処理施設名称	ｸﾗｯｼｬﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（株）	ｸﾗｯｼｬﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（株）
施設所在地	南魚沼市茗荷沢1472-1	南魚沼市茗荷沢1472-1
連絡先	025-779-3330	025-779-3330
備考	約 28 km	約 28 km

搬出する廃棄物名	木屑	ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ等混合物
処理施設名称	ｸﾗｯｼｬﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（株）	ｸﾗｯｼｬﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（株）
施設所在地	南魚沼市茗荷沢1472-1	南魚沼市茗荷沢1472-1
連絡先	025-779-3330	025-779-3330
備考	約 28 km	約 28 km

搬出する廃棄物名	石綿廃棄物	
処理施設名称	ｸﾗｯｼｬﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（株）	
施設所在地	南魚沼市茗荷沢1472-1	
連絡先	025-779-3330	
備考	約 28 km	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。
なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

⑥ 再生資源利用計画書を作成するものとする。

⑦ 再生資源利用促進計画書を作成するものとする。

⑧ 自ら産業廃棄物を運搬▪処分する場合以外は、委託契約書の写しを提出すること。

⑨ 特殊な副産物の処理等については、解体共仕第７章３節による。

⑩ 有価物について

当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。

(1)鉄屑等金属類及び電線等は有価物として処分を行うこと。

(2)数量はｽｸﾗｯﾌﾟ業者の計量伝票を根拠とする。

(3)鉄屑等有価物の売り払い明細書を作成し、市に納入すること。

(4)納入方法は契約後に市が発行する納付書により入金をすること。

⑪

~~⑩~~ 協議について ~~10~~

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、１～⑩の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

仕様書（そのⅡ） Ver.030401

備考			設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号	A-02
			浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	特記仕様書（そのⅡ）	縮尺		図	電
										構 積

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出郷町）
一級建築士事務所登録(ﾁ)第１９２５号 TEL 025-705-2680・FAX 705-9990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人

A　設計概要書

1. 工事名称 その他

工事名称	雪国観光会館建設工事	主要用途 展示場	建築主 入広瀬村長　渡佐昭三
工事種別	新築・増築・別棟増築・増改築・改築・移転・用途変更・修繕・改装・模様替	建設地 魚沼市大栃山136番地6	代表者

2. 敷地状況

敷地面積	道路巾員	都市計画道路	用途地域	防火地域	敷地状況
620·00 ㎡ 187·55 坪	前面 ・ M 右側 ・ M 背面 ・ M 左側 ・ M	計画決定・事業予定・[国] 一般 ・ M		専用地域 [国]	

3. 構造・規模

構造	階数	最高高さ	最高軒高
[主要構造] [その他]	地下 2 階	9.846 M	7.150 M
構造材料 コンクリート Fc=210 ・鉄骨（SS41 SM41）・鉄筋（SD30）	増築予定 —		
基礎 [主要支持]（ベタ・布・独立）・杭支持（RC・PC・WP・ISP）・その他の地業	その他 —		

4. 面積

	申請部分	申請以外の部分	合計	空地比	容積比	その他
建築面積	259.30 ㎡ 78.44 坪	・ ㎡ ・ 坪	・ ㎡ ・ 坪	許容 % %未満 %		
延床面積	367·10 ㎡ 111·05 坪	・ ㎡ ・ 坪	・ ㎡ ・ 坪	許容 % %未満 %	許容 % %未満 %	

5. 床面積

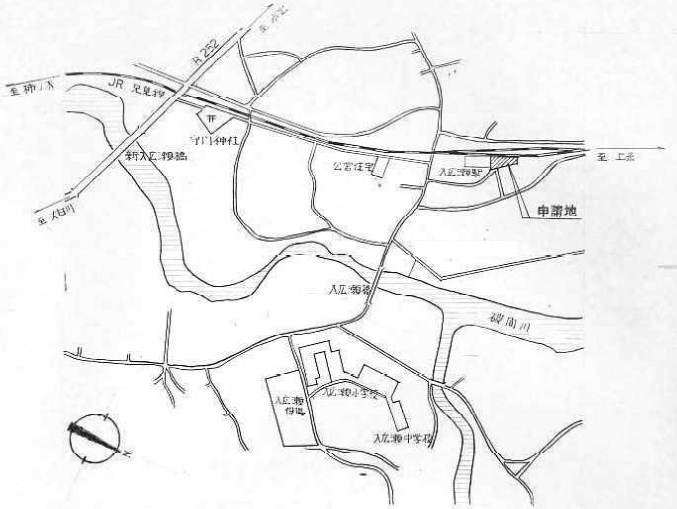
階別	主要用途	申請部分	申請以外の部分	階高	備考
1	展示場	231·87	・	3·460	
2	〃	135·23	・	3·600	
〃		・	・		
		・	・		
		・	・		
		・	・		

6. 設備

種別		有 含む	有 別途	無	備考
電気	受変電			○	受変電・自家発電・蓄電池・動力
	電灯・コンセント	○			
	照明器具	○			
	避雷針			○	
	電話	○			交換機
	拡声	○			インターホン・呼鈴・[監視]・電気時計・テレビアンテナ共聴施設
	警報管制			○	
	火災報知	○			
給排水衛生	給水	○			[飲用]・[雑用]・井戸・受水槽・高架水槽・[給湯]（[中央]・[個別]）
	排水・通気	○			し尿浄化槽・[下水直]
	衛生器具	○			
	消火		○		[屋内]・[屋外]・スプリンクラー・[泡]・炭酸ガス・[粉末]
	ガス	○			都ガス・[プロパンガス]・天然ガス
冷暖房換気	空気調和			○	
	暖房	○			蒸気・温水・[温風]
	冷房			○	ウィンド・セパレート・[ヒートポンプ]
	換気	○			
その他	昇降機			○	エレベーター・エスカレーター・ダムウェーター
	厨房設備	○			
	駐車場設備			○	
	シャッター	○			防火・[防煙スクリーン]・[ドレンチャー]・[手]・電動
	自動ドアー			○	オイルエアー電動

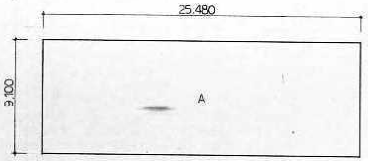
7. その他の工事範囲

種別		有 含む	有 別途	無	備考
準備	敷地造成	○			
	既存物件の処理	○			既存駐車場撤去
	囲壁 [ブロック塀]	○			既設コンクリートブロック塀
仕上	特別仕様			○	
	造付家具	○			カウンター　神棚奥入棚板
	カーテン・ブラインド	○			木製
	スクリーンボックス	○			アルミ製
その他	家具		○		
	移動家具			○	
	装飾・備品	○			消火器ケース
	金庫室			○	
	カーペット・カーテン		○		
	ホームシアター			○	
	テレビシステム			○	
	サイン			○	
	記念碑			○	
	植栽			○	
	外構・表示板	○			施設銘板　材質
	屋外・雑工事		○		
	調整			○	



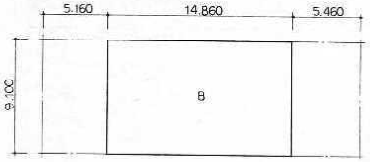
案内図

求積図



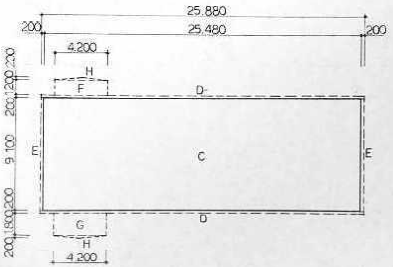
1F 床面積

A　25.480 x 9.100　= 231.87 ㎡



2F 床面積

B　14.860 x 9.100　= 135.23 ㎡

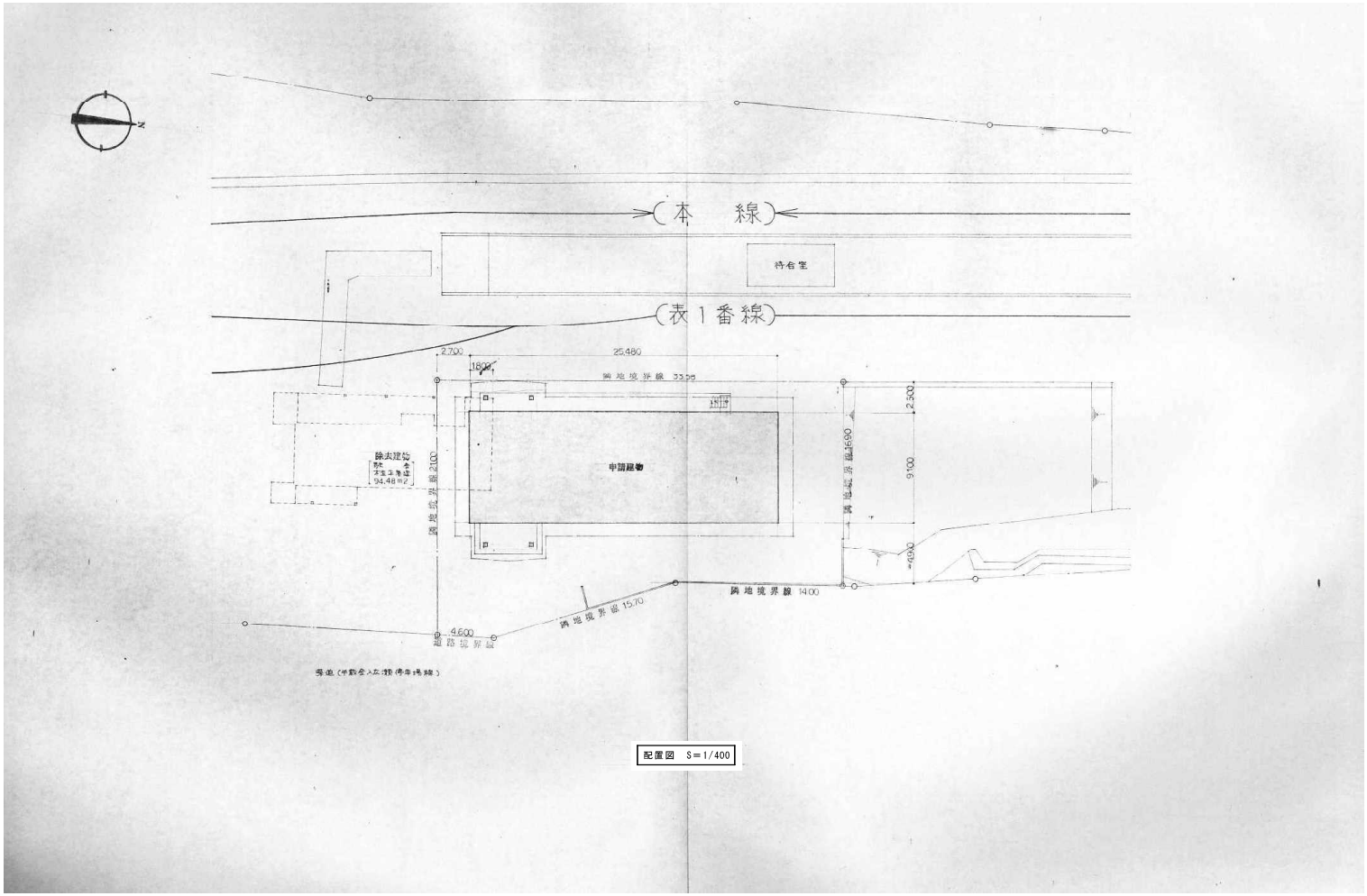


建築面積

C	25.480 x 9.100	= 231.87
D	25.880 x 0.200 x 2	= 10.35
E	9.100 x 0.200 x 2	= 3.64
F	4.200 x 1.200	= 5.04
G	4.200 x 1.800	= 7.56
H	4.200 x 0.200 x 0.5 x 2	= 0.84

TOTAL　259.30 ㎡

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(1)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日 2026.01	図面番号 A-03
					図面名称	（建設時）設計概要書、案内図、求積図	縮尺	原 電 構 視



配置図　S＝1/400

備考			有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(ﾛ)第１９２５号 TEL 025-256-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－０４
				浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号	図面名称	配置図	縮尺	1/400	原 電 構 視

内部仕上表

階	室名	FL	CH	床	巾木	腰・壁	天井	回り縁 本製	回り縁 塩ビ製(目透し)	室名表示 室名札 ○:国材製 ①:真鍮製	室名表示 ドアに記入	造り付家具	備品	備考
1階	地域活性化ホール	±0	5.875	モルタルカラクリート コテ目地切 1820@内外	モルタル金ゴテ H-30 コテ目地切 910@内外	PB@12㎜下地 多彩模様吹付塗料吹付	PB@9㎜下地 ひる石天井材吹付		○					
	通路	±0	2.500	〃 上	〃 上	〃 上	〃 上	○					消火器ケース(㈱ユニオン UFB-109と同等品)1ヶ所	
	展示ルーム	±0	2.700	〃 上	〃 上	〃 上	〃 上	○		①				カーテンBOX(120W×80H)
	作業体験ルーム(にわ)	±0		たたき	〃 上	ラスボード@7㎜下地 石膏プラスター塗り	硬質木片セメント板(木目調) 12×455×3,030 A-Emp			⊖				
	〃(ちゃのま)	+250		板張り@12㎜ OSC	雑巾摺 24×15 OS	〃 上	〃 上							
	〃(うまや)	-250	2.400	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	板張り@12㎜(W-250㎜) OS	〃 上							
	〃(ざしき)	+300	2.415	コンパネ@12㎜下地 化粧量@55㎜敷き	畳寄	ラスボード@7㎜下地 石膏プラスター塗り	合板天井板(杉柾)竿縁天井 25×450×3,640 OS	○						
	〃(床の間)	+405	2.500	ケヤキ框付床板	雑巾摺 6×24(ケヤキ)	〃 上	〃 上	○						
	〃(仏間)	+445	2.255	ラワン合板TP-Ⅱ@9㎜ OS	雑巾摺 6×24 OS	ラワン合板TP-Ⅱ@4㎜ OS	ラワン合板TP-Ⅱ@4㎜ OS	○						
	管理室	±0	2.600	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビ床シート@2.5㎜貼り	ソフト巾木 H-75	PB@12㎜下地 ビニールクロス貼り	PB@9㎜張り ロックウール化粧吸音板張り 9×300×600		○		○	カウンター		カーテンBOX(120W×80H)
	WC(M)(W)	-30	2.500	モルタル木ゴテ下地 磁器製モザイクタイル貼り	モルタル木ゴテ下地 半磁器製100角タイル貼り H-105	防水ボード@12㎜下地 内部用アクリル吹付タイル	石膏セメント けい酸カルシウム板 6×910×910 目透し下地 A-Emp		○	①2		掲示板入掲示板		
	倉庫(A)	±0		モルタル金ゴテ下地 ビニル床タイル@2㎜貼り	ソフト巾木 H-75	PB@12㎜ 張り (一部 ベニヤ型枠打放し)	現わし							
2階	階段室			モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビ床シート@2.5㎜貼り	雑巾摺 6×21	PB@12㎜下地 多彩模様吹付塗料吹付	PB@9㎜下地 ひる石天井材吹付	○						
	ホール	±0	2.525	コンクリート金ゴテ下地 長尺塩ビ床シート@2.5㎜貼り	モルタル金ゴテ H-30 コテ目地切 910@内外	〃 上	〃 上	○					消火器ケース(㈱ユニオン UFB-109と同等品)1ヶ所	
	レクチャールーム	±0	2.700 3.300	〃 上	ソフト巾木 H-75	PB@12㎜下地 ビニールクロス	PB@9㎜下地 ひる石天井材吹付 (一部 PB@9㎜下地 ビニールクロス)		○	⊖				アルミスクリーンBOX(150W×150H×3,300L) カーテンBOX(120W×80H)
	喫茶コーナー	-50	2.650	〃 上	〃 上	防水ボード@12㎜下地 内部用アクリル吹付タイル	石膏セメント けい酸カルシウム板 6×910×910 目透し下地 A-Emp		○		○	カウンター		
	WC(M.W)	-30	2.500	モルタル木ゴテ下地 磁器製モザイクタイル貼り	モルタル木ゴテ下地 半磁器製100角タイル貼り H-100	〃 上	〃 上		○	①				(床)防しモルタル@15㎜ 合成樹脂塗床ルーフィング 防水@12㎜ 責任施工 10年保証
	倉庫(B)	±0	2.500	コンクリート金ゴテ下地 ビニル床タイル@2㎜貼り	モルタル金ゴテ H-30 コテ目地切 910@内外	PB@12㎜ 張り	化粧石膏ボード 9×455×910		○		○			

外部仕上表

屋根	木毛セメント板@25㎜ アスファルトルーフィング22kg ハット型金属ルーガ 455@ 長尺カラー鉄板棟葺@0.4㎜
棟	コンパネ@12㎜ アスファルトルーフィング22kg 長尺カラー鉄板巻き棟葺@0.4㎜ (立上り巾寸法 364@ 通し張る)
軒裏	パルプ混入石綿けい酸カルシウム板 5×910×1,820(一部孔板)目透し下地 A-Emp
外壁	アスファルトフェルト17kg 高強度セメント中空押出成形板 横張り(塗装止め工法)
	15×303×3,000 トップコート吹付
地覆	ベニヤ型枠打放し アクリル樹脂吹付
ポーチ屋根	コンパネ@12㎜ アスファルトルーフィング22kg カラー鉄板一文字葺@0.4㎜(8寸切り)
〃 天井	パルプ混入石綿けい酸カルシウム板 5×910×1,820 目透し下地 A-Emp
〃 床	モルタル木ゴテ下地 磁器製100角タイル貼り

特記事項

1	長尺塩ビ床シートは、溶着工法(目地溶接)とし、エポキシ樹脂系接着剤を使用する。
2	木部塗装指定(特記以外) 外部見掛り: キシラデコール
	内部見掛り: 管理室、WC、レクチャールーム、喫茶コーナー、倉庫 一SOP
	上記以外 一OS
3	たたきは下記の配合を参考とし試験を行なった上で最も適した配合とする。 (荒練比) 中之島粘土(2): 消石灰(3): 川砂砂利(通過): 塩化マグネシウム(適量)

一般名一覧表

(下記のメーカー品と同等品を使用する。)

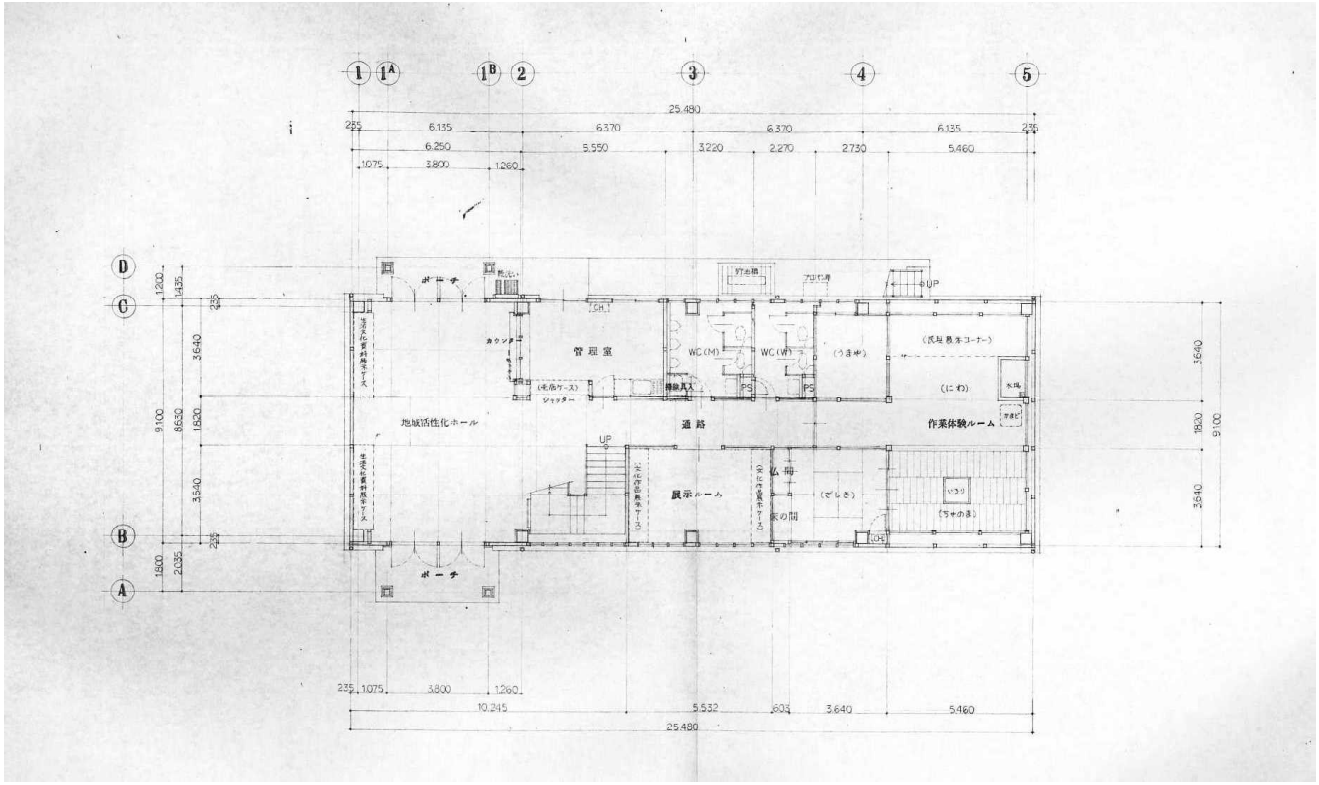
一般名	メーカー名	商品名	建設大臣認定番号
長尺カラー鉄板 棟葺	KK ヒキノ製産	アポロルーフ333	
アクリル吹付材	四国化研工業KK	シポロック 吹放し(仕上(厚吹)	
ひる石天井材	KK エーヒーシー商会	ウォールコートM	基材同等第0004号
ロックウール化粧吸音板	日東紡績KK	ソーラトンフィッシャー	不燃第1021号
化粧石膏ボード	吉野石膏KK	ジプトーン	準不燃第2016号
石綿セメントけい酸カルシウム板	浅野スレートKK	浅野ハイシック #80	不燃第1001号
石膏ボード	吉野石膏KK	タイガーボード、ジョイントタイガーボード	準不燃第2015号
防水ボード	〃	防水ボード	準不燃第2018号
多彩模様吹付塗料	KK エーヒーシー商会	プレックストーン	基材同等第0004号
ラスボード下地 石膏プラスター	吉野石膏KK	ニュータスボード、A-YNプラスター	不燃第1015号
化粧量	ダウ化工KK	スタイロ量C等	
半磁器製100角タイル	KK INAX	ミスティ100	
磁器製100角タイル	〃	イナフロア100 Gシリーズ	
パルプ混入石綿けい酸カルシウム板	大建工業KK	防火軒天井ボード	不燃(個)第1430号
高強度セメント中空押出成形材	昭和電工建材KK	ラムダ15 ヨコM	不燃(個)第1456号
硬質木片セメント板	三井木材工業KK	センチュリーボードF あじめ	準不燃 第2012号
硬質木片セメント板(木目調)	日本ハードボード工業KK	モエンサイディング W 木目調 ごさらく シンター品	〃 〃

備考
- SOP : 合成樹脂調合ペイント
- A-Emp : 合成樹エマルジョンペイント(アクリル系)
- OSC : オイルステンワニス
- PB : 石膏ボード

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)
一級建築士事務所登録(1)第1925号 TEL 025-780-3580・FAX 780-0910
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

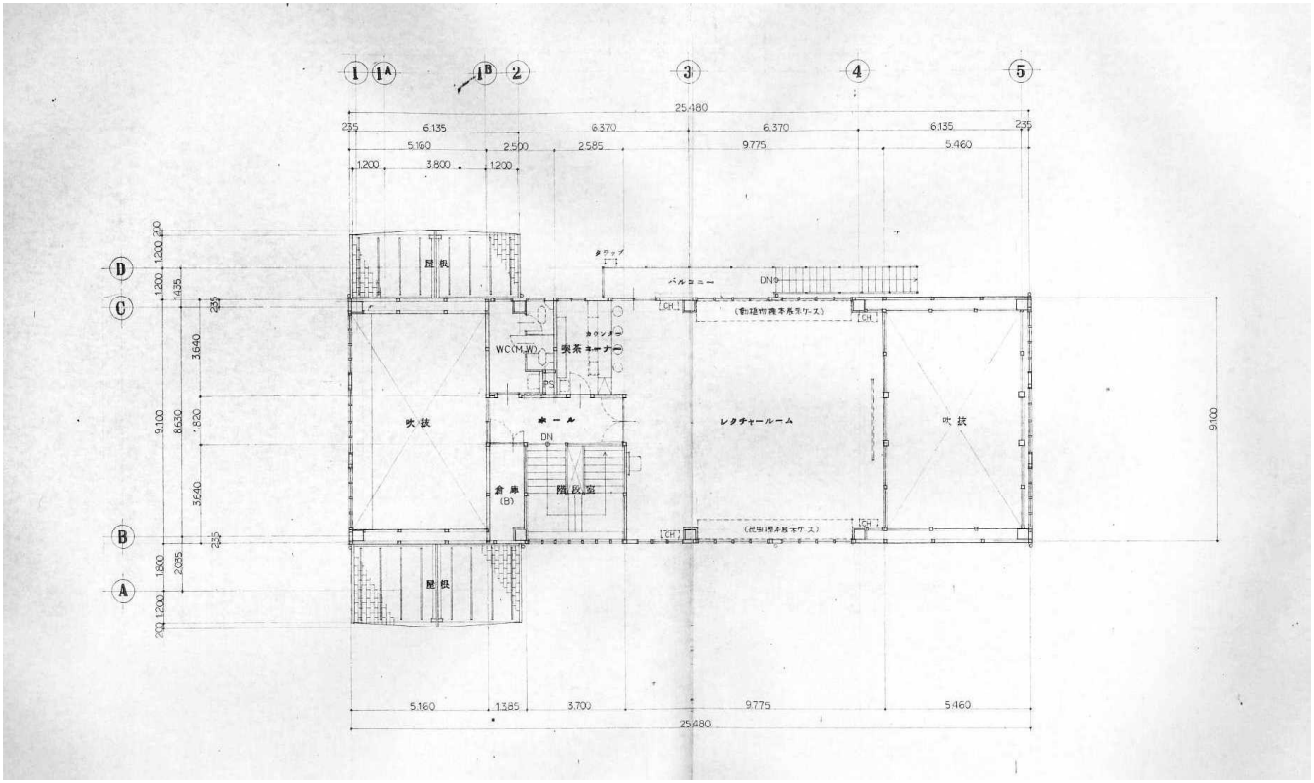
設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	仕上表
年月日	2026.01
尺	
図面番号	A-05
構	電



1階平面図　S＝1/200

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名 浅 井 守 人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－０６
					図面名称	１階平面図	縮尺	1/200	原 構 電 視



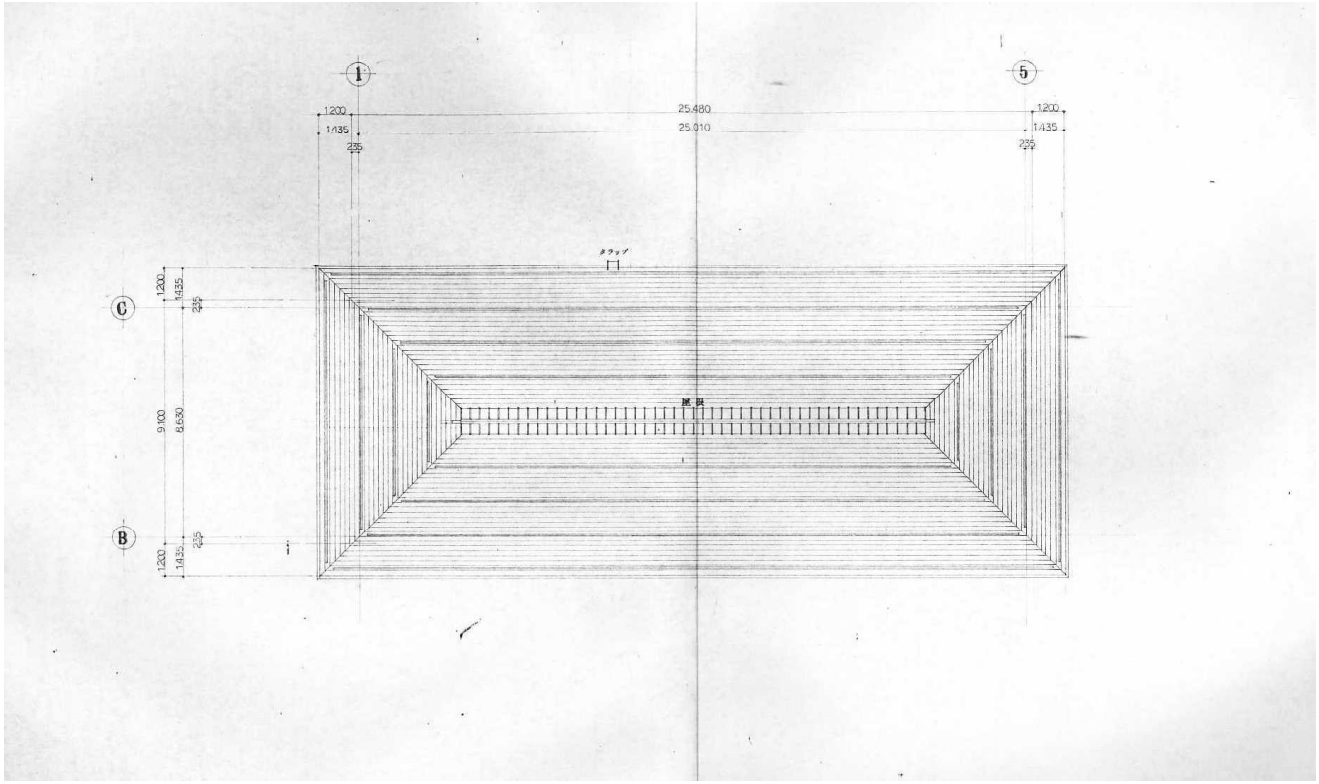
２階平面図　S＝1/200

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(ﾛ)第１９２５号 TEL 025-790-3580・FAX 791-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	２階平面図
年月日	２０２６．０１
尺	1/200
図面番号	A－０７
構	電
衛	視

備考



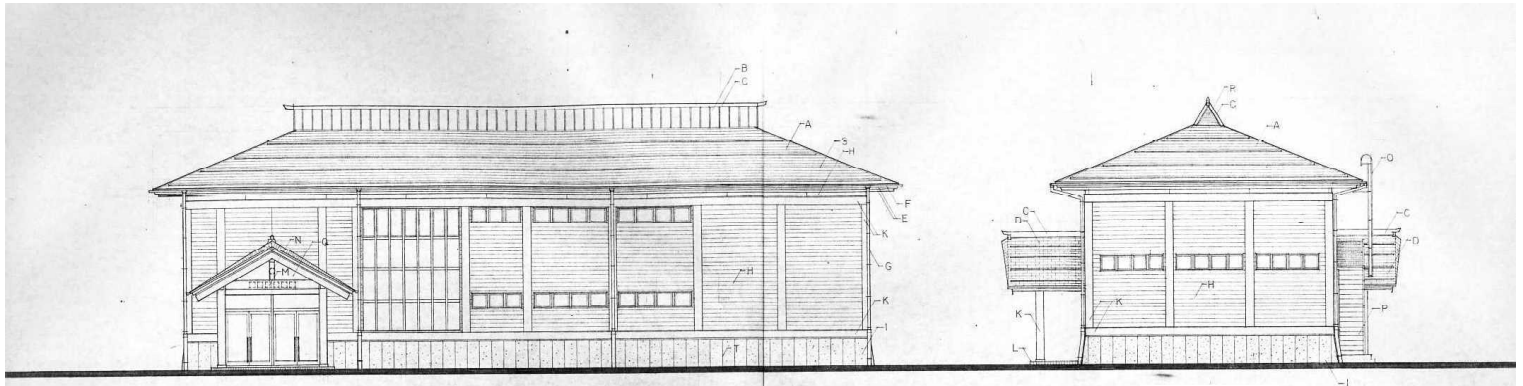
屋根伏図　S＝1/200

備考

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(ﾘ)第１９２５号 TEL 025-790-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

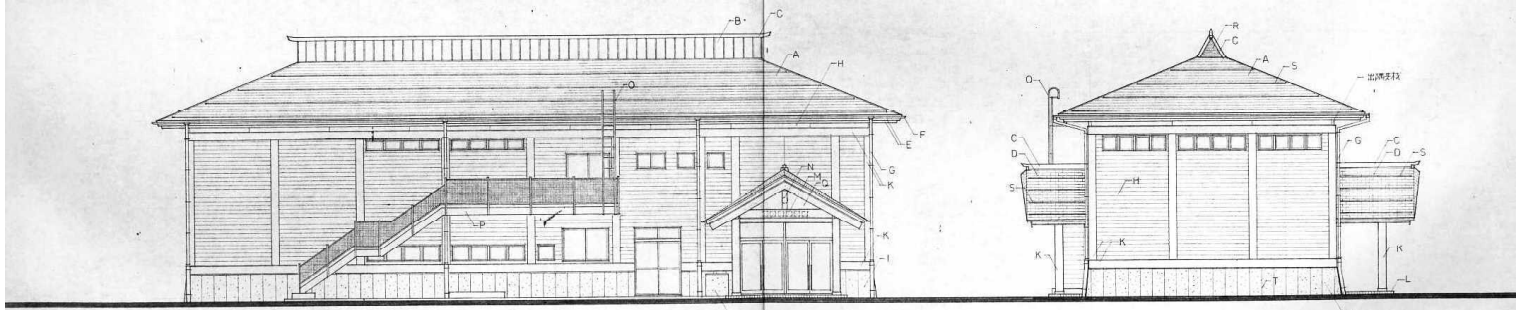
設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	屋根伏図
年月日	２０２６．０１
尺	1/200
図面番号	A－０８
担当	電 / 構 / 機



東側立面図　S＝1/200

北側立面図　S＝1/200



西側立面図　S＝1/200

南側立面図　S＝1/200

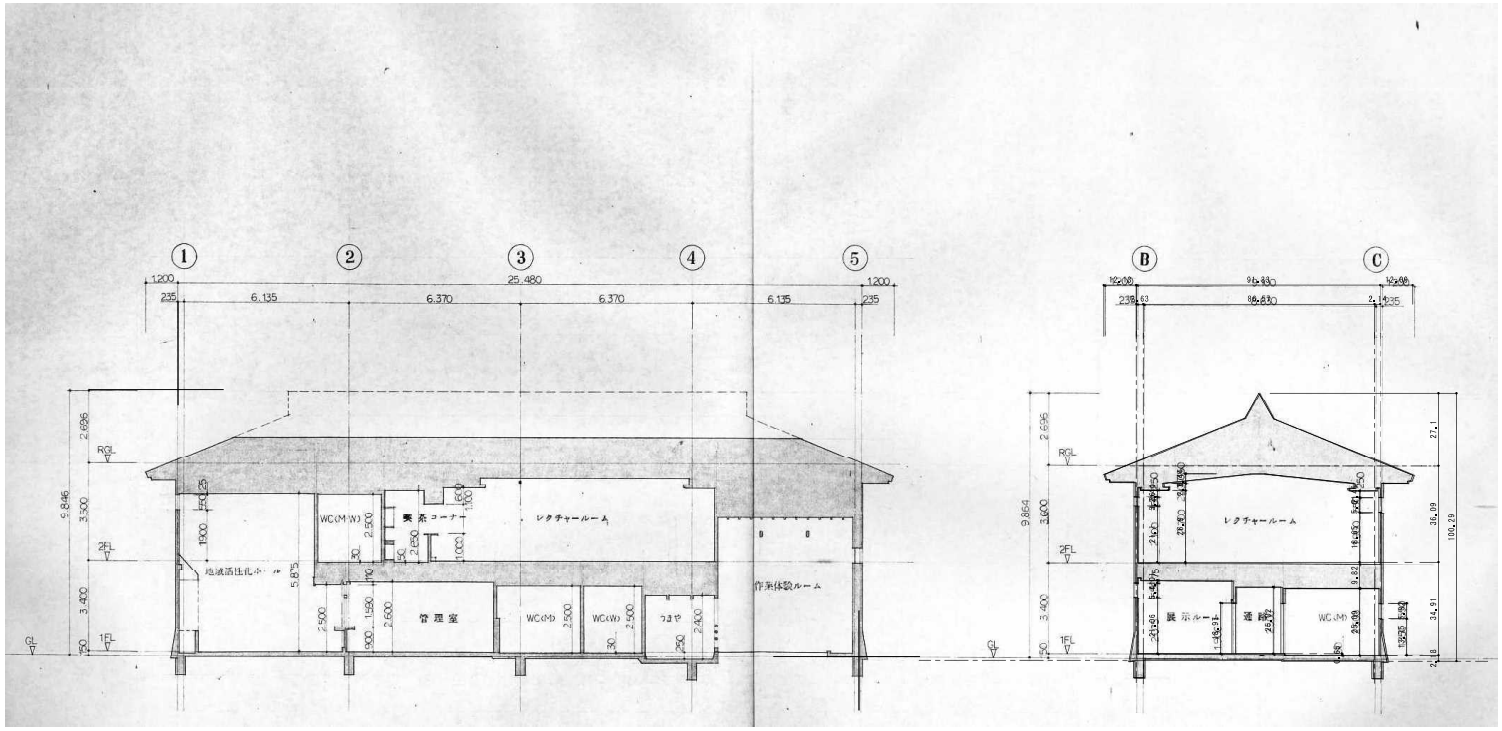
凡例

A	木毛セメント板 t25% アスファルトルーフィング22kg 防カラー鉄板葺 勾0.4%	I	ベニヤ型枠打放し アクリル塗付材 t2ｍｍ	Q	アスファルトフェルト17kg 硬質木片セメント板 12×910×1820 トップコート t2ｍｍ
B	コンパネ t12% アスファルトルーフィング22kg 防カラー鉄板葺 勾0.4% (垂木掛け寸法 300@)	J	排水ドレイン 受エプロン付 トップコート t2ｍｍ	R	コンパネ t12% アスファルトルーフィング22kg カラー鉄板 スパンドレル 勾0.4%
C	カラー鉄板 勾0.4%	K	木部 キシラデコール	S	雪止め L-50×50×4 壁留めとき SOP
D	コンパネ t12% アスファルトルーフィング22kg カラー鉄板一文字葺 勾0.4%（8寸切り）	L	モルタルオブラ下地 砕石敷 100 角タイル張り	T	躯体目地 凸15 凹24
E	E-1.6% 加工 SOP	M	建物銘板「雪加観光会館」ステンレス 200ｍｍ 色文字 カラー 切板張文字（レーザーカット）		
F	塩ビ雨樋 120% (松下電工㈱「アロン軒パイプ 120」同等品)	N	社章 ステンレス 200ｍｍ カラー 切板張文字（レーザーカット）		
G	塩ビ竪樋 75ｍｍ	O	タラップ SOP		
H	アスファルトフェルト17kg 高強度ボード中塗押出成形板 張掛り（金属止め工法） 厚×303×1000 トップコート t2ｍｍ	P	鉄骨階段 SOP		

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人

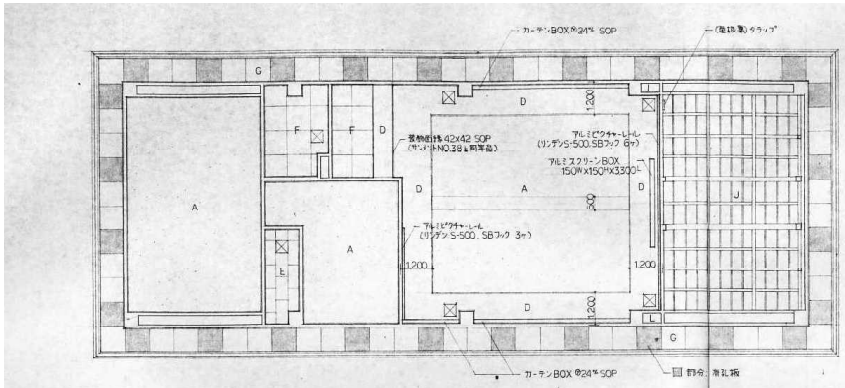
設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	立面図
年月日	2026.01
尺	1/200
図面番号	A-09
原	電
構	視

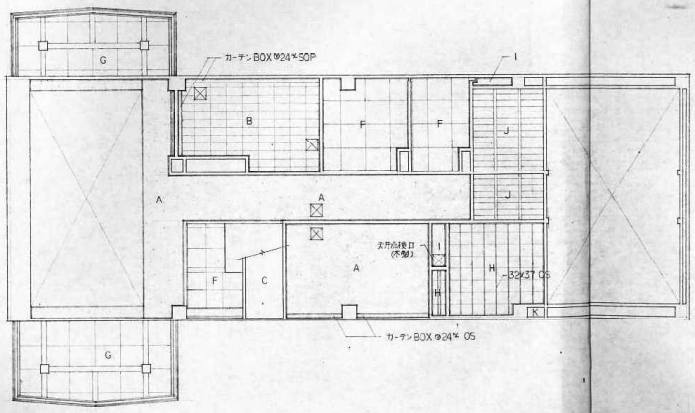


断面図　S＝1/200

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(ヲ)第１９２５号 TEL 025-792-2598・FAX 792-2990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－１０
			浅井 守人	一級建築士登録 第２４２２２２号	図面名称	断面図	縮尺	1/200	原 電 構 設



2階天井伏図　S＝1/200

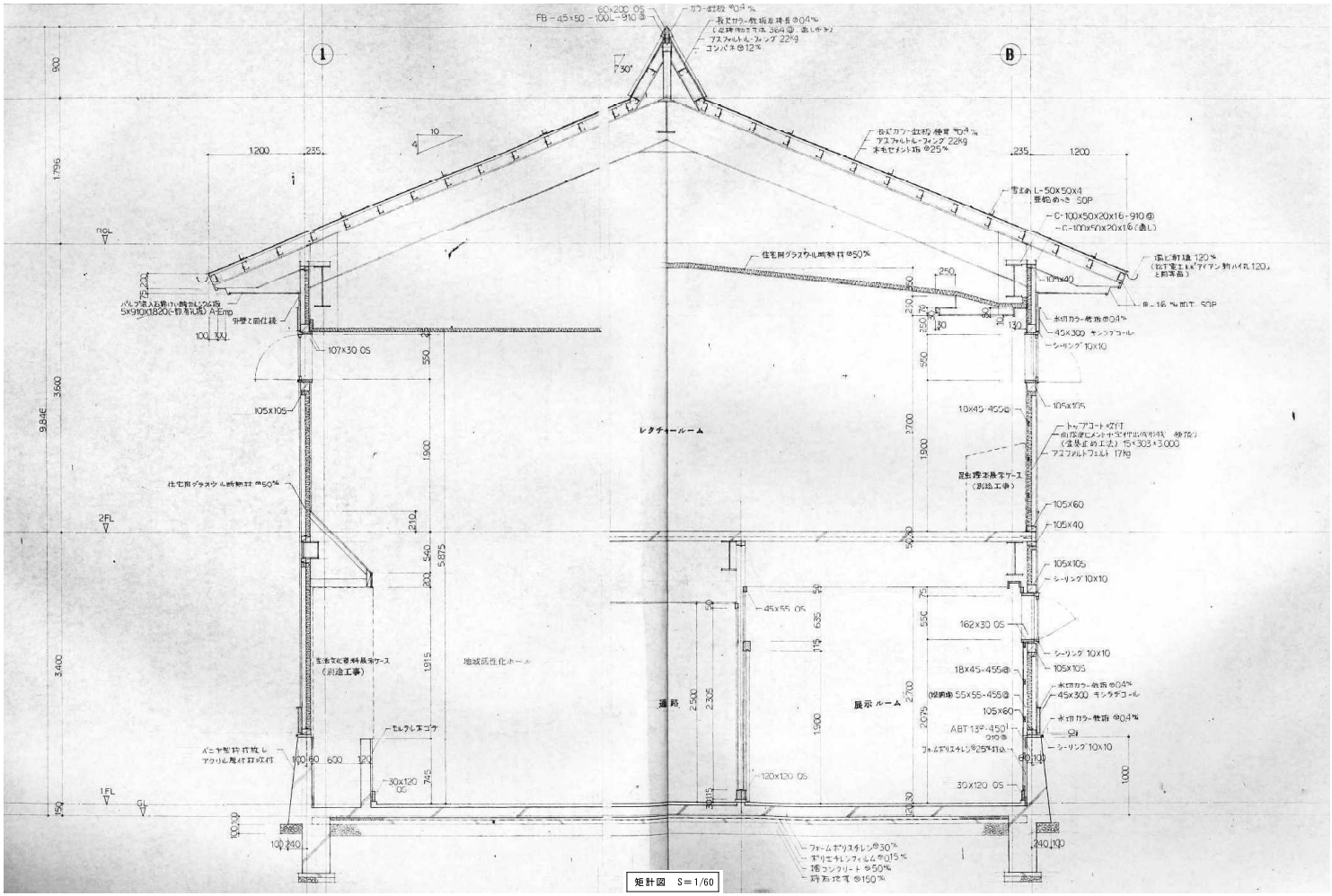


1階天井伏図　S＝1/200

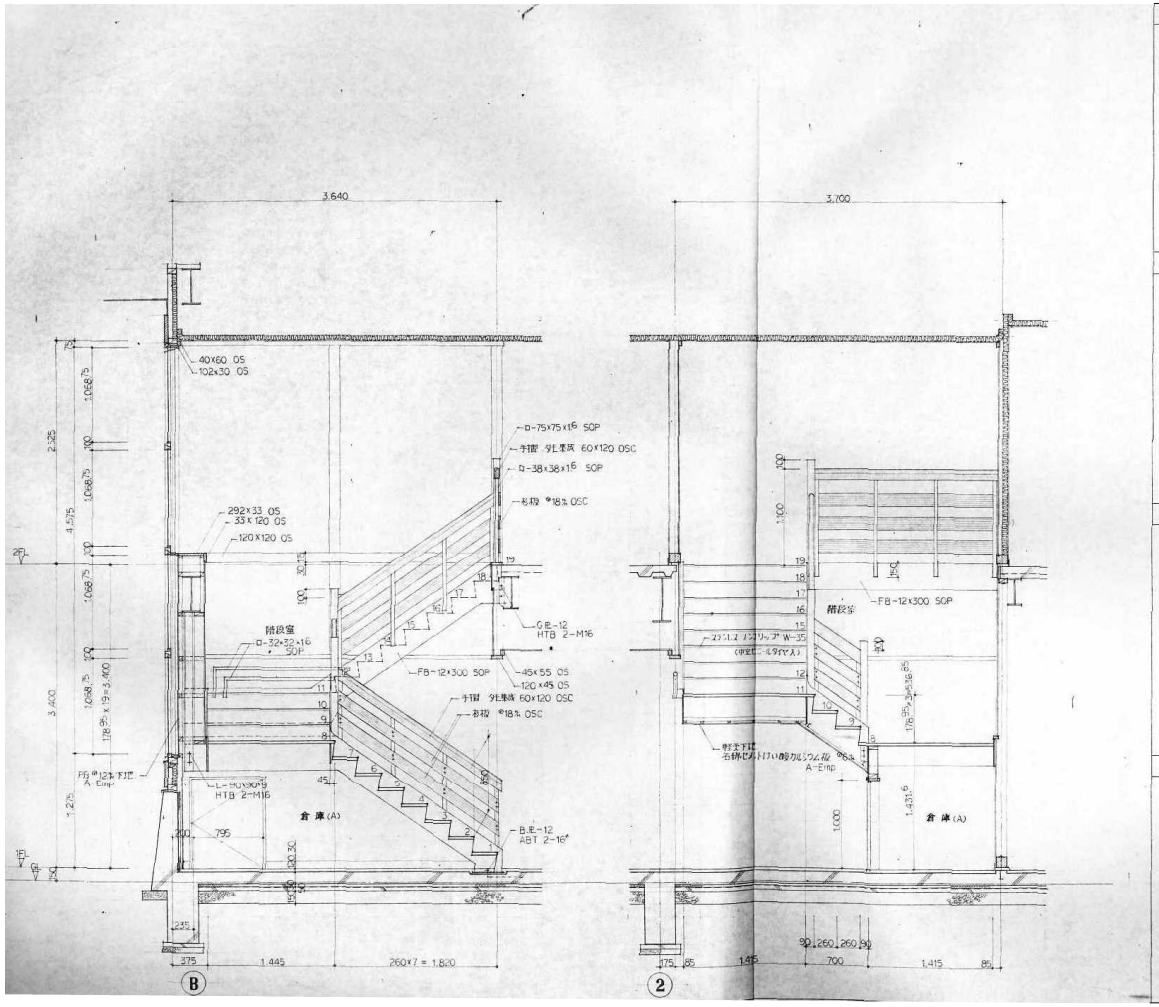
凡例

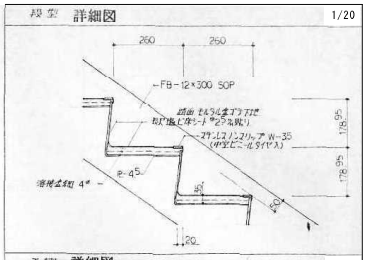
記号	下地		仕上
A	LGS	PB @9×	ひる石天井材吹付
B	〃	〃	UシックウールGL化粧吸音板張り 9×300×600
C			現わし
D	LGS	PB @9×	ビニールクロス
E	〃		化粧石膏ボード 9×455×910
F	〃	石膏セメント付軽カルシウム板 6×910×910 目違し	A-Fmp
G	〃 (25形)	炭ず混入石膏付軽カルシウム板 5×910×1820(下地吊ボルト)目違し	〃
H	木下地		合板天井板(お客)羊蹄天井 25×450×3,640 QS
I	〃		ラワン合板 TP-Ⅱ@4× QS
J		硬質木片セメント板(木目調) 12×455×3,030	A-Emp
K	木下地	石膏セメント付軽カルシウム板 6×910×1820	〃
L	〃	〃	
☒		天井点検口　450×450	特記以外　アルミ製

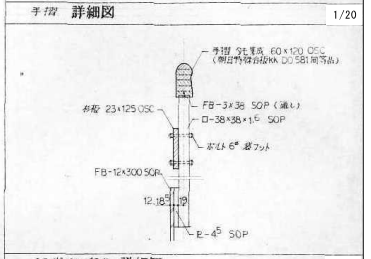
備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 A-11
			浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	天井伏図	縮尺	1/200	原 電 構 視

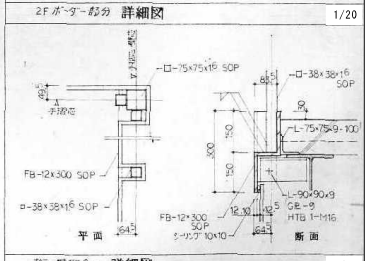


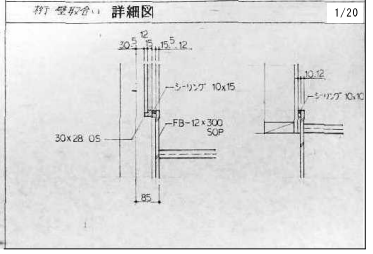
備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等		工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 A-12
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号		図面名称	矩計図	縮尺	1/60	原 電 構 視





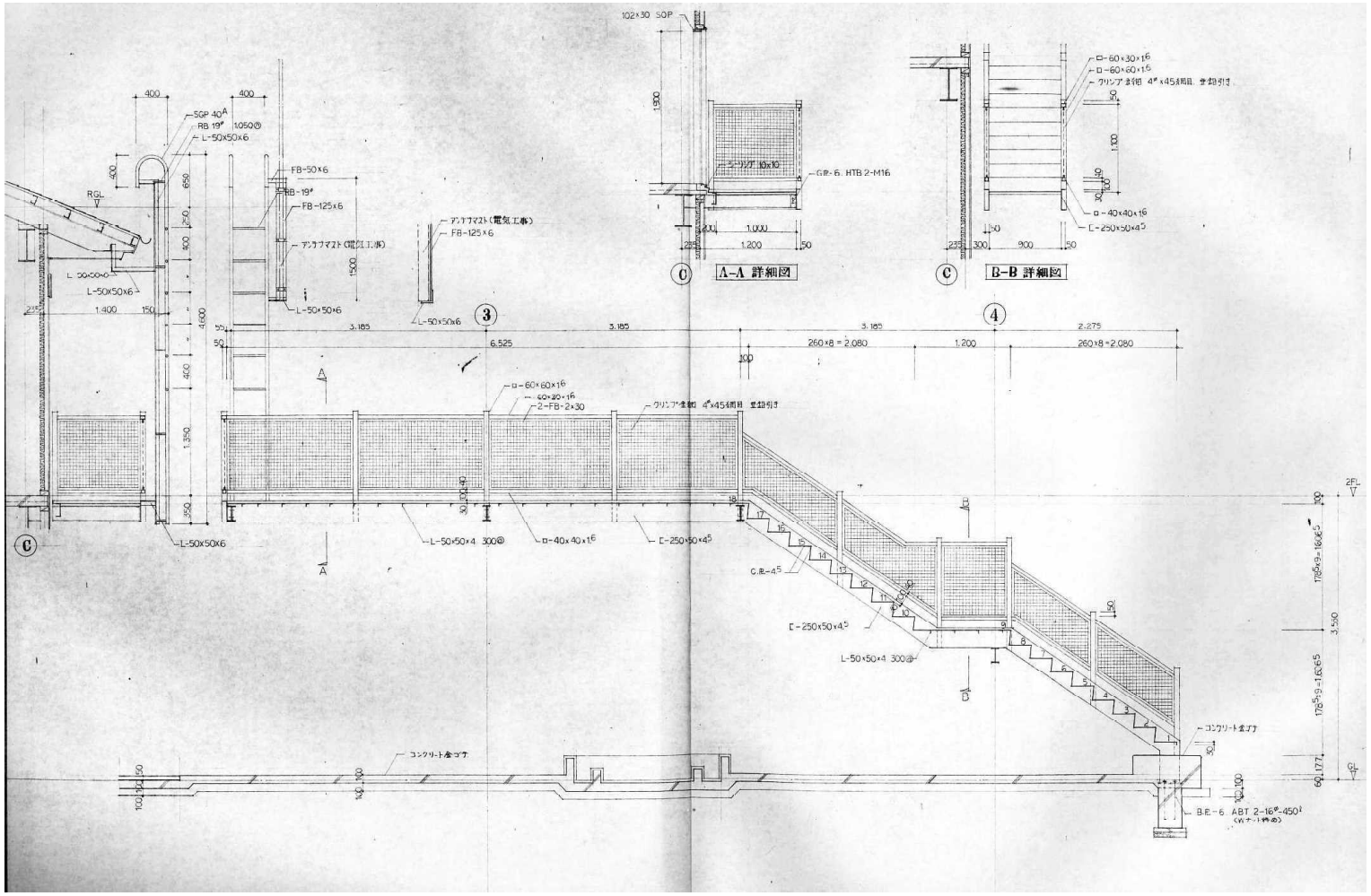






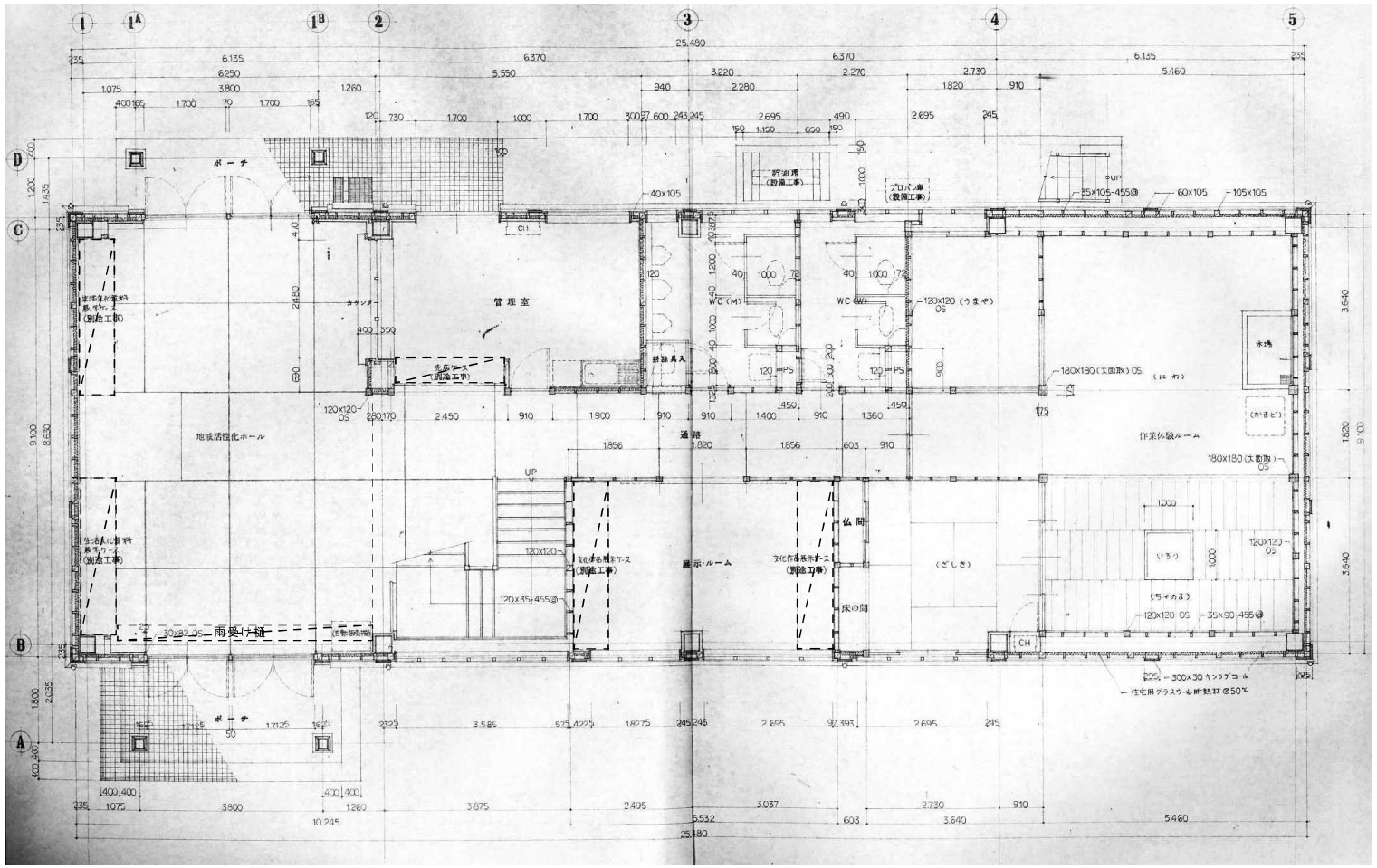
内部階段詳細図 S=1/60

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL 025-10-1588・FAX 792-0990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 A-13
			浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	内部階段詳細図	縮尺	1/60、1/20	原 電 構 視



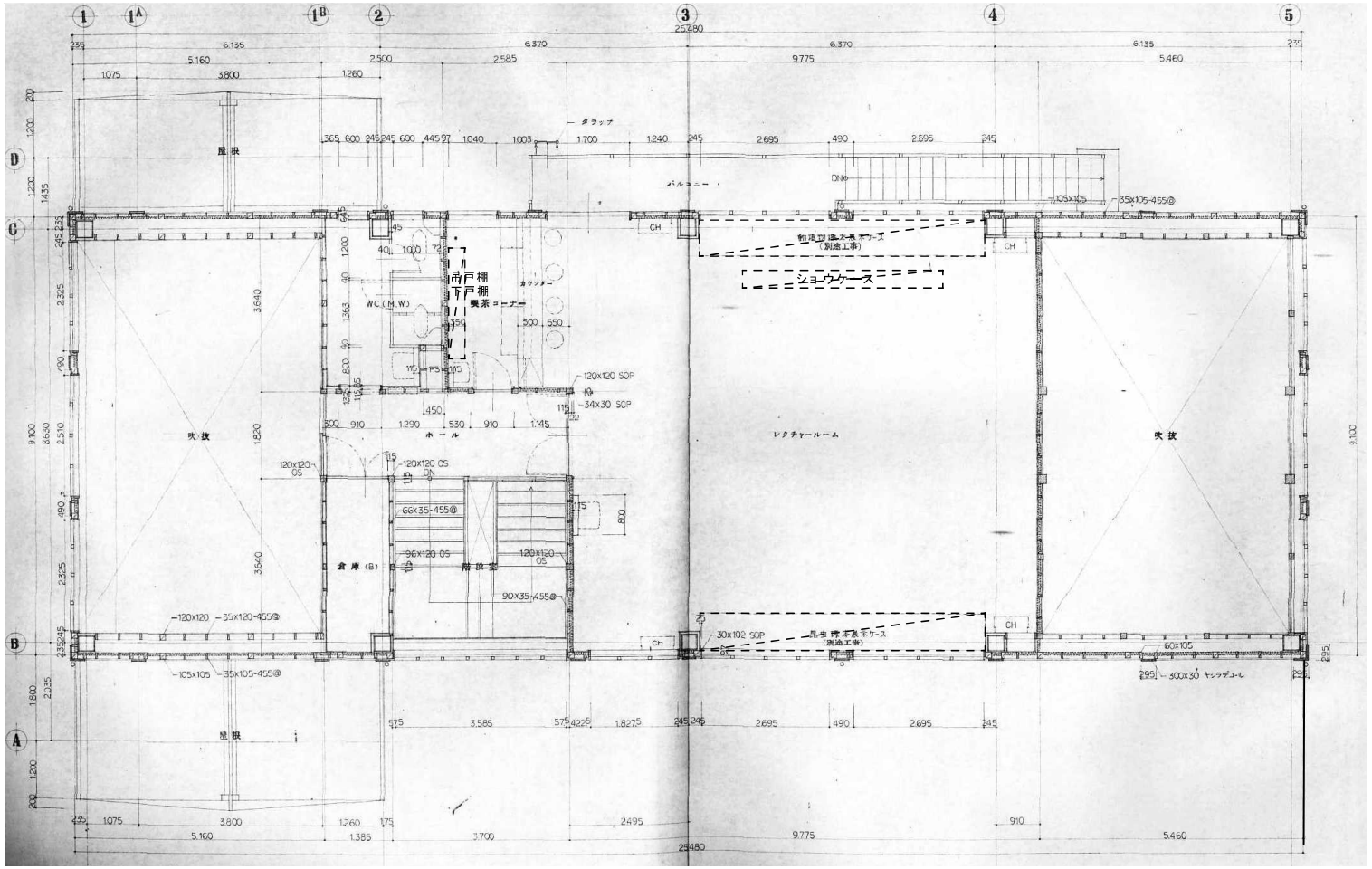
外部階段詳細図　S＝1/60

備考	鉄部の見掛り部分は全てSOP塗りとする	有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-794-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号	A-14
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	外部階段詳細図	縮尺	1/60	構	電 / 機



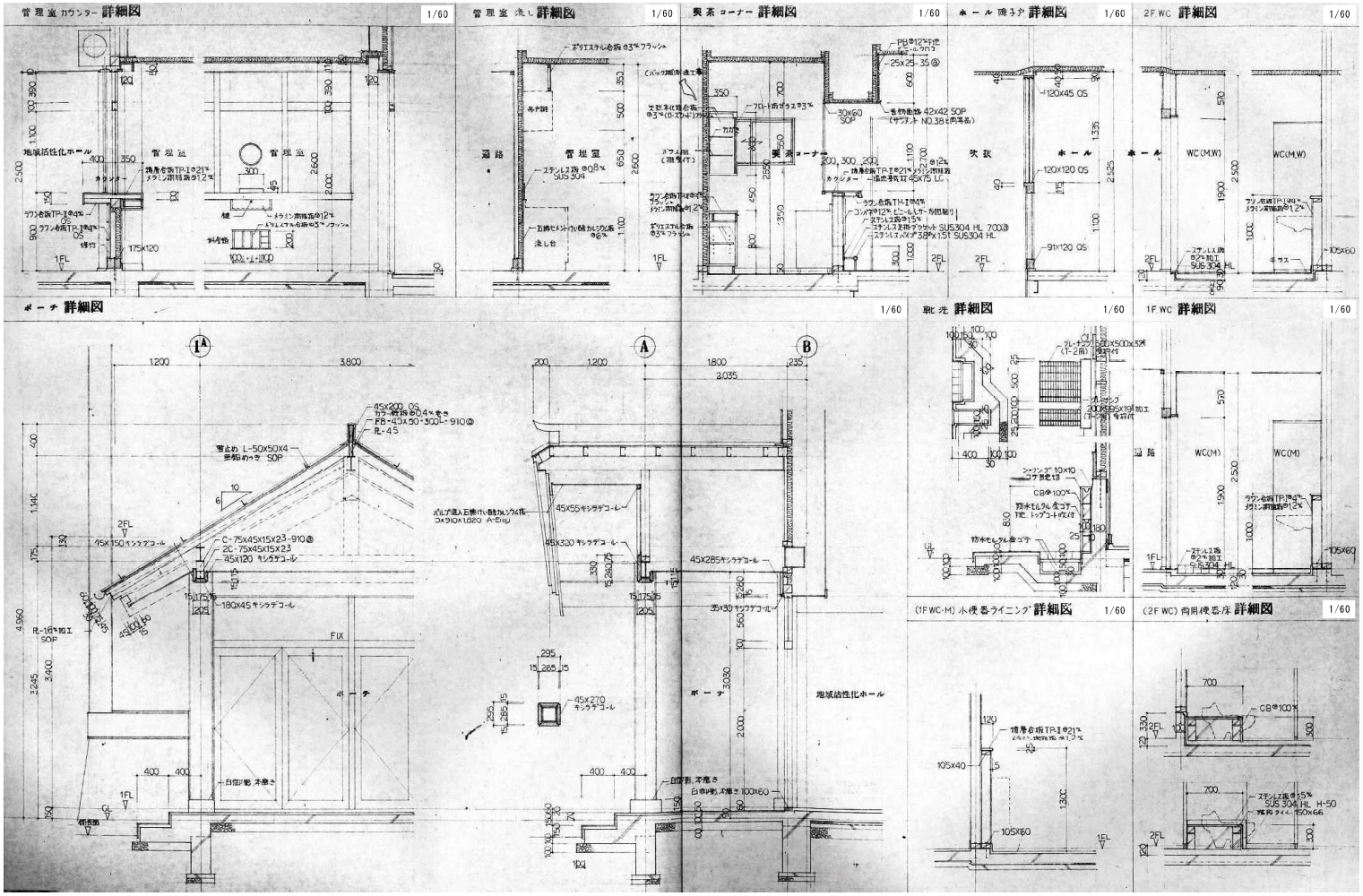
1階平面詳細図　S=1/100

摘要		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-70-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 A-15
			浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	1階平面詳細図	縮尺	1/100	原 電 構 視



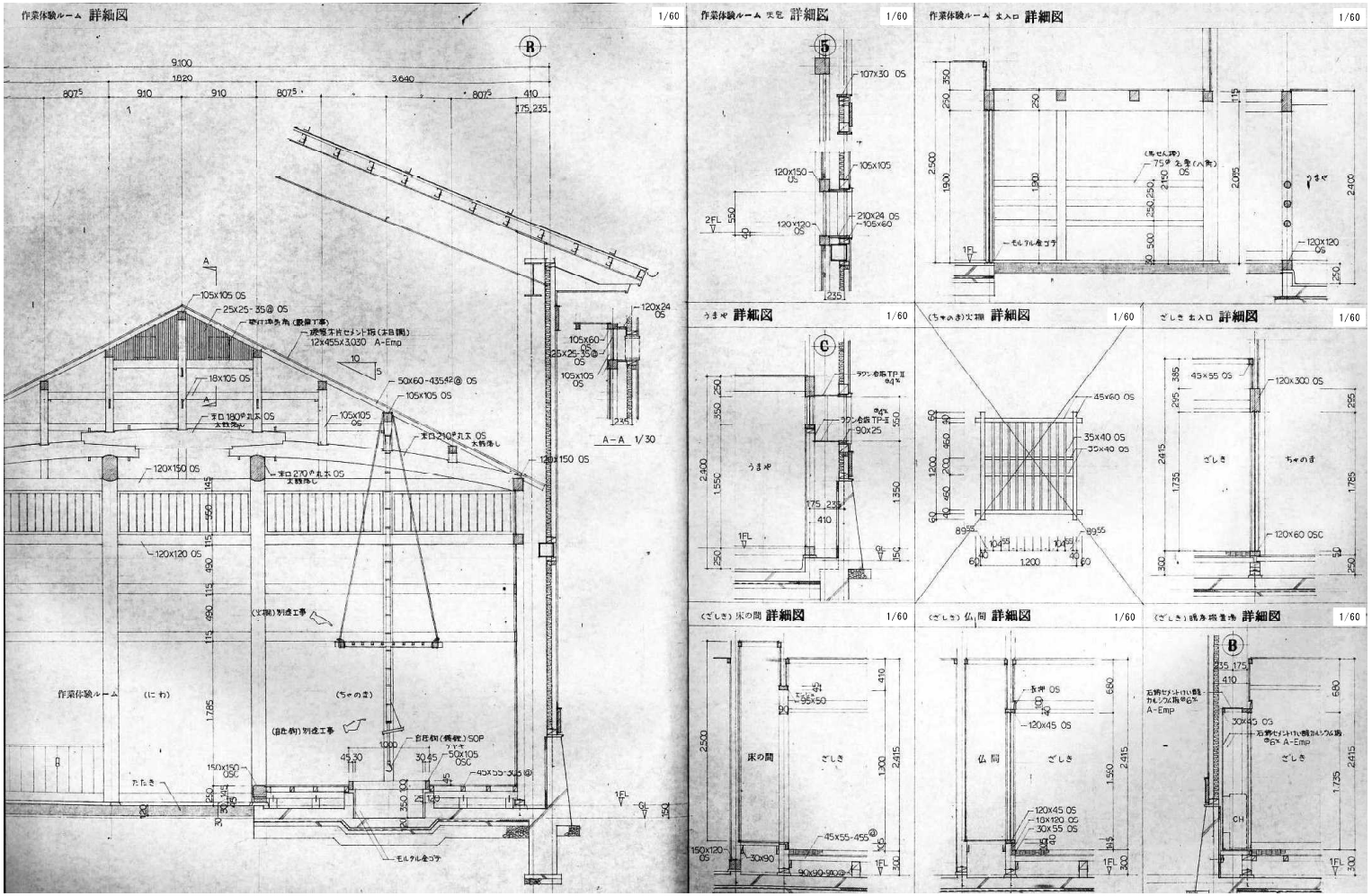
2階平面詳細図　S＝1/100

摘要		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 A－16
					図面名称	2階平面詳細図	尺	1/100	原 構 電 視



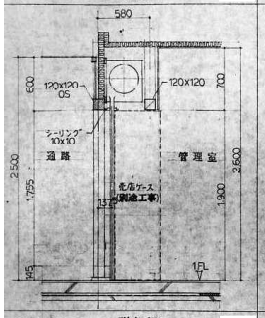
備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号	図面名称	各部詳細図−１	尺	1/60

図面番号 A−１７
原 電
構 機

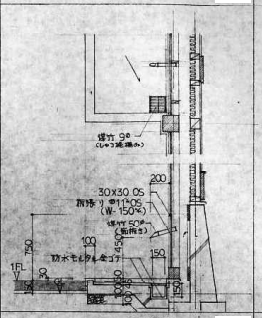


備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 780-0980 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名 浅 井 守 人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－１８
					図面名称	各部詳細図－２	縮尺	1/60	図 電 構 視

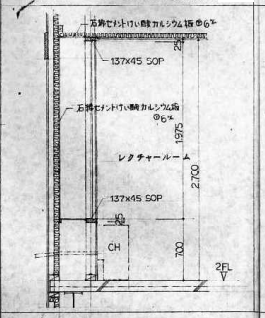
管理室 売店シャッター 詳細図 1/60



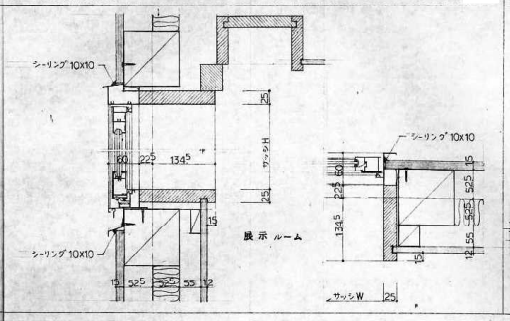
作業体験ルーム 木枠 詳細図 1/60



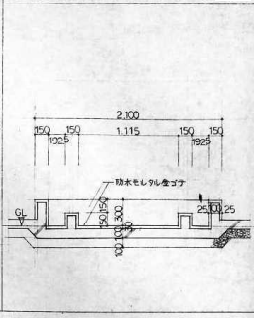
レクチャールーム CH 被覆配管埋込 詳細図 1/60



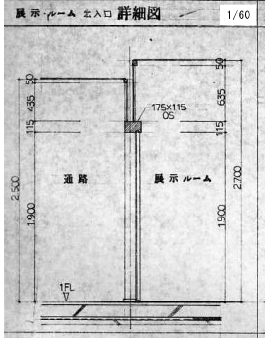
サッシ納り 詳細図 1/10



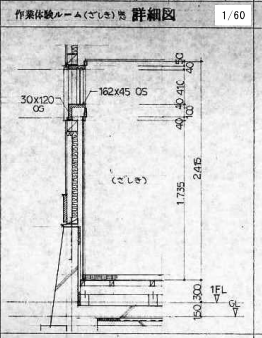
油タンク防油堤 詳細図 1/60



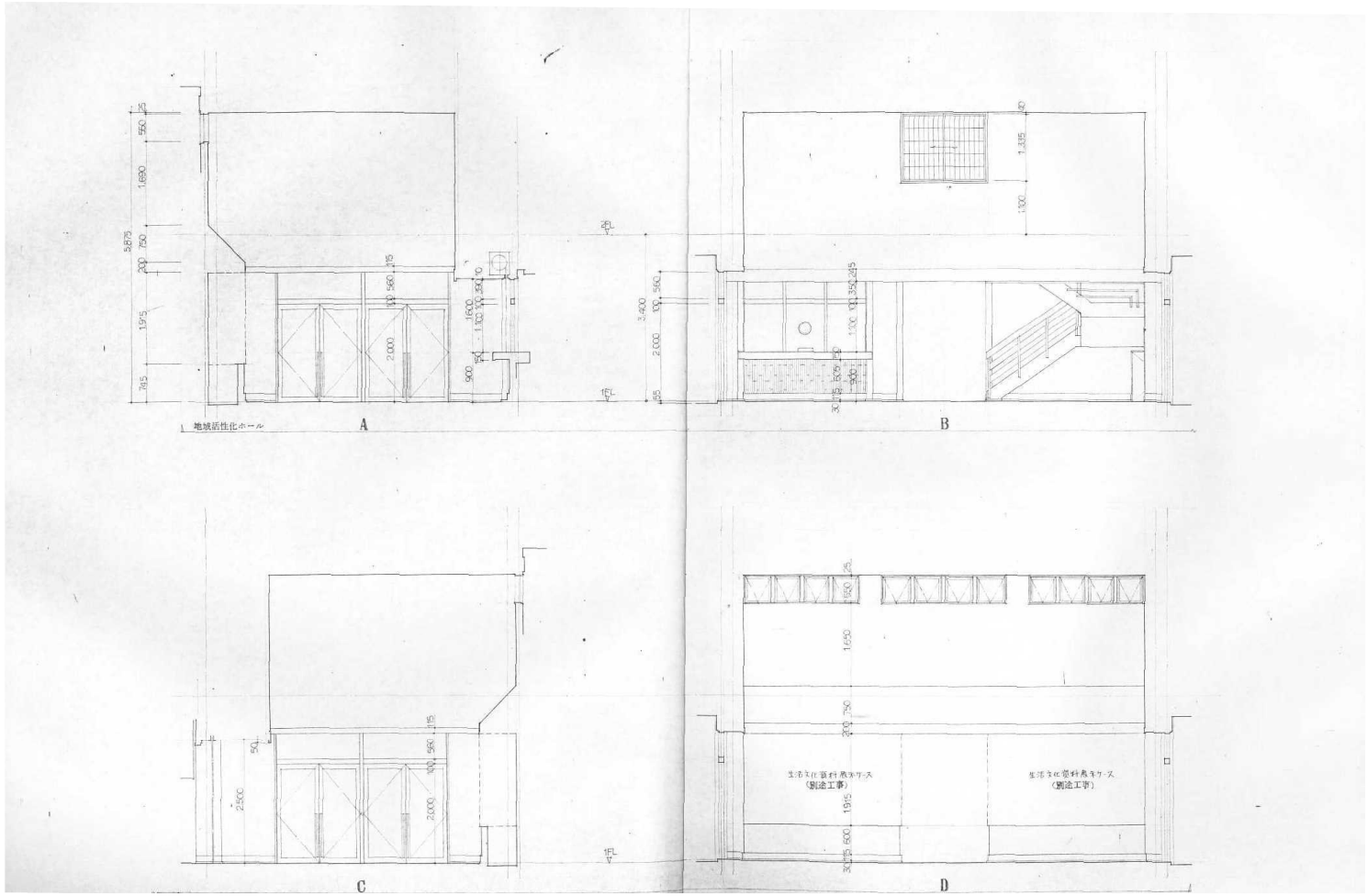
展示ルーム 出入口 詳細図 1/60



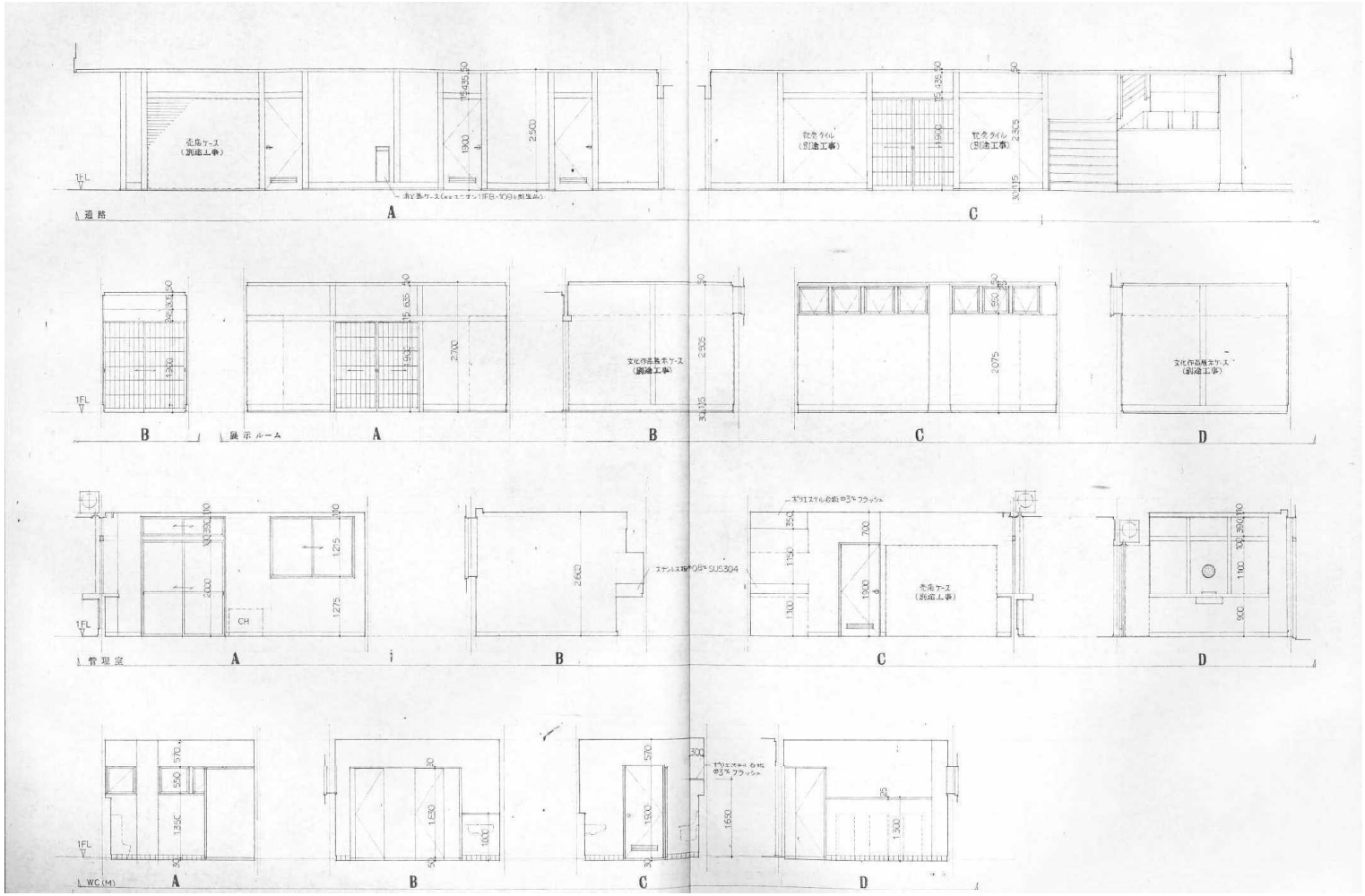
作業体験ルーム(ざしき)窓 詳細図 1/60



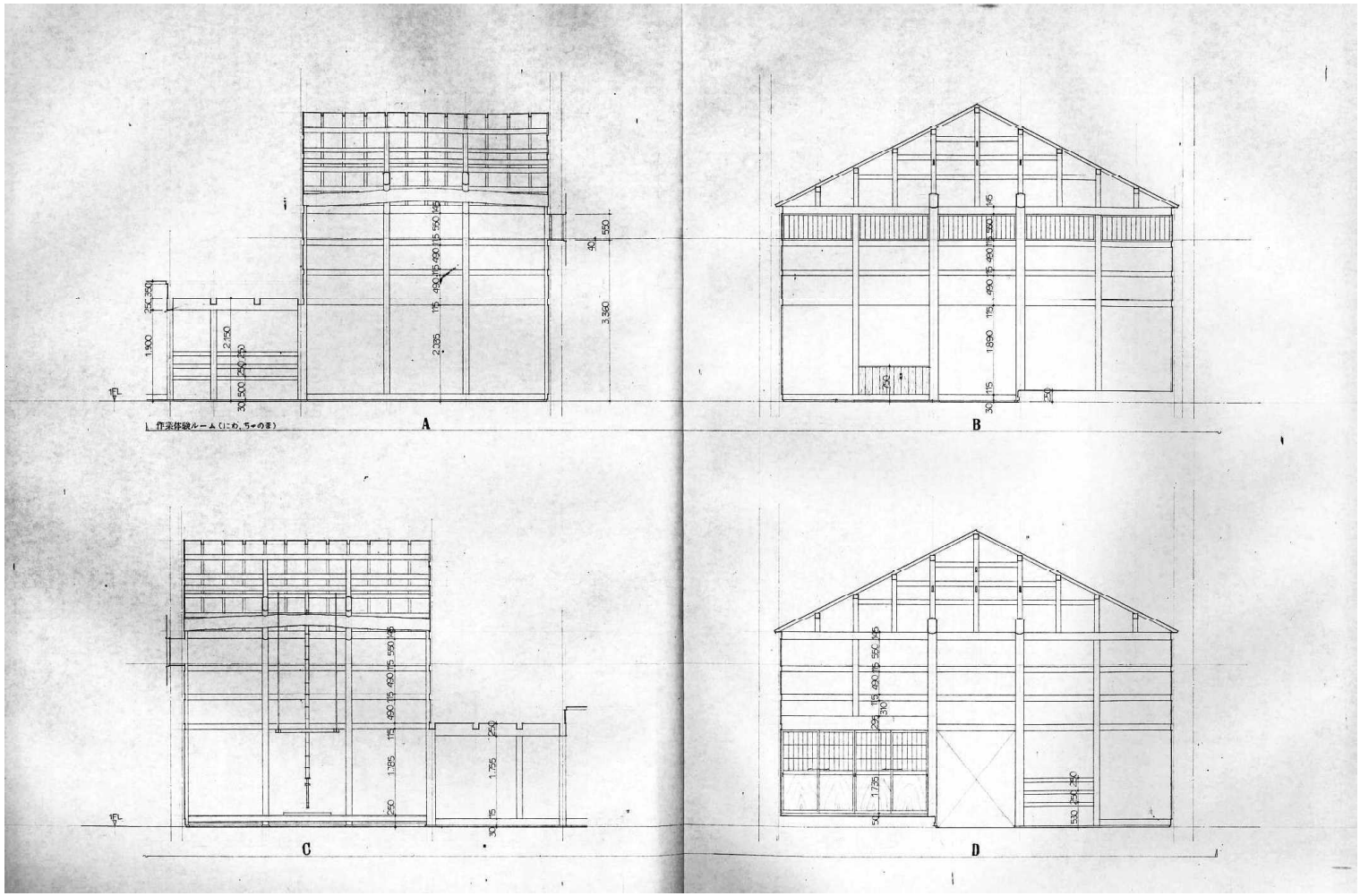
備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 A-19
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	各部詳細図-3	縮尺	1/60、1/10	原 電 構 視



備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－２０
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号	図面名称	展開図－１	尺	1/100	原 電 構 視



備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－２１
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号	図面名称	展開図－２	縮尺	1/100	構 電 視

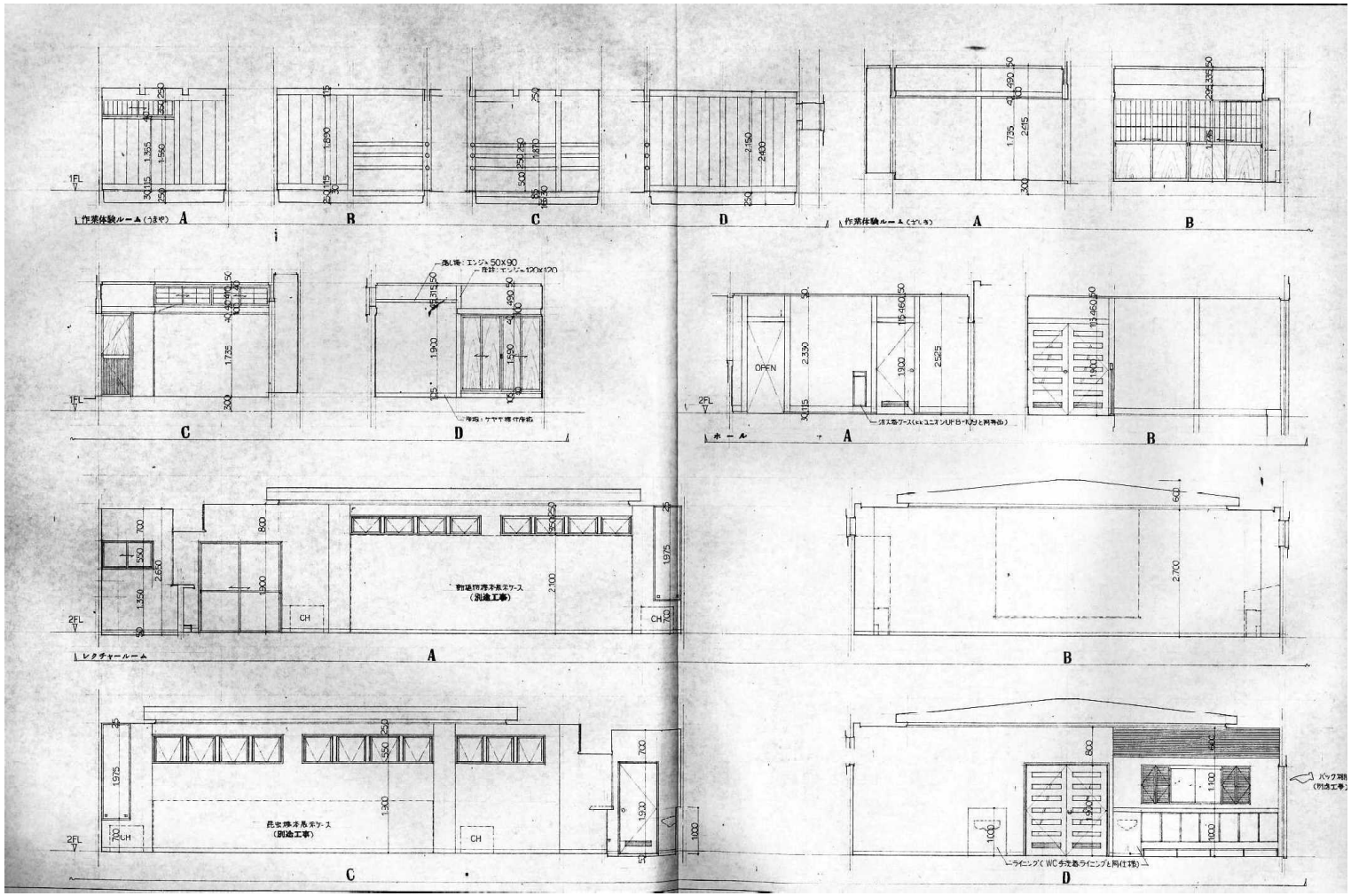


備考

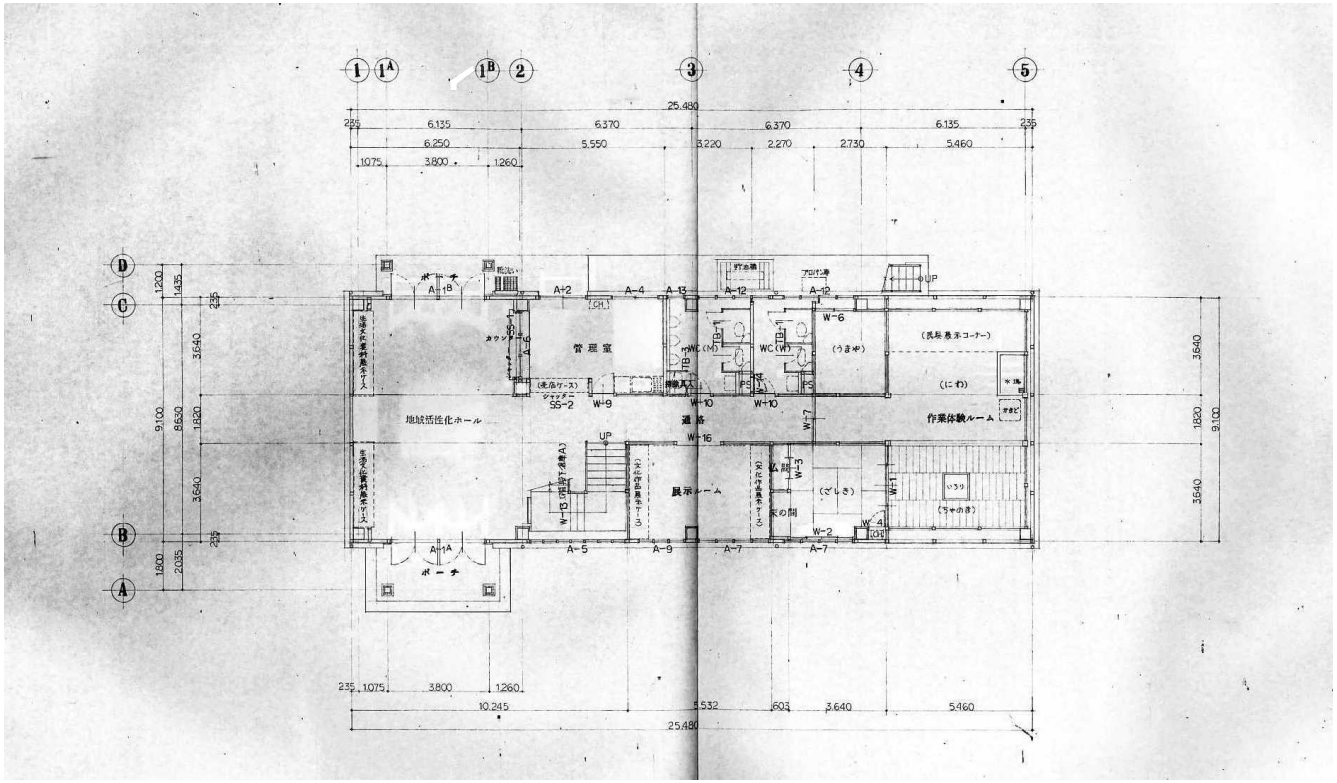
有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	展開図－3
年月日	２０２６．０１
縮尺	1/100
図面番号	A－２２
担当	電
	構
	機

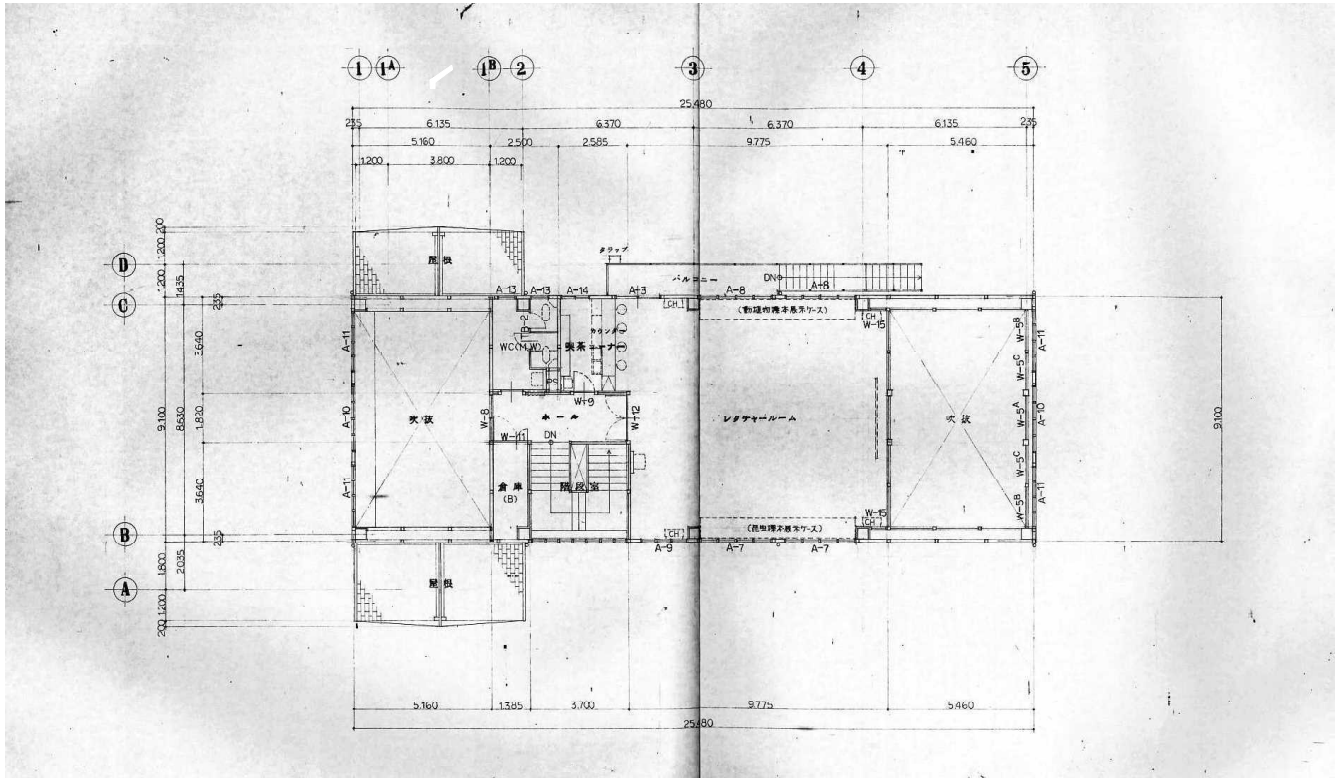


備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名 浅 井 守 人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－２３
					図面名称	展開図－４	尺	1/100	図 電 構 視



1階建具キープラン　S=1/200

摘要		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(ﾘ)第１９２５号 TEL 025-790-1588・FAX 791-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人		設計者等 氏名	建築士登録番号等		工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－２４
				浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号		図面名称	１階建具キープラン	縮尺	1/200	図 電 構 視



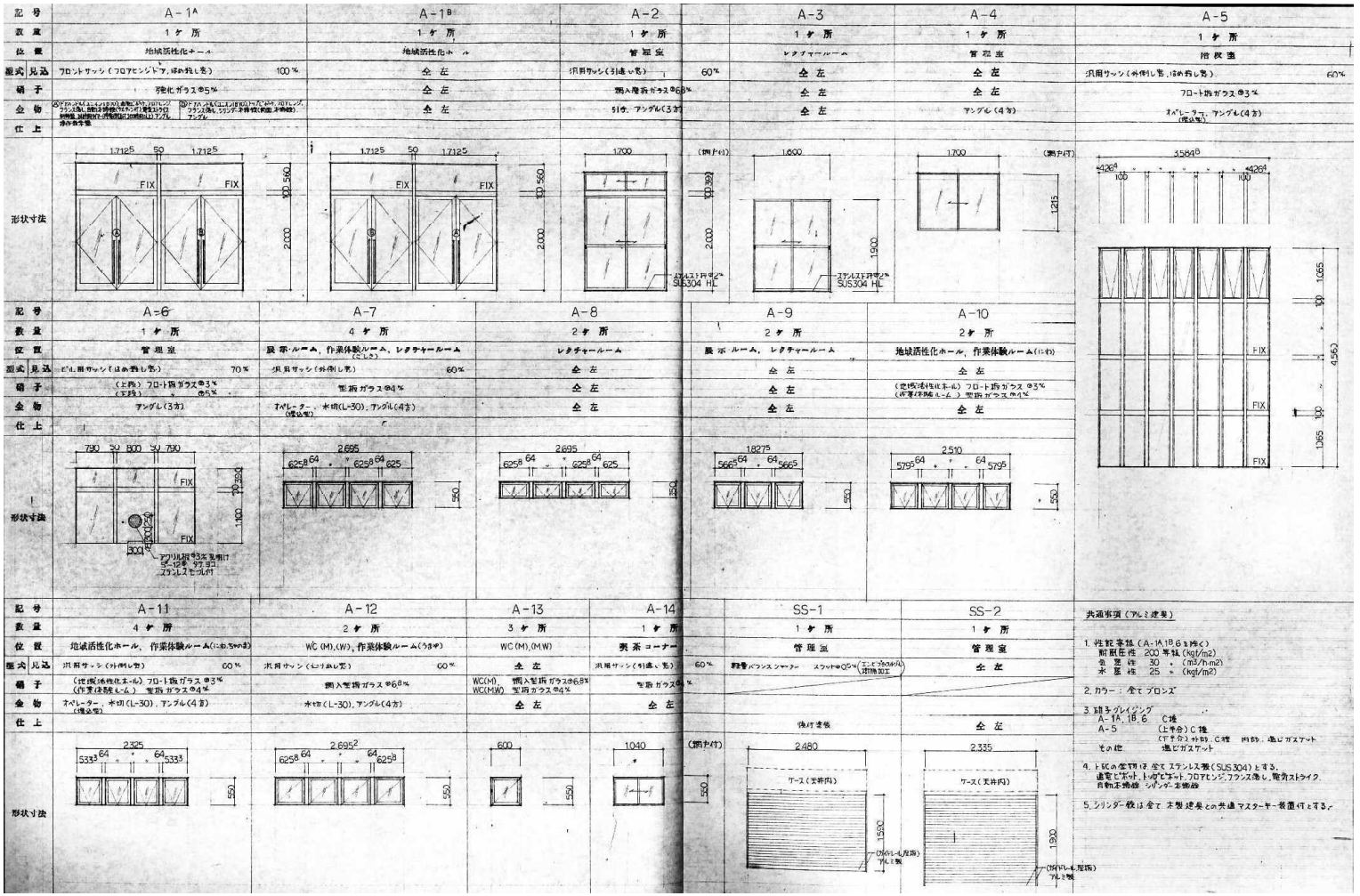
２階建具キープラン　S＝1/200

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	２階建具キープラン
年月日	２０２６．０１
尺	1/200
図面番号	A－２５
構	電
視	

備考



備考	有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL 025-10-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 A-26
				図面名称	建具表-1	縮尺	1/100	原 電 構 機

記号	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5A	W-5B	W-5C	W-6	W-7
数量	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
位置	作業体験ルーム（ざしき）	作業体験ルーム（ざしき）	作業体験ルーム（広間）	作業体験ルーム（ざしき）	作業体験ルーム（にわ、ちゃのま）			作業体験ルーム（うまや）	作業体験ルーム（にわ）
建具見込	腰付障子（4本引） 33%	障子（4本引） 30%	障子（4本引） 33%	格子付障子（片開き） 33%	障子（両戸） 30%			障子（引違い） 30%	格子戸（引違い） 33%
硝子									
金物	引手		引手	丁番、D-ラッチケース錠					シリンダー錠錠、引手、戸車、埋込レール
仕上	木材、カシュー塗り（枠廻：03C）3分5厘り	木材 03 3分5厘り	木材、カシュー塗り（面：03C）	木材、カシュー塗り（面：03C）	木材 03			木材 03 3分5厘り	木材 03
形状寸法	3085 1735	2427.5 640	1615 1580	620 1735	(W-5A) 1645 (W-5B) 1500 (W-5C) 1470 550			1517.5 350	1705 1900

記号	W-8	W-9	W-10	W-11	W-12	W-13	W-14	W-15	W-16
数量	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	1ヶ所
位置	ホール	官姫道、受付コーナー	WC(M)(W)	倉庫	レクチャールーム	倉庫(A)	ﾎｰﾙ	レクチャールーム	展示・ルーム
建具見込	腰付(引違い) 33%	両面フラッシュ戸(片開き) 36%	全左	両面フラッシュ戸(袖下開き) 36%	両面フラッシュ戸(両開き) 36%	両面フラッシュ戸(片開き) 30%	全左	片面フラッシュ戸(両戸) 30%	格子戸(引合せ) 33%
硝子					フロート板ガラス 3%				
金物	引手	レバーハンドル錠(主開錠)、丁番(3枚取)、ドアチェック、台座、戸当り(※管理室のみ)	レバーハンドル錠(空錠)、丁番(3枚取)、ドアチェック、戸当り	レバーハンドル錠(外開錠)、丁番(3枚取)、ドアチェック、戸当り、フランス落し、台座	レバーハンドル錠(外開錠)、丁番(3枚取)、ドアチェック、戸当り、フランス落し、台座	つまみ取手、丁番(2枚取)、マグネットキャッチ錠、台座	シリンダー本締錠、丁番(2枚取)	引手	シリンダー錠錠、引手、戸車、埋込レール
仕上	木材 OS 3分5厘り	スプルス、クリア合成樹脂TP-Iの4%下地 メラミン樹脂塗り12%3分5厘り(スタッキ)	全左	全左	全左	スプルス、しな合板TP-Iの4%下地 SOP	全左	スプルス、クリア合成樹脂TP-Iの4%下地 ビニールクロス3分5厘り	木材 OS
形状寸法	1705 1335	795 120 555 120 1650 1900 ガラリ 120	795 120 555 120 1650 1900 ガラリ 120	1270 795 475 120 555 120 1650 1900 ガラリ 120	1705 852.5 852.5 120 625 120 625 120 120 1650 1900 ガラリ 120	795 1300	500 500	585 1975	1765 1900

記号	TB-1	TB-2	TB-3
数量	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
位置	WC(M),(W)	WC(M,W)	WC(M)
建具見込	既製トイレブース（ふかウォール工業㈱ TB-CPと同等品） 40%	全左	全左
硝子			
金物	附属金物一式	全左	全左
仕上	ポリエステル化粧合板	全左	全左
形状寸法	1040 80 550 570 80 550 370 600 40 40 40 90° 90° A 1670 50	1000 A 1670 50	180 550 140 550 813 40 590 90° A

共通事項（木製建具）

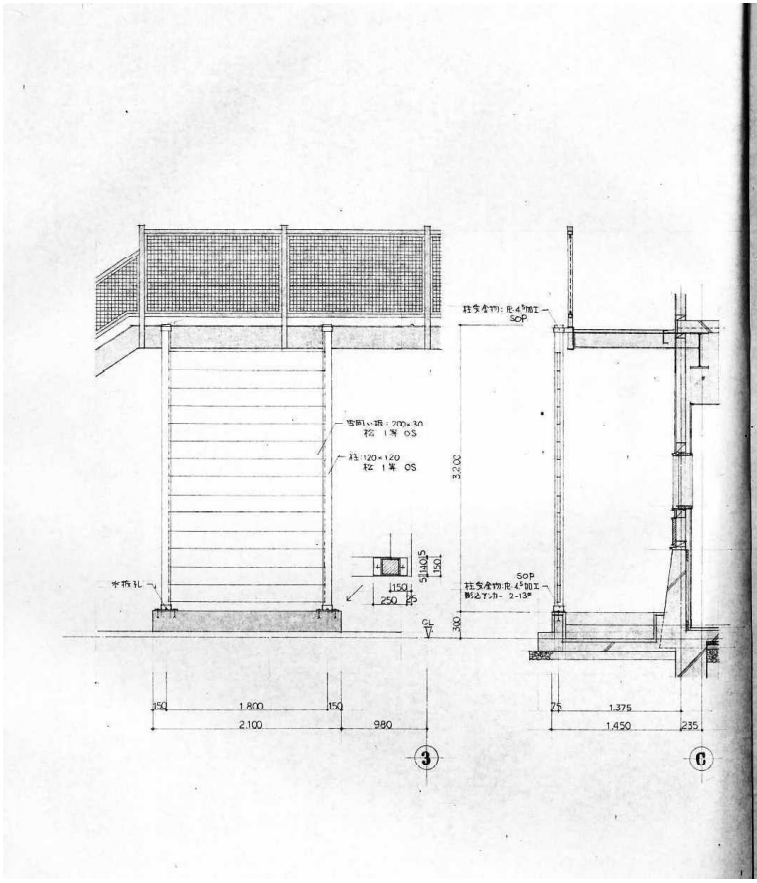
1. シリンダー錠は、全て アルミ製建具との共通マスターキー仕様とする。
2. 下記の金物は 全て ステンレス製（SUS304）とする。
   シリンダー錠錠、レバーハンドル錠、シリンダー本締錠、戸車、埋込レール、丁番、フランス落し、台座
3. 戸当りは KKユニオンの下記の色番の物を使用する。
   W-9 — UT-30（ダルクローム）
   W-10 — UT-8Y-25（ダルクローム）
   W-11,12 — UT-18S（GB）

備考										

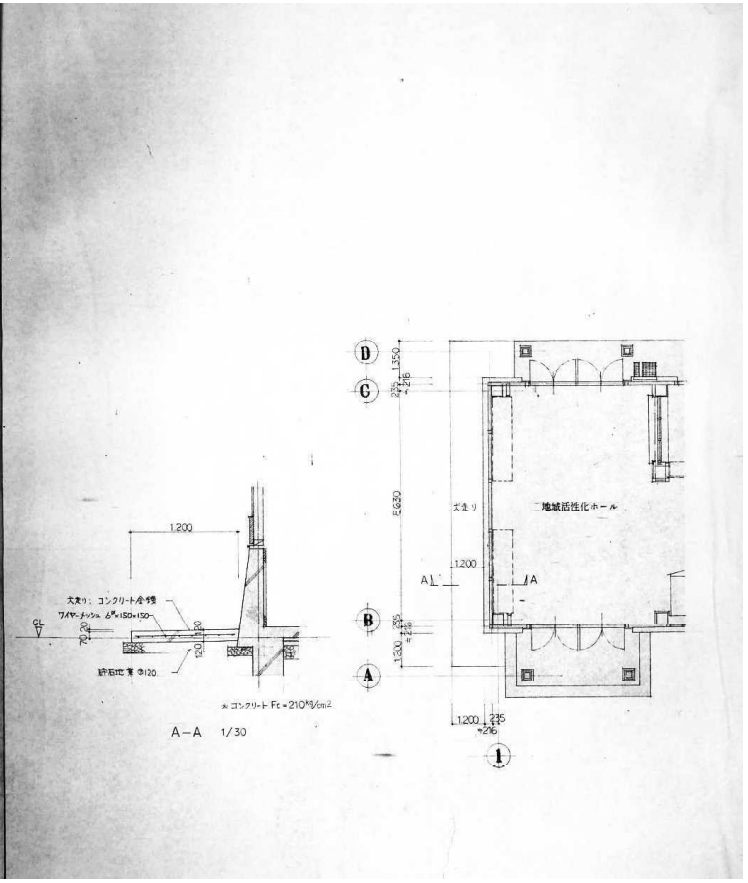
有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-10-1588・FAX 792-0910
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号	A-27
図面名称	建具表-2	縮尺	1/100	図	電
				構	機

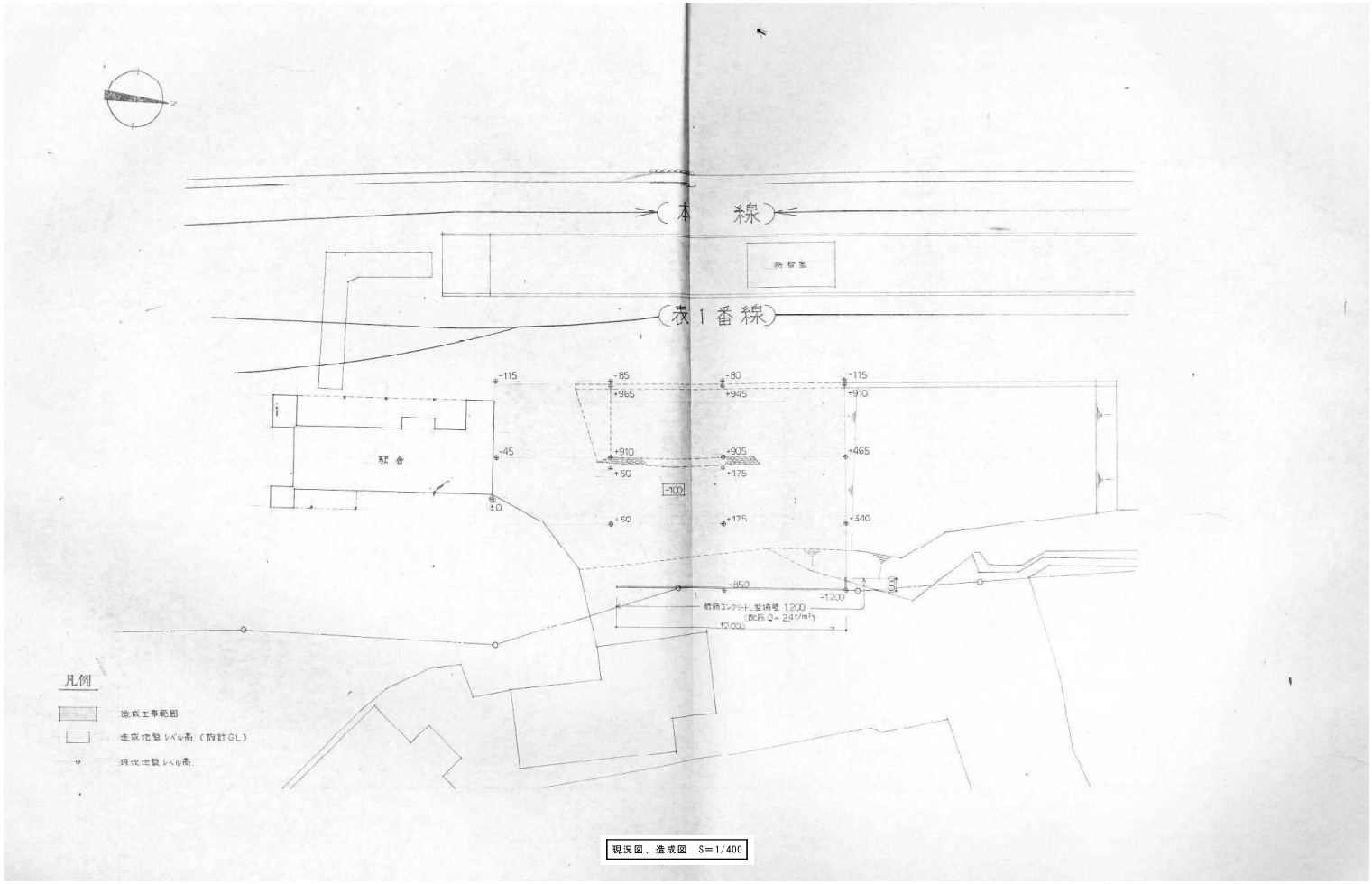


オイルタンク雪囲い　S＝1/60



犬走り図　S＝1/200

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－２８
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号	図面名称	オイルタンク雪囲い、犬走り図	縮尺	1/60 、1/200	図 電 構 視



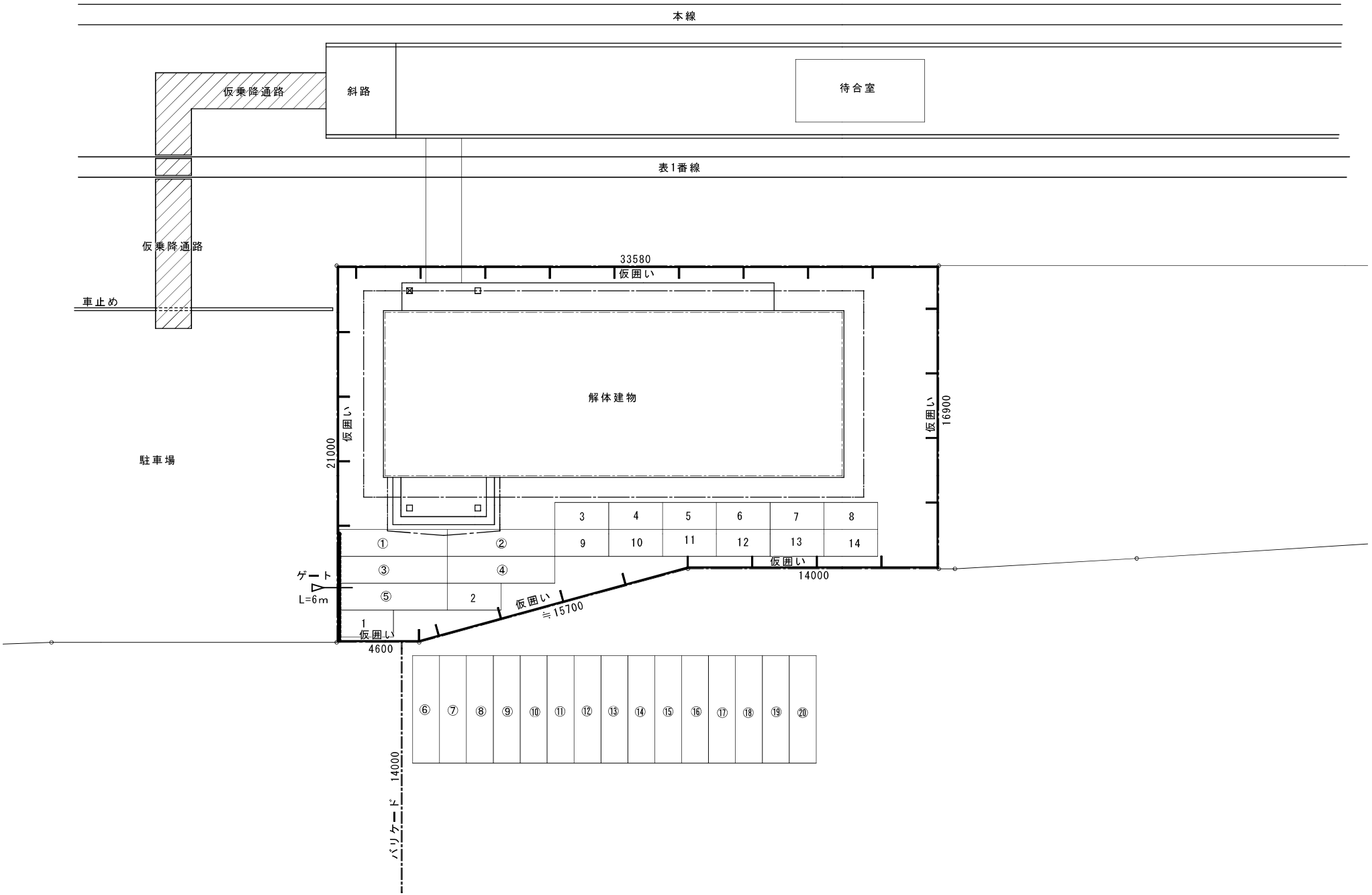
現況図、造成図　S＝1/400

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(ﾛ)第１９２５号 TEL 025-790-3580・FAX 792-0910
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

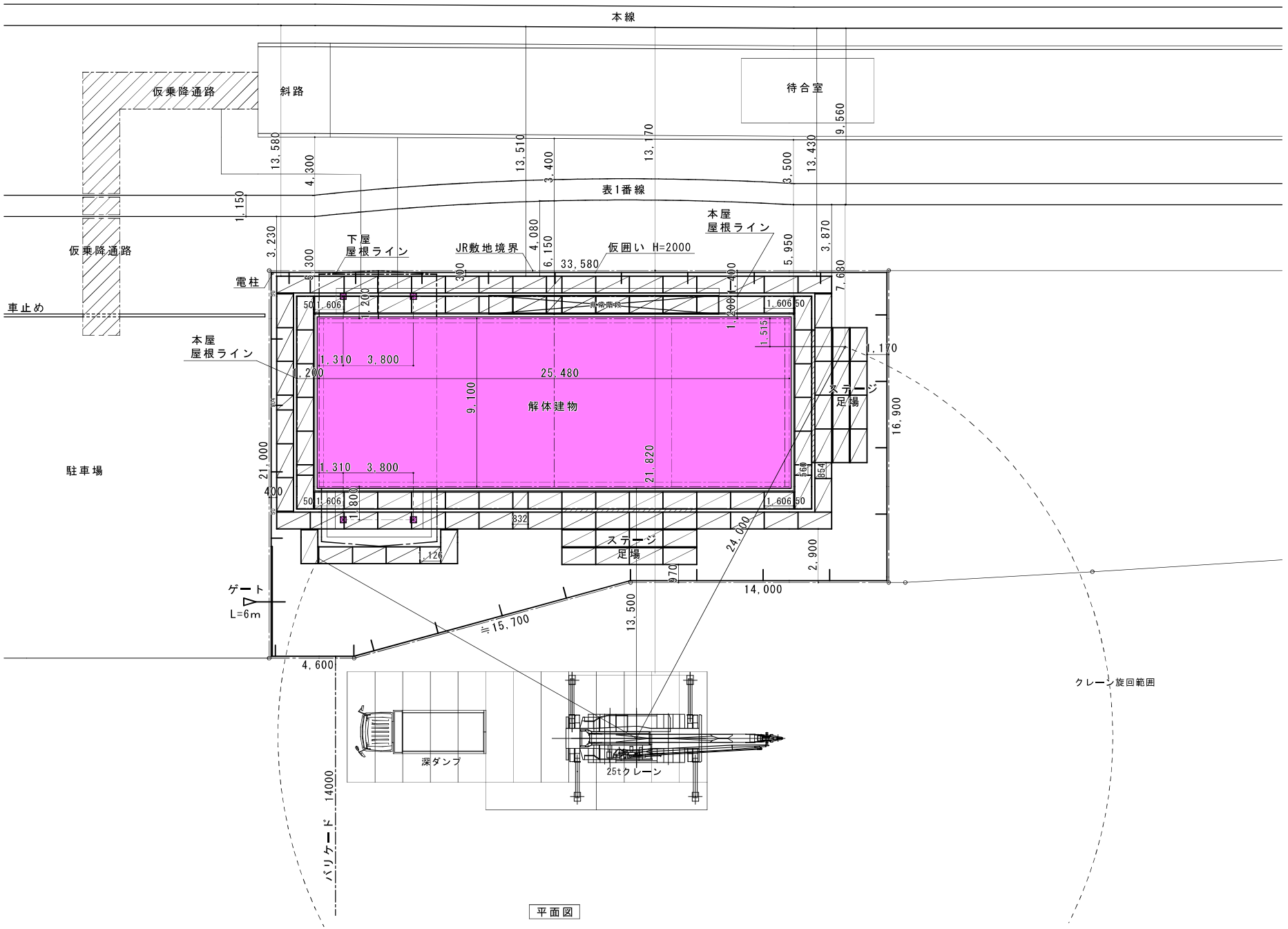
設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	現況図、造成図
年月日	２０２６．０１
尺	1/400
図面番号	A－２９
担当	電
	構
	機

備考

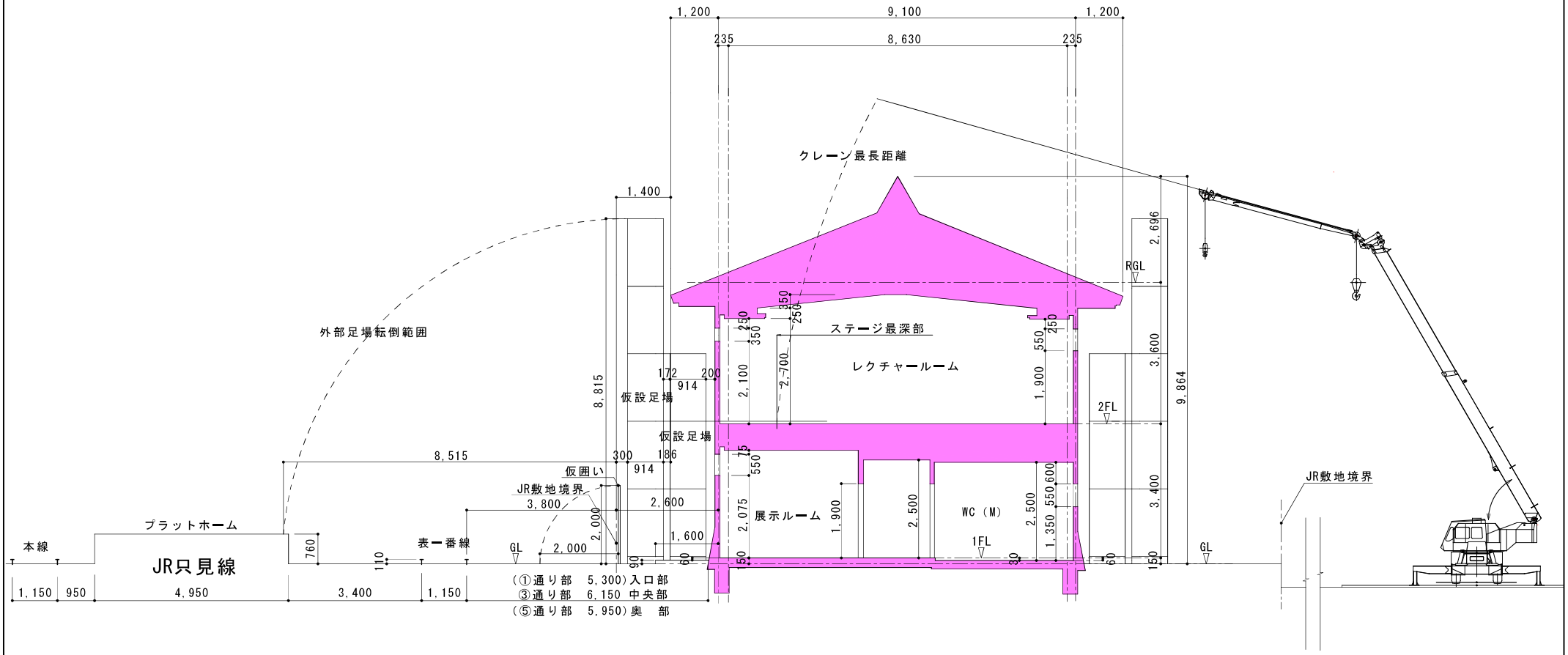


番号		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL.025-795-5581 FAX.795-5590 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日 2026.01	図面番号 A-30
			浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	仮設計画図	縮尺 1/200	意匠 電気 構造



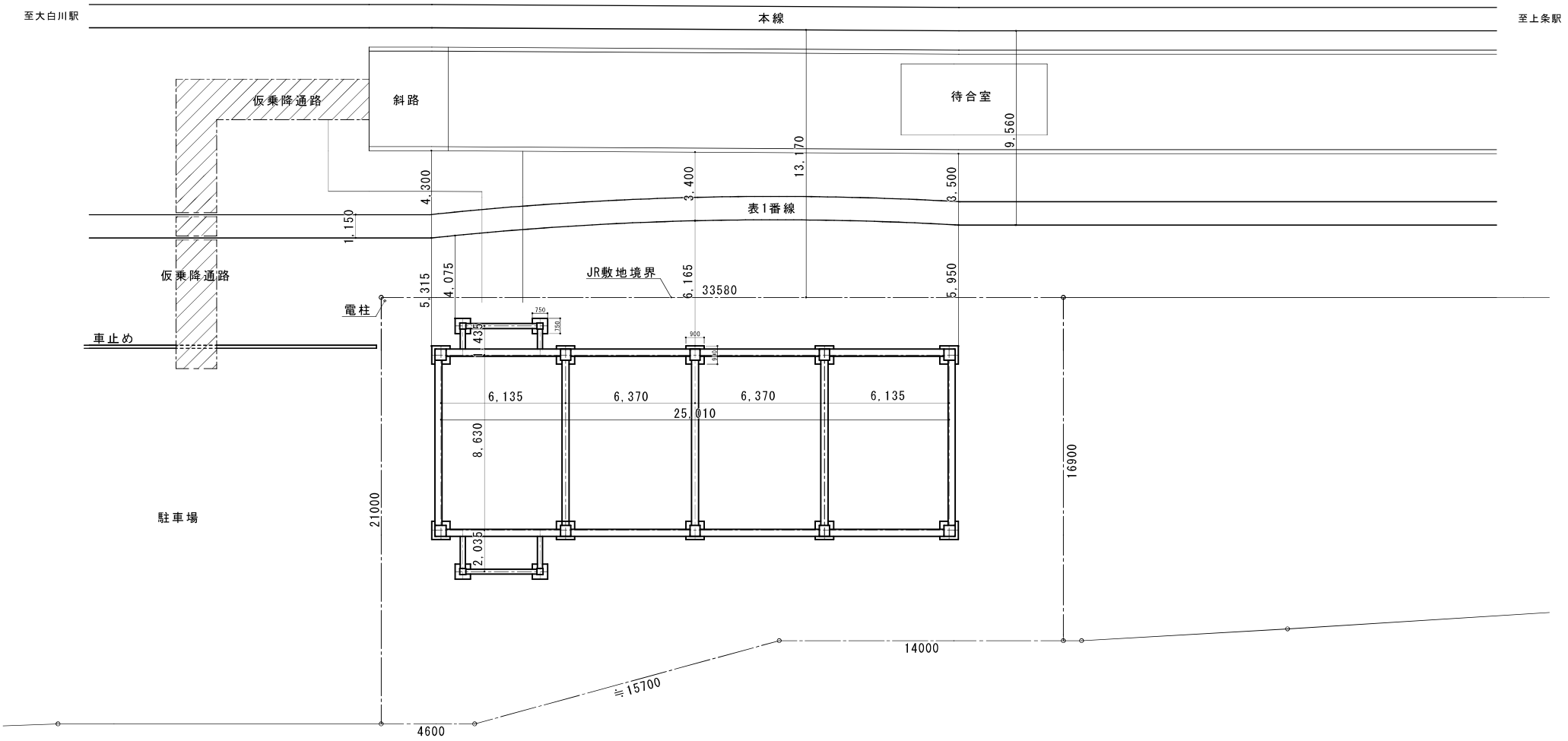
平面図

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(1)第1925号 TEL 025-750-2501 FAX 750-2910 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称 魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日 2026.01	図面番号 A-31
					図面名称 仮設計画平面図（JR設備までの距離記載）	尺 1/200	意匠 構造

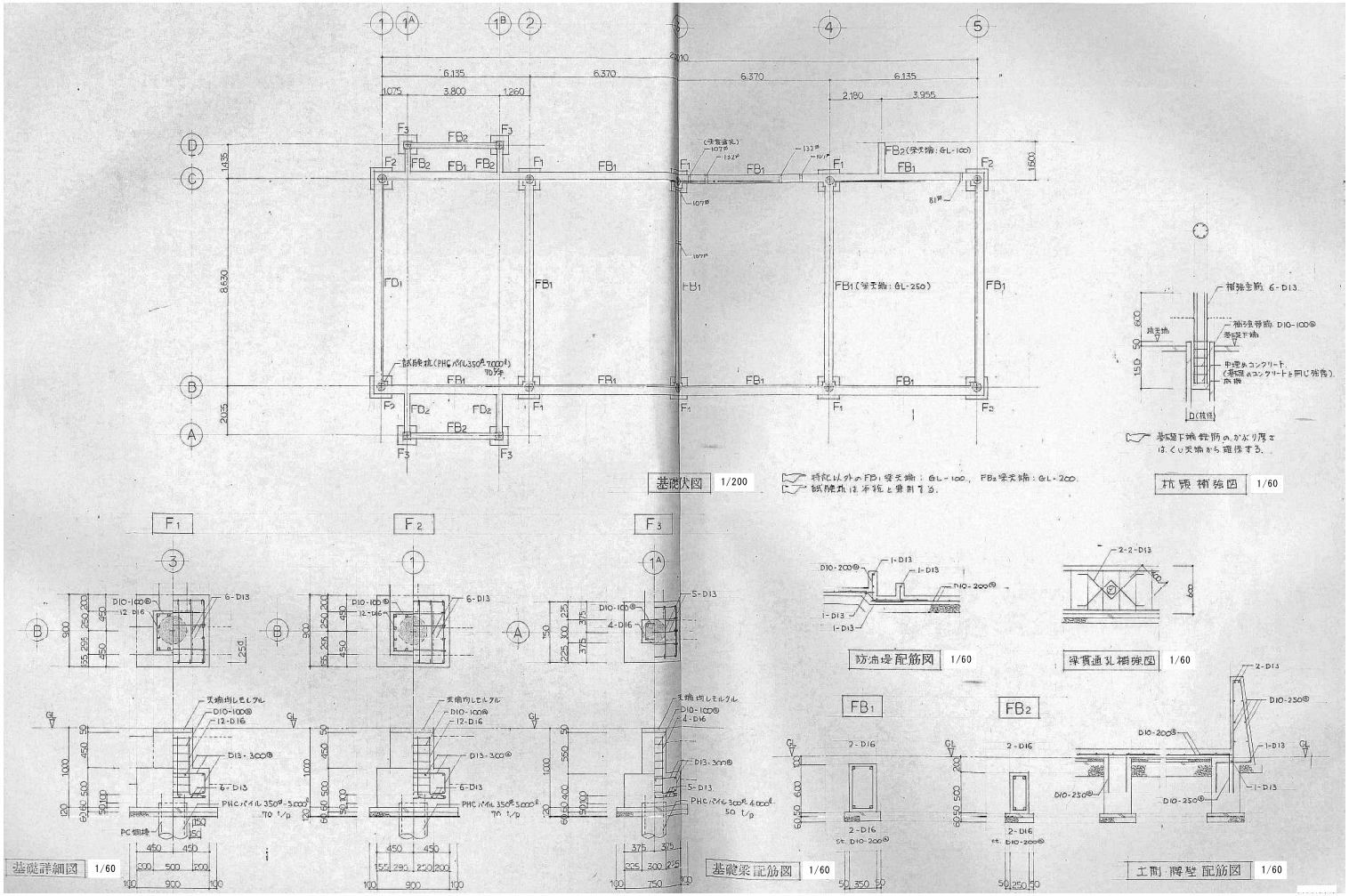


断面図

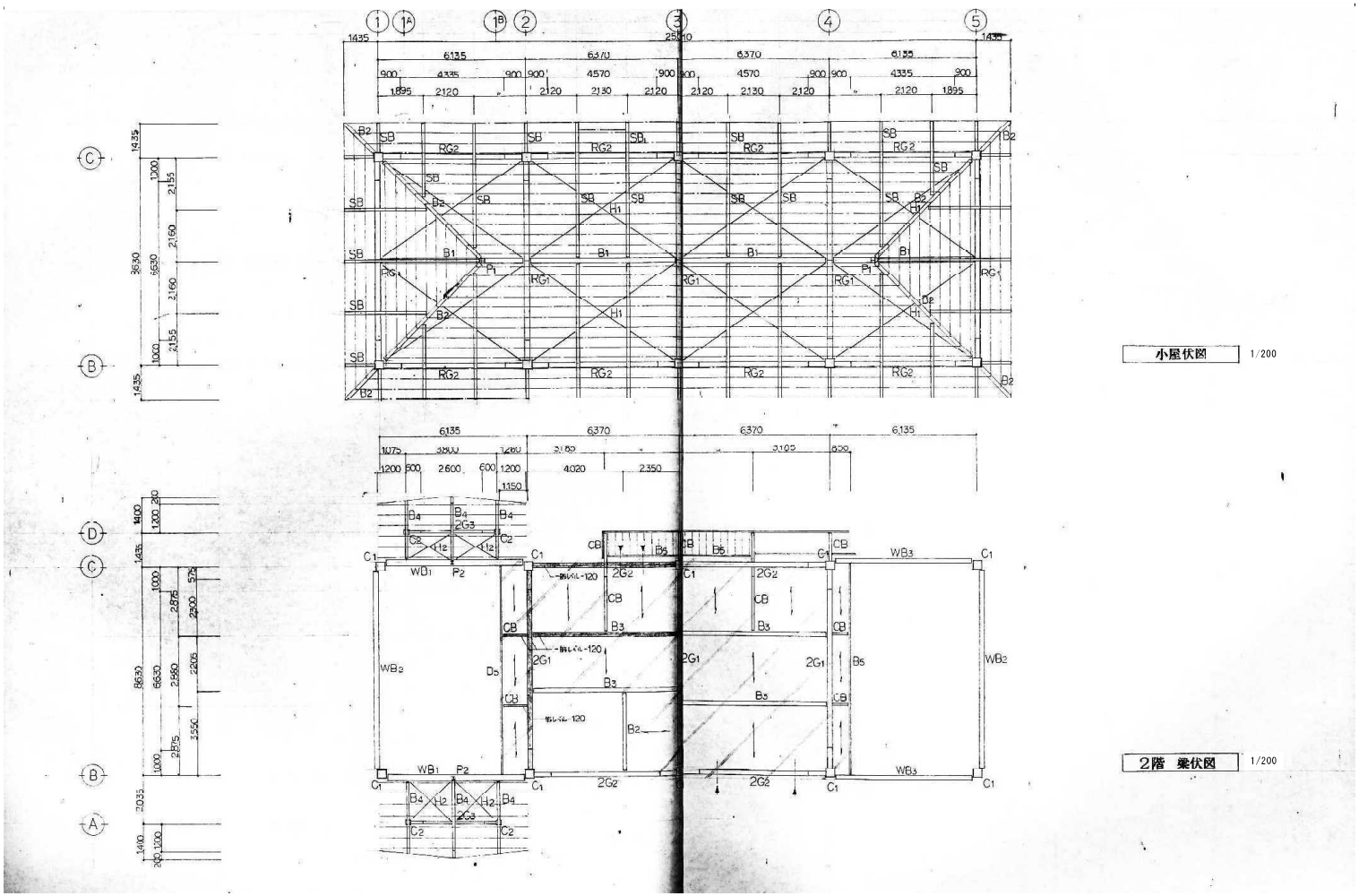
備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(ﾘ)第１９２９号 TEL 025-794-2116・FAX 794-2090 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名 浅 井 守 人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第２４２２２２号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 A－３２
					図面名称	仮設計画断面図（JR設備までの距離記載）	縮尺	1：100	承 構



備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(1)第１９２５号 TEL 025-793-3581 FAX 793-3950 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称 魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日 ２０２６．０１	図面番号 A－３３
					図面名称 基礎伏図（JR設備までの距離記載）	縮尺 1/200	意匠 電 構造 機



備考	有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人		設計者等 氏名	建築士登録番号等		工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 S-01
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号		図面名称	基礎伏図、基礎詳細図、各部配筋図	尺	1/200、1/60	意匠 電気 機械



小屋伏図　1/200

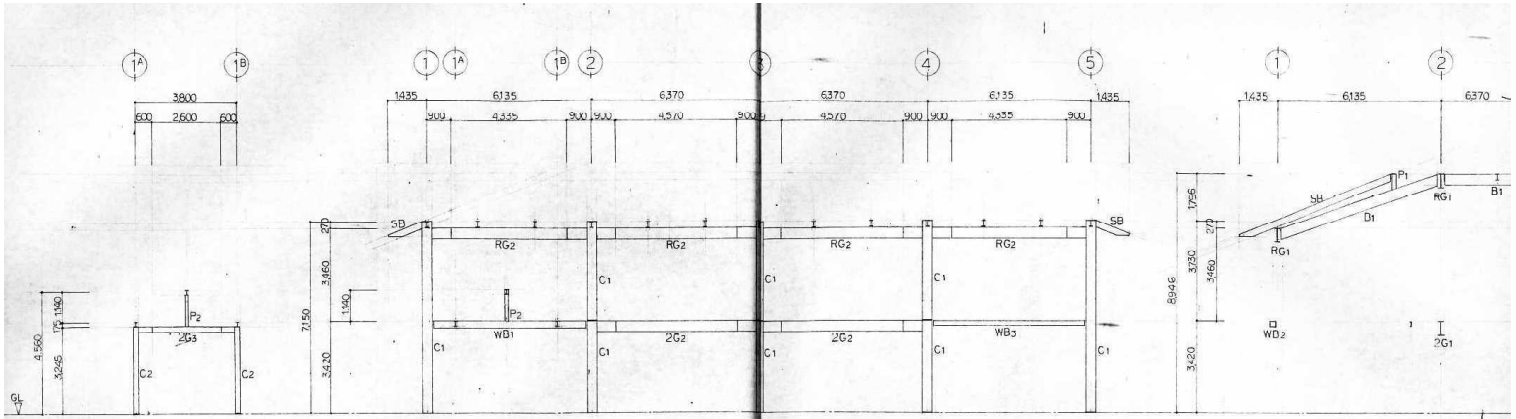
2階　梁伏図　1/200

備考
H1 はSB下端、H2 はB4下端に取付
梁貫通孔（鋼管スリーブ 190.7φ×5.3t）位置を示す

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

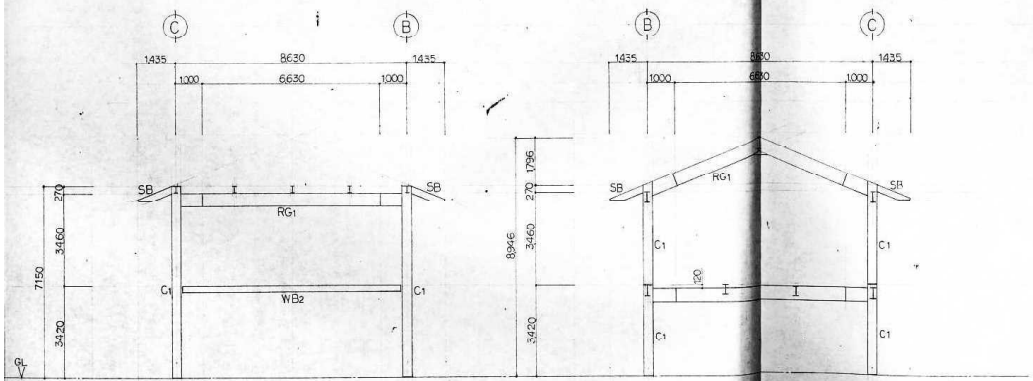
工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	小屋伏図、２階梁伏図
年月日	２０２６．０１
尺	1/200
図面番号	S-02
意匠	電
構	視



A 通軸組図 1/200

B 通軸組図 1/200

梁間中央 通軸組図 1/200



1 通軸組図 1/200

2 通軸組図 1/200

共通注意事項

コンクリート	FC=210kg/cm²
鉄筋	異形丸鋼SD30
鉄骨	SS-41 SSC-41
高力ボルト	F10T

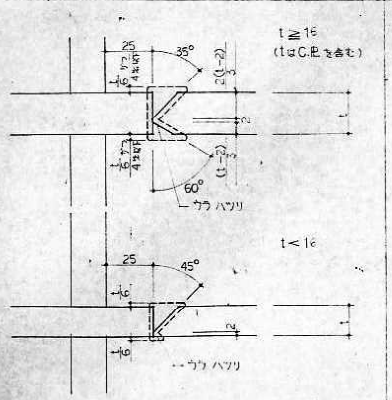
P.Iボット付高力ボルト・TCボルト・
S.Cボルトまたは同等以上のもの

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日 2026.01
					図面名称	軸組図、共通注意事項	尺 1/200

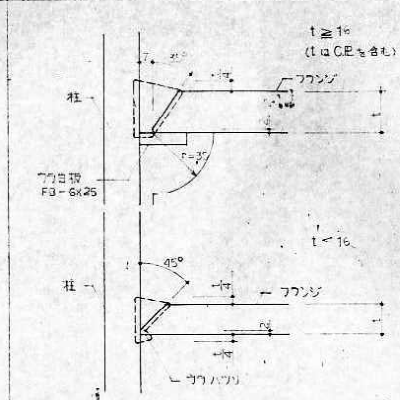
図面番号 S-03

意匠 構造 電気 機械

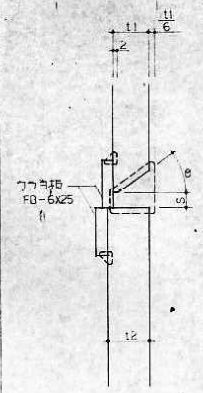
通しプレートと梁フランジ　エンドタブ取付（半自動 CO_2）



柱と梁フランジ　エンドタブ取付（半自動 CO_2）

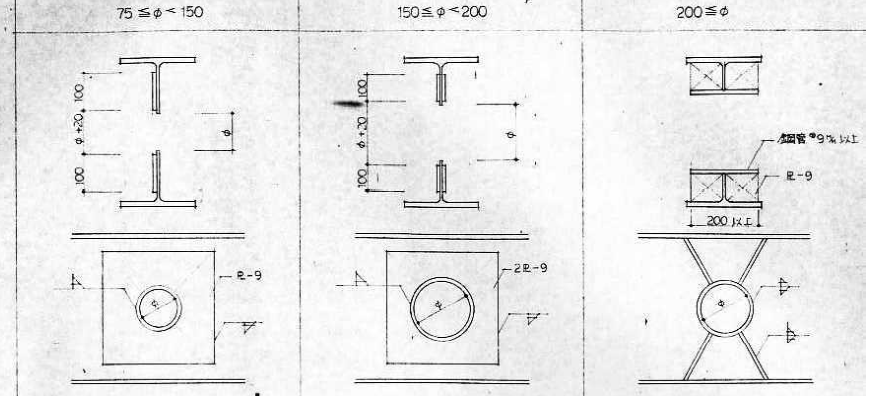


柱と柱　（半自動 CO_2，現場は手動）



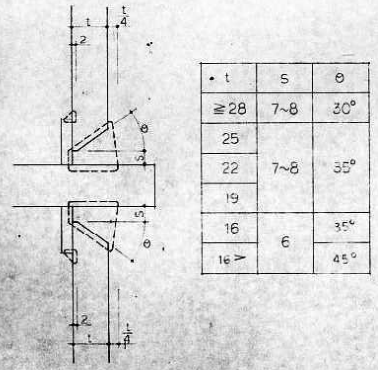
t1	S	θ
≧28	7~8	30°
25	7~8	35°
22		
19		
16	6	35°
16>		45°

梁貫通補強　（位置は現状図に依る）



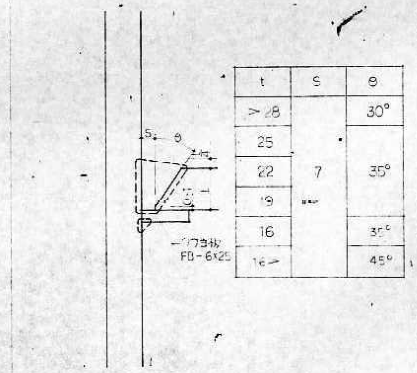
各径外周補強は母材梁上下端より100以上とする

通しプレートと柱　（半自動 CO_2）



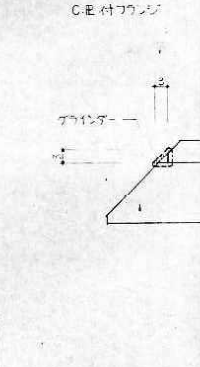
t	S	θ
≧28	7~8	30°
25	7~8	35°
22		
19		
16	6	35°
16>		45°

柱と内ダイアフラム　（半自動 CO_2）

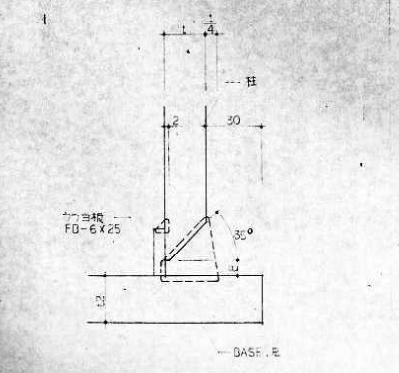


t	S	θ
>28	7	30°
25		
22		35°
19		
16		35°
16>		45°

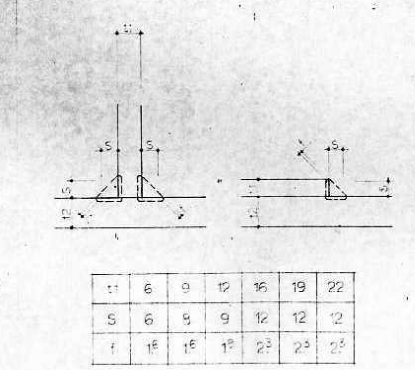
仕口開先　（自動ガス切断＋グラインダー）



BASE.PL と柱　（半自動 CO_2）

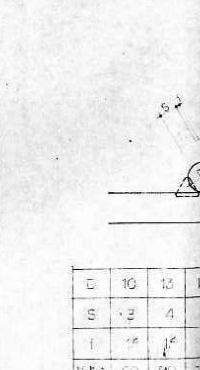


スミ肉溶接　（手動 半自動 CO_2）



t	6	9	12	16	19	22
S	6	9	9	12	12	12
f	1.6	1.6	1.6	2.3	2.3	2.3

プレートと双開　（手動 半自動 CO_2）



D	10	13	16	19	22	25
S	3	4	5	6	7	8
f	1.2	1.4	1.6	1.6	1.9	1.9
許容	60	90	110	140	150	170

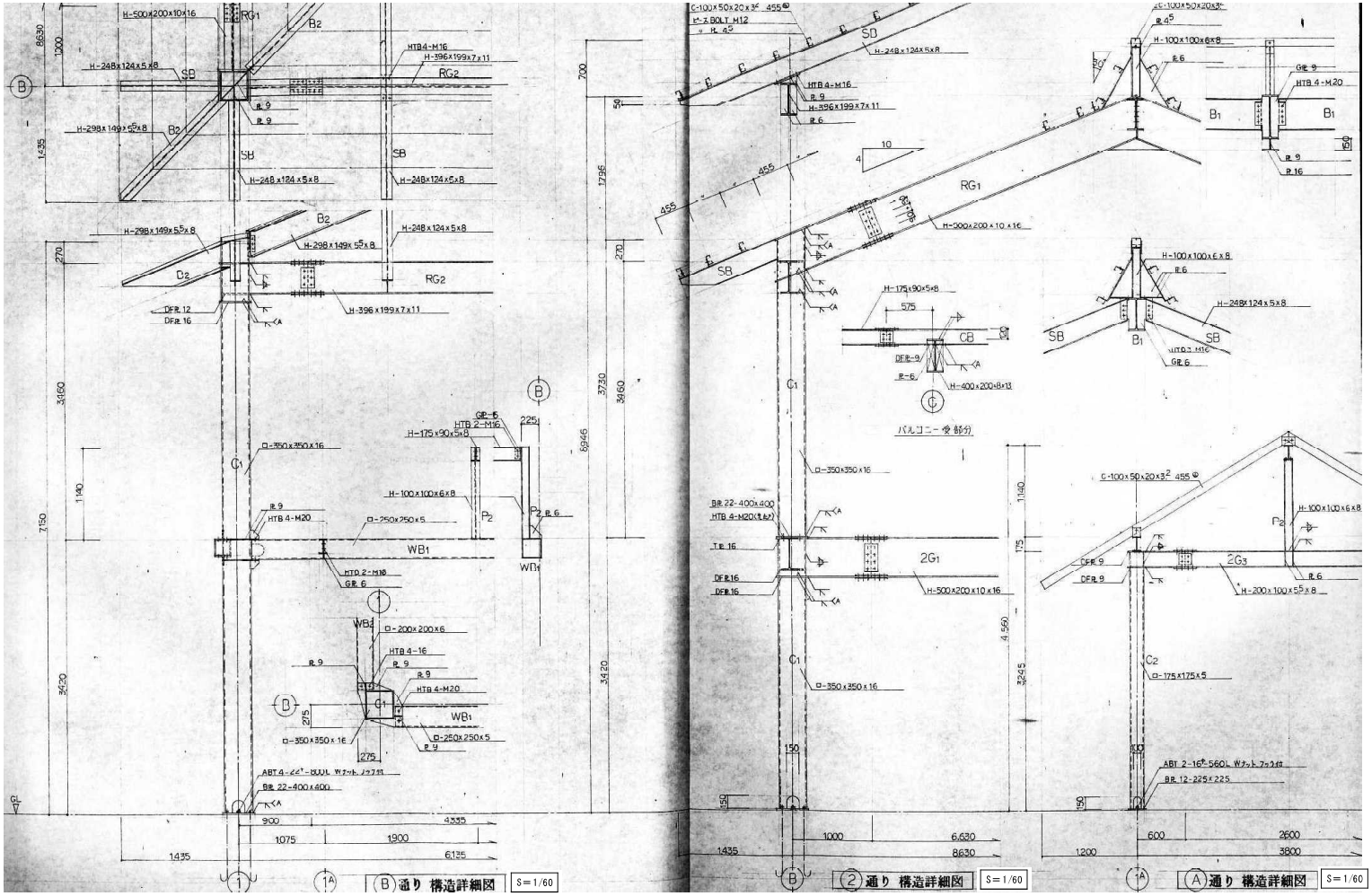
部材リスト

	部材	2F 柱脚		1F 柱脚	
C1	□-350×350×16	BB 22-400×400	HTB 4-M20	BB 22-400×400 ABT4-22-800ℓ w/ナット	
C2	□-175×175×5			BB 12-225×225 ABT2-16-560ℓ w/ナット	
P1	H-150×150×7×10				
P2	H-100×100×6×8				
	部材	フランジ仕口		ウェブ仕口	
R2 G1	H-500×200×10×16	2PL12-195×405 4PL16-70×405	HTB 24-M20	2PL9-350×165	HTB 8-M20
R G2	H-396×199×7×11	2PL9-195×405 4PL9-70×405	HTB 24-M20	2PL6-260×165	HTB 6-M20
2 G2	H-400×200×8×13	2PL9-195×405 4PL12-70×405	HTB 24-M20	2PL9-260×165	HTB 6-M20
2 G3	H-200×100×5.5×8	2PL12-100×285	HTB 10-M16	2PL6-140×165	HTB 4-M16
B1	H-396×199×7×11			4PL9	HTB 4-M20
B2	H-298×149×5.5×8			〃	HTB 3-M16
B3	H-350×175×7×11	〃		〃	HTB 3-M20
B4	H-175×90×5×8			4PL6	HTB 2-M16
B5	C-150×50×3.2			〃	〃
CB	H-175×90×5×8	2PL9-90×285	HTB 16-M16	2PL6-140×165	HTB 4-M16
SB	H-248×124×5×8	PL9	HTB 4-M16	4PL6	HTB 3-M16
WB1	□-250×250×5	2PL9	HTB 4-M20		
WB2	□-200×200×6	〃	HTB 4-M16		
WB3	□-175×175×5	〃	〃		
H1	RB-19φ　ターンバックル付	4PL6 羽子板厚6-80×290	HTB 2-M16		
H2	RB-16φ　〃	4PL4.5 羽子板厚4.5-80×250	HTB 2-M16		
胴座	C-100×50×20×3.2　455φ			ピース厚4.5	中ボルト 1-M12
合成床	QL99-50-12-S8	別図仕様に依る。			

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL 025-780-3580・FAX 780-0990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	鉄骨基準図、部材リスト
年月日	2026.01
尺	
図面番号	S-04
原	電
複	視



備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-790-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 S-05
			浅 井 守 人	一級建築士登録 第２４２２２２号	図面名称	構造詳細図	尺	1/60	意 電 構 視

川建QLデッキ合成スラブ設計・施工標準

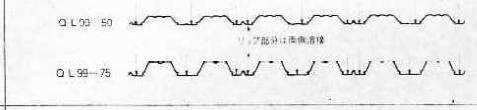
川建QLデッキ合成スラブの設計・施工は、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、鋼材倶楽部「デッキプレート床構造設計・施工規準」、川建QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料	デッキプレート	◉QLデッキ	◉QL99-50-12 □QL99-50-16 □QL99-75-12 □QL99-75-16 / □裏面防錆処理 □QLプライマー(P) □( ) □亜鉛メッキ(G) □Z12 □Z27
	サイズ	□QLセルラー	□QC99-50-12 □QC99-50-16 □QC99-75-12 □QC99-75-16 / □亜鉛メッキ(G) □Z27
	材質	JIS G 3352	◉SDP1T □SDP2 □SDP2G
	コンクリート	種類	◉普通コンクリート □軽量コンクリート(□1種 □2種)
		設計基準強度	□180 ◉210 □( ) kg/cm²
		厚さ(デッキ山上)	□60 □70 ◉80 □85 □90 □95 □100 □( ) mm
	溶接金網	JIS G 3551	◉φ6×150×150 □φ6×100×100 □( )
	アクセサリー		◉クローサーCS50S □クローサーCS75S ◉フラッシングFS1(W=200) ◉フラッシングFS2(W=150) ◉フラッシングFS3(W=100)
接合	◉焼抜きせん溶接	下記による	
	□頭付きスタッド	JIS B 1198	□φ13 □φ16 □φ19 □φ22
	□その他		

焼抜きせん溶接(標準径25mm)P.Wと略記

デッキ幅方向 大ばり上



デッキ幅方向 小ばり上



デッキ長さ方向 大ばり上



注：I) 水平荷重時(水平せん断力)に対して、実験に基づいた「川建QLデッキ設計マニュアル」に示す許容水平せん断耐力式に依り安全性を確認すること。
II) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜きせん溶接は不要。

耐火特記	◉指定なし	
	□1時間	□連続支持合成スラブ川建QLデッキ(通)F1001 □吹付けロックウール t15mm(通)F1111 □単純支持合成スラブ川建QLデッキ(通)F1002 □( )
	□2時間	□連続支持合成スラブ川建QLデッキ(通)F2001 □吹付けロックウール t20mm(通)F2111 □( )
	支保工有無	◉無 □有
	その他	

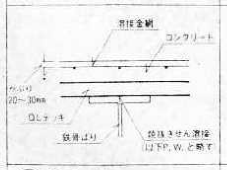
耐火仕様

耐火時間	コンクリート種類	QLデッキのサイズ	支持スパン	床の許容積載荷重	コンクリート厚さ	溶接金網
床、1時間耐火 耐火(通)F1001	普通コンクリート	QL99-50	3.0m以下	550kg/m²以下	80mm以上	φ6×150×150
		QL99-75				
	軽量コンクリート	QL99-50		400kg/m²以下	70mm以上	φ6×150×150
		QL99-75				
床、1時間耐火 耐火(通)F1002	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	400kg/m²以下	80mm以上	φ6×150×150
		QL99-75				
		QL99-50	2.4m以下	550kg/m²以下	80mm以上	φ6×150×150
		QL99-75				
床、2時間耐火 耐火(通)F2001	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	360kg/m²以下	95mm以上	φ6×100×100
		QL99-75	3.0m以下	360kg/m²以下	90mm以上	φ6×150×150
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m以下	360kg/m²以下	85mm以上	φ6×150×150
		QL99-75	3.0m以下	360kg/m²以下	85mm以上	φ6×150×150

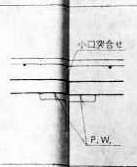
溶接金網敷設	右図に示す
デッキとはりとの接合	前記焼抜きせん溶接の項に従う
デッキ相互の接合	ボタンパンチングツールにより、オスリップとメスリップを最大600mmピッチ内で接合する。

標準納まり

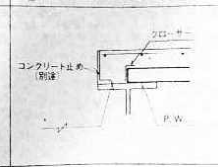
①大ばり上直交部



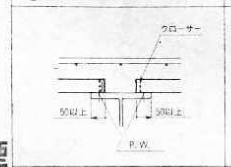
②大ばり上直交部



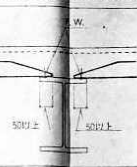
③大ばり上直交部端



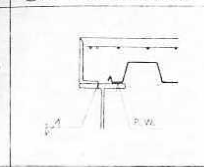
④クローサー



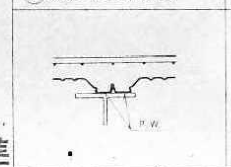
⑤エンドクローズ加工納り



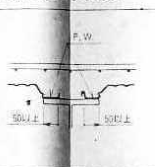
⑥大ばり上平行部端



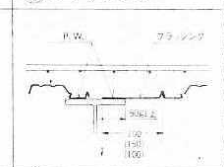
⑦大ばり上平行部



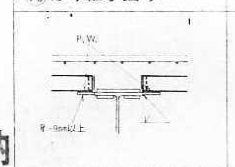
⑧大ばり上平行部



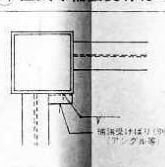
⑨フラッシング



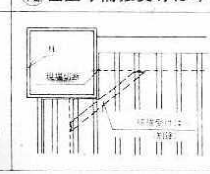
⑩はり継手回り



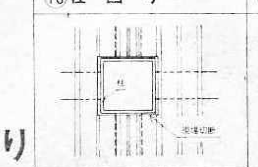
⑪柱回り補強受けばり



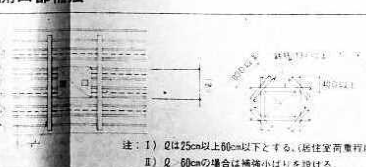
⑫柱回り補強受けばり



⑬柱回り



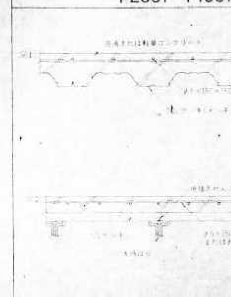
⑭開口部補強



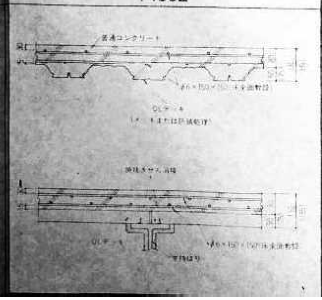
注：I) Dは25cm以上80cm以下とする。(居住室両妻程度)
II) D 80cmの場合は補強小はりを設ける。

⑮耐火

F2001 F1001



F1002



施工

施工順序	墨出し → 敷込み仮止め溶接 → 焼抜きせん溶接(頭付きスタット溶接) → ボタンパンチ → 溶接金網敷込み → コンクリート打
敷込み	1)墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2)デッキプレートのみそ部が各大ばり上に乗るように敷込む。(50mm以上) 3)デッキプレートの長さ方向のはり上のかかり幅は50mm以上に敷込む。

焼抜きせん溶接(P.W)

手動アーク溶接

溶接条件 1)溶接棒種類 低水素系溶接棒 JIS D 5016, D 4316
2)溶接棒径 φ4mm
3)溶接電流とアークタイム標準

梁フランジ厚(mm)	溶接電流(A)	アークタイム標準(秒)
9mm未満	250	約7
9mm以上	310	約9

4)運棒方法
以下の1~Ⅳの順に行なう。

		消費時間 A=310	消費時間 A=250
Ⅰ	アークストライク	4秒間	3秒間
Ⅱ	直径約12mmの円を描きデッキを焼抜く		
Ⅲ	棒の先端をフランジ表面まで押込み順次19mm→13mm→7mmの円を描き溶着していく	5秒間	4秒間
Ⅳ	その後回転させながら形を整えて仕上げる	1秒間	1秒間

CO_2アークスポット自動溶接

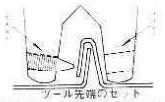
一次側電源の必要容量 仮設電力の場合 20KVA以上 3相 200V
発電機の場合 35KVA以上 3相 200V
ワイヤー φ1.6
標準溶接条件

梁フランジ厚	電流(A)	電圧(V)	アークタイム(秒) フランジ表面	フランジ裏面
9mm以上	350~400	33~35	2.5~3.0	1.5~2.0×2回(重ね打ち)
9mm未満	300	33	2.5~3.0	1.5~2.0×2回(重ね打ち)

注) CO_2ガス流量は、15ℓ/毎分以上にして下さい。

ボタンパンチ

ボタンパンチの標準ピッチ 600mm





溶接金網

コンクリート表面よりのかぶり厚さが20~30mmになる様レベル保持し全面に配する。
重ね代は1コマ以上とする。但し、耐火仕様の場合はその仕様による。

特記事項

検査

焼抜きせん溶接

事前検査

手動アーク溶接
設定電流値を溶接棒の消費長さでチェックする
(アーク長を約3mmに保持し、連続的に約15秒溶かし)
下記の標準消費長さをチェックする。

溶接棒径mm	設定電流値A	15秒間の標準消耗長さ mm
4	250	90~100
4	310	110~120

CO_2アークスポット自動溶接 試し打ちを行って、溶接径を確認する。

溶接後の外観検査
1)溶接ピッチ
2)溶接径 25mm以上
3)アンダーカット、スラグ巻込み、等の有無

不良部の補修 不良部は径φ4(160A)又はφ3.2(90A程度)で肉盛り補修する。
自動溶接の場合は重ね打ちで補修する。

その他
1)溶接金網の敷込み状況
2)ボタンパンチのピッチ
3)開口部の補強状況
4)耐火フロアの表示マークの貼付
(表示マークは川鉄建材工業㈱へ請求すること)

備考
同等品 - 日鉄建材 EV EUA EZ
鋼管ライト DP-C

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)
一級建築士事務所登録(1)第1925号 TEL 025-10-1588・FAX 792-0990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名: 浅井 守人
建築士登録番号等: 一級建築士登録 第242222号

工事名称: 魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
年月日: 2026.01
図面番号: S-06
図面名称: 合成床仕様書
尺:
意匠 構造 設備

雪国観光会館建設　工事特記仕様書

工事場所　魚沼市大栃山136番地6

I　電気設備工事特記仕様

1. 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて新潟県電気設備工事共通仕様書（昭和60年版）による。
2. 特記仕様
   (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
   特記事項は⊙印のついたものを適用する。
   (2) ⊙印のない場合は、※印のあるものを適用する。
   ⊙印と※のある場合は共に適用する。
   (3) 特記事項に記載の（　）内表示番号は、電気設備工事共通仕様書の当該項目又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	設計図書等の優先順位は次の通りとする。 1. 現場説明書　2. 特記仕様書　3. 図面　4. 設計書　5. 共通仕様書 工事写真の撮り方　建築設備編（社団法人 営繕協会）
	② 機材等	機材の製造所・製品及び施工業者などは、建築資材製造者等指定名簿（新潟県土木部制定 S63）及び~~特記されたものとする。~~ 監理者の承認によるものとする。
	③ 発生材の処理	・発生材料調書とともに監督員に引渡す　・監督員の指示により処理　・構内に集積 ⊙構外搬出適切処理　(1.1.9)
	④ 施工従事者	※自家用電気工作物においても法令で定める電気工事士とする。
	⑤ 電気主任技術者	電気主任技術者を工事現場に　・おく。⊙おかない。　(1.1.10) 電気主任技術者は、次の資格者とする。 ・第1種電気主任技術者　・第2種電気主任技術者　・第3種電気主任技術者 ・自家用電気工作物電気主任技術者として認定できる者。ただし、履歴書及び技術を認定できる書類を提出し監督員の承諾を受けた者とする。
	⑥ 工事写真等	工事施工状況写真を　※1部　・　部提出する。　(1.6.1) 完成写真を　⊙2部提出する。 完成写真は　⊙カラー写真とする。　・カラー写真は監督員の指示による。
	⑦ 完成図等	⊙提出する（⊙完成図 ⊙保守指導案内書 ⊙試験成績表）　・提出しない　(1.6.2) ・設計変更した場合に提出する。（・完成図　・保守指導案内書　・試験成績表）
	⑧ 足場・さん橋等	※別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　(2.1.1) ・本工事で定置する。
	⑨ 監督員事務所等	※設けない。　・設ける。（・1号・2号・3号・4号・5号　・＿㎡）　(建2.3.1.表) ・仮設事務所の中に監督員用詰所を＿㎡程度確保する。
	⑩ 工事用電力・水等	工事用電力　構内既存の施設　※利用できる。（※有償　・無償）　⊙利用できない。 工事用水　構内既存の施設　※利用できる。（※有償　・無償）　⊙利用できない。
	⑪ 残土処分	※構内指示の場所に敷きならし　・構内指示の場所にたい積　・構外搬出適切処置
	12. 地業工事	種別　※栗石地業　・砂利敷き締固め　(2.3.1) 切込み砂利及び切込み砕石の種別　※砂利　・砕石
	13. 鉄筋	※異形鉄筋　※A種　・B種（※SD30　・SD35）　(2.4.1)(建5.1.2表) ・丸鋼　※A種　・B種　(建5.1.2表)
	14. コンクリート工事	粗骨材　※砂利　・砕石　・砂利と砕石の混合（　%wt以下）　(建6.2.2) 細骨材　※洗砂　・　(2.4.1) 普通コンクリート　※レデーミクストコンクリート（※Ⅰ類　・Ⅱ類）　(建6.1.1表) ・現場練りコンクリート（・機械練り　・手練り）　(建6.10.1〜4) 設計基準強度（kg/㎠）　(建6.9.1表) ・210 施工箇所（　） ・180 施工箇所（　） ・150 施工箇所（　） ・135 施工箇所（　） ・現場練りコンクリート施工箇所（　） 強度試験　省略する。 ・下記のコンクリートは、強度試験を実施する。　(建6.11.4) （　）
	⑮ 塗装	塗料の品質　※JIS規格品　・規格品外　(2.7.2) 塗料の規格種別 さび止めペイント　鉄部　※(JIS K 5622〜5625)　・(JIS K 5621) 亜鉛めっき面　※(JIS K 5627) アルミニウムペイント　※(JIS K 5492) 絶縁ワニス　※位置ボックス類の内面は絶縁ワニスを使用することができる。 焼付塗装　・露出プルボックス(SS)
	⑯ わじなし電線管の使用	※使用してよい。　・使用しない。
	⑰ フラッシュプレート	種別　・樹脂製（・カラープレート　・一般形）　・ステンレス製　※新金属製(大角形) 通信用　・丸形　※角形 ジョイントボックス用　※丸形　・角形
	18. プレートの用途別表示	※ジョイントボックス及び器具を実装しないプレートには略標などを用いて用途を明示する。
	⑲ インサート	本工事に　※含む。　・含まない。
	20. 貫通孔のスリーブ	※スリーブは鋼管製又は鋼板製とする。　(建22.2.1)(機2.1.8表) ・下記以外の場所でやむを得ない場合は、監督員の承諾を受けて紙製又は合成樹脂製スリーブを使用することができる。ただし、型わく取外し後完全に取除くものとする。 ※ 防火区画の（※はり　・床　・壁）を貫通する箇所 ※ 幅が（※350㎜　・300㎜）以上のはり ※ ピット及び水槽などに接するはり及び壁
	㉑ 盤類の仕上色	⊙分電盤（・JEM 1135　※指定色） ・制御盤、配電盤（※JEM 1135　・指定色）
	㉒ 他工事との取合い	電気一次側電源供給の別契約機器の接地は（※本工事　※別途）とする。 電気二次側の機器及び特記のある機器の接地は（・本工事　※別途）とする。 鉄筋コンクリートの躯体（はり、壁、床）の貫通スリーブは（※本工事　・別途）とする。 壁、床を貫通する仮わく（分電盤、端子盤、プルボックス等）入れは（⊙本工事　※別途）とする。 貫通スリーブ及び仮わくの補強鉄筋は（・本工事　※別途）とする。 埋込型器具の取付場所の下地の切込み、下地の補強は（・本工事　※別途）とし、天井ボード類の切込は（※本工事　・別途）とする。 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の補強及びアーナエック、フロアーヒンジは（・本工事　※別途）とする。
② 電灯設備	① 電気方式	幹線　⊙単相3線式　200/100V　・直流2線式　100V 分岐　⊙単相2線式　⊙200V　⊙100V　・直流2線式　100V
	② 配線用しゃ断器	定格しゃ断電流は、最小のもので⊙2500A（対称値）以上とする。
	③ 蛍光灯安定器	⊙省電力形40W　⊙一般形
	④ 屋外照明器具	・ステンレス防水形　⊙防水形
	⑤ 非常用照明電源	⊙電池内蔵形　・電源別置形
	⑥ フロアボックス	⊙アウトレットボックスとする。
	⑦ フロアプレート	※水平高低調整式　・水平調整式 （いずれの場合も工具締め形又は空転防止形とする）
3 動力設備	1. 電気方式	・3相3線式　・200V　・400V
	2. 電動機の接地	・単独接地　・共通接線式 ・金属管接地（11kw以上の電動機は単独接地又は共通接線式とする。）
	3. 電極棒	本工事に　※含む。　・含まない。
	4. フロートスイッチ	本工事に　・含む。　※含まない。
	5. 進相用コンデンサー	本工事に　・含む。　※含まない。
	6. 制御盤のドア	・両開き　・片開き（・左　・右）
4 受変電設備	1. 電気方式	・三相3線式＿KV
	2. 盤形式	・キュービクル形　・高圧閉鎖形　・開放形
	3. 高圧しゃ断器種類	・CB形（・油　・磁気　・真空　・ガス） ※保護継電器は、抽出形とする。
	4. 低圧主回路配線	※銅帯　・電線（・IV　・KIV　・HIV）
	5. 接地	※第1種　第3種共用　第2種単独　・単独　・共同（3Ω以下） ただし、避雷器接地は単独とする。
	6. 屋外キュービクル基礎	本工事に　・含む。　・含まない。
	7. 配線ピット及びふた	本工事に　・含む。　※含まない。
5 自家発電設備	1. 発電機	・三相3線式　・6KV　・200V　・単相100V
	2. 電動機	・電気始動式　・空気始動式 ・水冷循環式　・ラジエーター式　・空冷式
	3. 燃料	・軽油　・灯油　・A重油
	4. 制御方式	※自動式　・手動式
	5. 主燃料槽	本工事に　・含む。　・含まない。
	6. チェンブロック・走行装置	本工事に　・含む。　・含まない。
	7. 給排水	本工事に　・含む。　※含まない。
	8. 基礎	本工事に　・含む。　※含まない。
	9. 配線ピット及びふた	本工事に　・含む。　※含まない。
6 避雷針設備	1. 突針部	・突針　・むね上導体
	2. 引下げ導線	鉄骨又は鉄筋を　・利用する。　・利用しない。
	3. 基礎	本工事に　・含む。　・含まない。
⑦ 電話配線設備	① フロアプレート	※水平高低調整式　・水平調整式 （いずれの場合も工具締め形、又は空転防止形とする。）
	② ~~中継~~電話用位置ボックス	⊙~~大形~~中形四角アウトレットボックス深形とする。
	③ ローテーションアウトレット	⊙一般用1個　・ボタン電話用＿個
	④ 保安器用接地	本工事に　⊙含む。　・含まない。
	5. 電話機取付台数	・内線電話機＿台　・局線受付電話機＿台
8 構内交換設備	1. 交換機形式	・ボタン電話装置　・電子式
	2. 電話機の色別	・黒電話　・色電話
	3. 蓄電池	※鉛　・　・＿V　・＿AH　色電話
	4. 局線表示盤	・　回線
	5. 夜間転換器	・　回線
9 電気時計設備	1. 親時計	・自立形　・壁掛形
	2. 時報子時計	親時計に　※内蔵　・別置壁掛形
	3. チャイム	親時計に　※内蔵　・別置壁掛形　・時報子時計に組込
⑩ 拡声設備	① 増幅器	⊙卓上形　・キャビネットラック形　・デスク形 出力60W
	② マイクロホン	※単一指向性ダイナミック形
	3. マイクスタンド	・床上形　・卓上形（・高さ調整式　・固定式）
	④ テープレコーダー	⊙カセット式（増巾器に内蔵）
	5. アンテナ	本工事に　・含む。（・ホイップ　・FM＿素子）　※含まない
	6. 接地	本工事に　※含む。　・含まない。
11 表示装置	1. 表示盤	・壁掛形　・卓上形
	2. 発信器	・埋込形　・卓上形
	3. 電源装置	・壁掛形　・自立形
	4. ベル	・露出取付　・埋込箱組形
	5. ブザー	・露出形　・埋込形　・音量調整形
	6. チャイム	・露出形＿点打式　・電子式
⑫ インターホン設備	① 電源	⊙AC100V　・
	② 通話方式	⊙電話同時通話式　⊙親子式　・相互式）　・スピーカー形交互通話式（親子式） ・電話スピーカー形同時通話式（親子式）
	③ 形式	親機　⊙卓上形　・壁掛形 子機　⊙卓上形　・壁掛形　・埋込形　・夜間受付形
⑬ テレビ共同受信設備	① 配線方式	※直列ユニット　・幹線分岐式
	② アンテナ	⊙VHF（⊙BL 2 型　・　）　⊙UHF（⊙BL 2 型　・　）
	③ 増幅器	⊙UV共用形　・U専用形　・V専用形
	④ アンテナ支持ポール	⊙壁面支持形（3点支持　A=2.5m以上　・自立形（A=＿m以上） ・アンカーボルトのみ
	5. 混合器	※設置する。　・設置しない。
	6. 基礎	本工事に　・含む。　・含まない。
⑭ 火災報知設備	① 受信機	⊙P形2級5回線（⊙単独　・連動制御器と一体）
	2. 副受信機	・　＿回線　・複合形（表示器）
	③ 発信機	⊙P形2級
	③ 表示灯	※AC24V　・DC24V　・AC100V
	⑤ 機器配置	⊙専用総合盤（※埋込形　・露出形）に組込 ・消火栓箱総合盤（別途）に組込　・各機器単独に設置
	6. 消火栓ポンプ始動	・発信機と連動　・単独押ボタン（消火栓箱内）を設置
	⑦ 感知器	※作動確認灯付とする。
	8. 連動制御器	・＿回線（・単独　・受信機と一体）　自動復帰機構＿回線付
	9. 自動閉鎖装置	・防火戸用［・本工事　・別途　DC24V0.6A以下（※粘着式　・レリーズ式）］ ・防火シャッター用［・本工事　・別途　DC24V0.6A以下］ ・防火ダンパー用［別途、ソレノイド　DC24V0.6A以下、 自動復帰機構　DC24V2.5A以下］
	10. 非常警報	・機器一体形　・各機器単独設置
15 防犯設備	1. 受信機	・＿回数（予備電源付）
	2. 警報方式	・無線式　・赤外線式　・有線式
⑯ 構内配電線路	① 電気方式	・高圧　三相3線式＿KV　・低圧　三相3線式＿V ⊙低圧　単相3線式200/100V　・低圧　単相＿線式＿V
	② 配線方式	⊙地中線式（・直埋式　⊙管路式）　・架空線式
	3. 道路横断箇所	※直埋式の場合、道路横断箇所は管路とする。
	4. 管路の防食	・防食テープ巻　・コールタール2回塗
	5. 高圧ケーブルの標識シート	※設ける。
	6. メッセンジャー線	※第2種亜鉛メッキ鋼撚線＿㎟
	7. 耐塩機材	・使用する。　・使用しない。
	8. 外灯接地	・1基毎単独　・共用（ケーブル1芯線使用）
	9. 外灯基礎	本工事に　※含む。　・含まない。
⑰ 構内弱電線路	① 配線方式	⊙地中線式（・直埋式　⊙管路式）　・架空線式
	2. 道路横断箇所	※直埋式の場合、道路横断箇所は管路とする。
	3. 管路の防食	・防食テープ巻　・コールタール2回塗
	4. メッセンジャー線	※第2種亜鉛メッキ鋼撚線＿㎟
18 ガス漏れ警報設備	1. 受信機	本工事に　・含む。　・含まない。
	2. 検知器	・都市ガス用　・液化石油ガス用
19 中央監視制御設備		追加特記事項記載及び図示

II　機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

	名称	測点	取付高㎜
電力共通	取引用計器	地上・上端	※2,000　・
	引込開閉器	〃	※1,800　・
電灯	分電盤	床上・中心	※1,500（上端1,900以下）・
	タンブラスイッチ	〃	※1,300　・
	コンセント（一般）	〃	※　300　・
	〃（和室）	〃	※　200　・
	〃（台上）	台上・中心	※　150　・
	ブラケット（一般）	床上・中心	※2,100　・
	〃（舗場）	〃	※2,500　・
	〃（棟上）	棟端・中心	※　150　・
	〃（浴室）	床上・中心	※天井高×0.9
	非常照明器具用しゃ断器	〃	※1,200
	避難口誘導灯	〃	※1,500　・
	通路誘導灯	〃	※1,000以下
動力	壁掛形制御盤	床上・中心	※1,500　・
	手元開閉器	〃	※1,500（上端1,900以下）・
	操作スイッチ押ボタン	〃	※1,300　・
電話	室内端子盤	床上・下端	※　300　・
	中間端子盤	床上・中心	※1,500　・
	保安器箱	〃	※天井高×0.9　・
	壁付位置ボックス		
	〃（一般）	床上・中心	※　300　・
	〃（和室）	〃	※　200　・

	名称	測点	取付高㎜
時計・拡声	壁掛形親時計	床上・中心	※1,500（上端1,900以下）・
	子時計	〃	※天井高×0.9　・
	壁掛形スピーカ	〃	※天井高×0.9　・
	壁付音量調整器	〃	※1,300　・
表示・電話	表示器	床上・中心	※天井高×0.9　・
	壁付発信器	〃	・1,300　・
	ブザー・ベル	〃	※天井高×0.9　・
	押ボタン	〃	※1,300　・
インターホン	壁付インターホン	床上・中心	※1,300　・
	身体障害者用	〃	※1,000　・
	壁付位置ボックス	〃	
	〃（一般）	〃	※　300　・
	〃（和室）	〃	※　200　・
テレビ	機器収容箱	床上・中心	※1,500　・
	テレビアウトレット		
	〃（一般）	〃	※　300　・
	〃（和室）	〃	※　200　・
火災報知	受信機・副受信機	床上・操作部	※　800〜1,500　・
	専用総合盤	床上・中心	・
	発信器	〃	・
	ベル	〃	・2,300　・
	消火栓・表示灯	〃	※2,100
	試験器	〃	※1,500

III　試験

1. 機材及び施工の試験は下表により行い、監督員に試験成績書を提出する。

	名称・項目	機材	施工	適用	備考
照明器具	構造試験 絶縁抵抗試験 耐電圧試験 防水試験 点灯試験 切替試験 照度測定	省 略	※ ※	（防雨形） （けい光灯） （非常灯） （非常灯）	共仕2 1.12.1(a) 及び 2.18.2
コンセント	~~照度~~ 測定		※		
分電盤・開閉器箱・制御盤	構造試験 耐電圧試験 絶縁抵抗試験 シーケンス試験 動作特性試験 外観試験 散水試験 形式試験	省 略	※ ※ ※ ※	（分電盤） （制御盤） （制御盤） （制御盤） （防雨形） （耐熱形）	共仕2 1.12.1(b) (c)及び 2.18.2
バスダクト	構造試験 絶縁抵抗試験 耐電圧試験	※ ※ ※	※		共仕2 1.12.1(d)
ケーブルラック	社内規格試験	※			共仕2 1.12.1(e)
M(H)・H鉄蓋	形式試験	※			共仕2 1.12.1(f)
配電盤	構造試験 絶縁抵抗試験 耐電圧試験 継電器特性試験 総合動作試験 温度上昇試験 散水試験 Tr.二次電流 接地抵抗試験	 ※ ※ ※ ※ ・ ・	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	（防雨形）	共仕3 1.8.1(b) 及び 2.3.2
中央監視制御装置	構造試験 計器試験 動作試験 絶縁抵抗試験 耐電圧試験 総合動作試験	※ ※ ※ ※ ※ ※	※ ※ ※		共仕3 1.9.1(c) 及び 2.3.2
直流電源装置	構造試験 容量試験 安全弁動作試験 効率試験 耐電圧試験 動作試験 絶縁抵抗試験 電圧電流特性試験	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	※ ※	蓄電池 整流器	共仕3 1.9.3(d)
自家発電設備	絶縁抵抗試験 耐電圧試験 整定電圧変動特性試験 最大電圧降下特性試験 過電流耐力 過速度耐力 波形くるい率 効率算定 温度試験 継電器試験 過速度試験 調速機試験 保安装置試験 始動停止試験 速度特性試験 負荷試験 燃料消費率試験 振動試験	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	（発電機） 原動機	共仕4 1.8.1 1.8.2 1.8.3 1.8.4 及び 2.4.2

	名称・項目	機材	施工	適用	備考
自家発電設備	排気背圧測定 充気又は充電試験 直流電源 主燃料槽 燃料ポンプ 冷却水ポンプ 冷却塔 圧力試験	 ※ ※ ※ ※ ※ ※	※ ※ ※ ※	補機	(1.8.4a) (1.8.4b) (1.8.4c) (1.8.4d) (1.8.4e) (1.8.4f)
電気時計装置	構造試験 絶縁抵抗試験 耐電圧試験 出力信号試験 調針試験 消費電流試験 精度試験 コイル直流抵抗 電圧変動 防水試験 極性試験 子時計の動作 時刻修正機構 警報機構	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	 ※ ※ ※ ※	親時計 子時計 親時計	共仕5 1.15.1(a) 及び 2.25.2
拡声・インターホン・テレビ共同受信設備	標準試験 動作試験 インピーダンス 残響時間 伝送周波数特性 音圧分布試験 雑音強度試験 出力レベル試験	※	 ※ ・ ・ ・ ・ ※ ※	拡声装置 TV共聴	共仕5 1.15.1(b) (d)(e) 及び 2.25.2
表示装置	構造試験 電圧変動試験 温度上昇試験 絶縁抵抗試験 耐電圧試験 動作試験	※ ※ ※ ※ ※ ※	 ※		共仕5 1.15.1(c) 及び 2.25.2
自動閉鎖設備	煙感知器動作 自動閉鎖装置 連動制御器		※ ※ ※		共仕5 2.25.2
構内交換設備	社内規格試験 構造試験 機能試験	※	 ※ ※		共仕6 1.8.1(a) (b)及び 2.3.2
施工共通	導通試験 絶縁抵抗試験 接地抵抗試験 絶縁耐力試験		※ ※ ※ ※	高圧ケーブル	
非常放送・火報設備			※		共仕5 2.25.2

2. 単体の試験は、下表の器具について行い、監督員に試験成績書を提出する。

・配線用しゃ断器　・漏電しゃ断器　・交流電磁開閉器　・交流電磁接触器　・保護継電器
・制御継電器　・計器用変成器　・指示計器　・積算計器　・記録電気計器
・交流しゃ断器　・変圧器　・高圧進相用コンデンサ　・直列リアクトル　・断路器
・限流ヒューズ　・高圧負荷開閉器　・高圧電磁接触器　・避雷器　・高圧カットアウト
・最大需要電流計　・デマンド監視装置　・自動力率調整装置

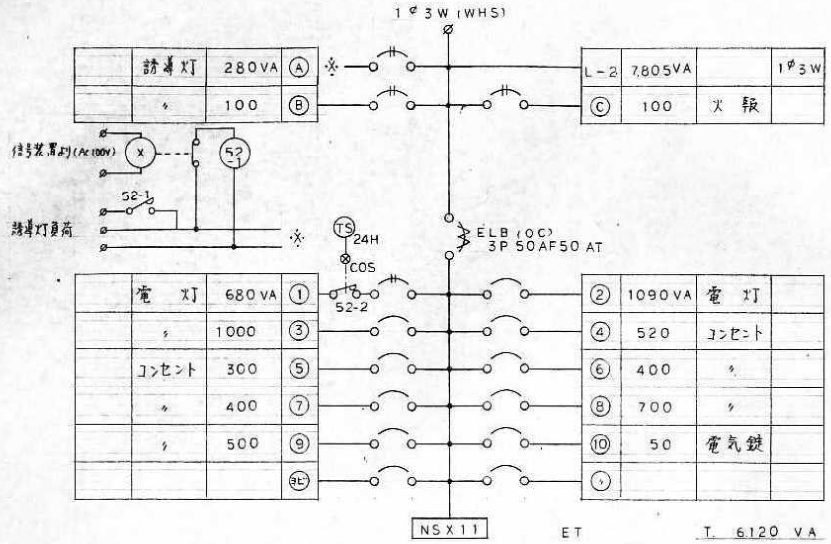
追加特記事項

1. 電力会社及び関係諸官庁への申請手続、届出等は遅滞なく行ない、それに要する費用は一切請負者の負担とする。
2. 諸機器の取付位置はその大略にして施工に際しては建築及び他の請負者と充分打合せの上決定の事。尚着手前に各機器類の承諾図及び現場施工図を提出し監理者の承諾後着手の事。
3. 本仕様及び設計図面により施工するものの多少の位置変更や疑義等の生じた場合は速やかに監理者に連絡し、その指示により施工する。尚軽微なる変更に対しては請負金額の変更はしない。

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島1209番地16　（小出東町）
一級建築士事務所登録 (9)第1926号　TEL 025-792-3586・FAX 792-6990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

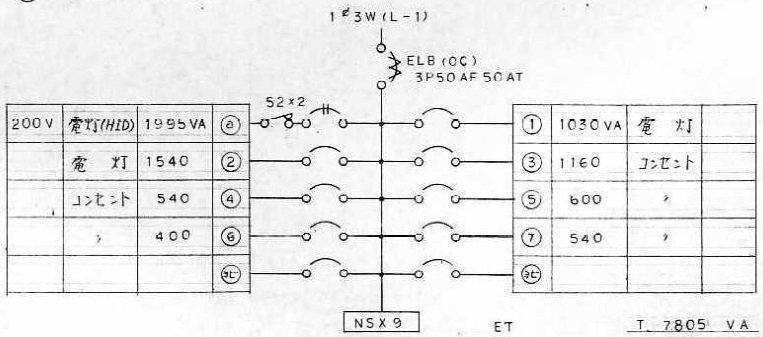
工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026．01	図面番号	E-01
図面名称	（建設時）電気設備工事特記仕様書	縮尺		意	電
				構	機

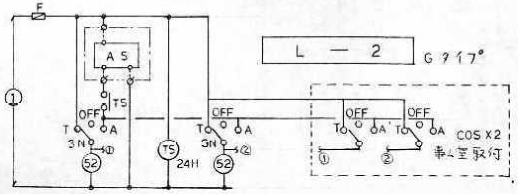


MCB 1P50AF20AT
〃 2P50AF20AT

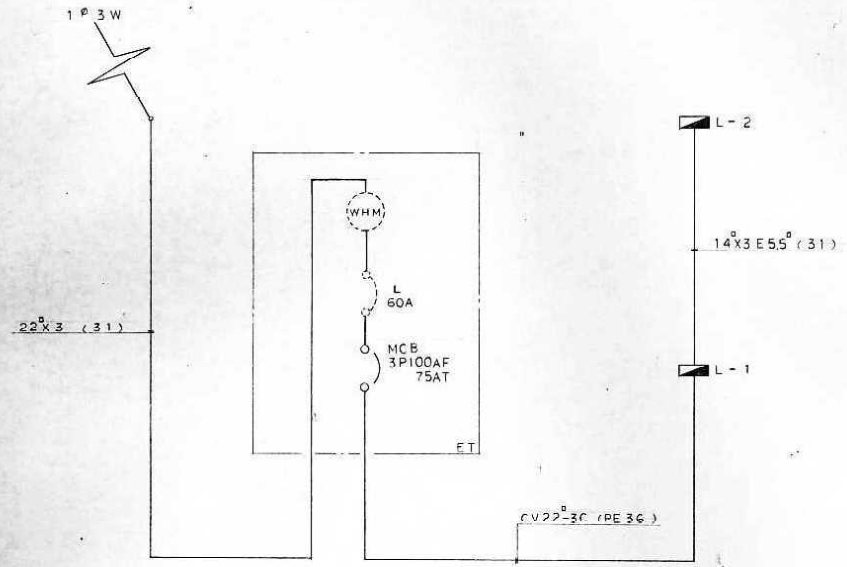
L — 1 Gタイプ

TS 24H (停電補償 200H以上)



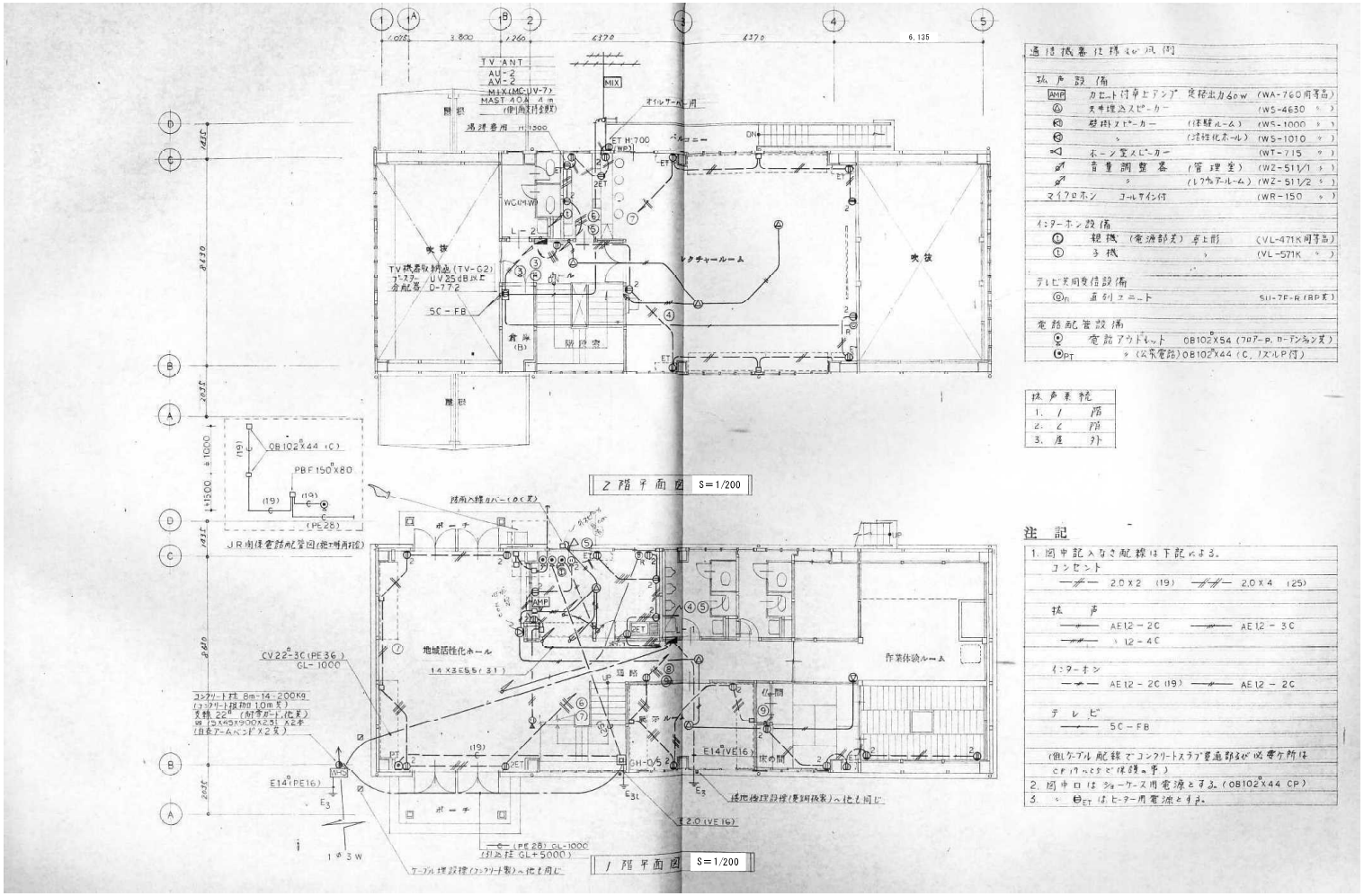


L — 2 Gタイプ



WHB SUS.WP

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(1)第1925号 TEL 025-780-3580・FAX 780-0990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 E-02
			浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	分電盤結線図・幹線系統図	尺		原 ⑤ 模



通信機器位置および仕様

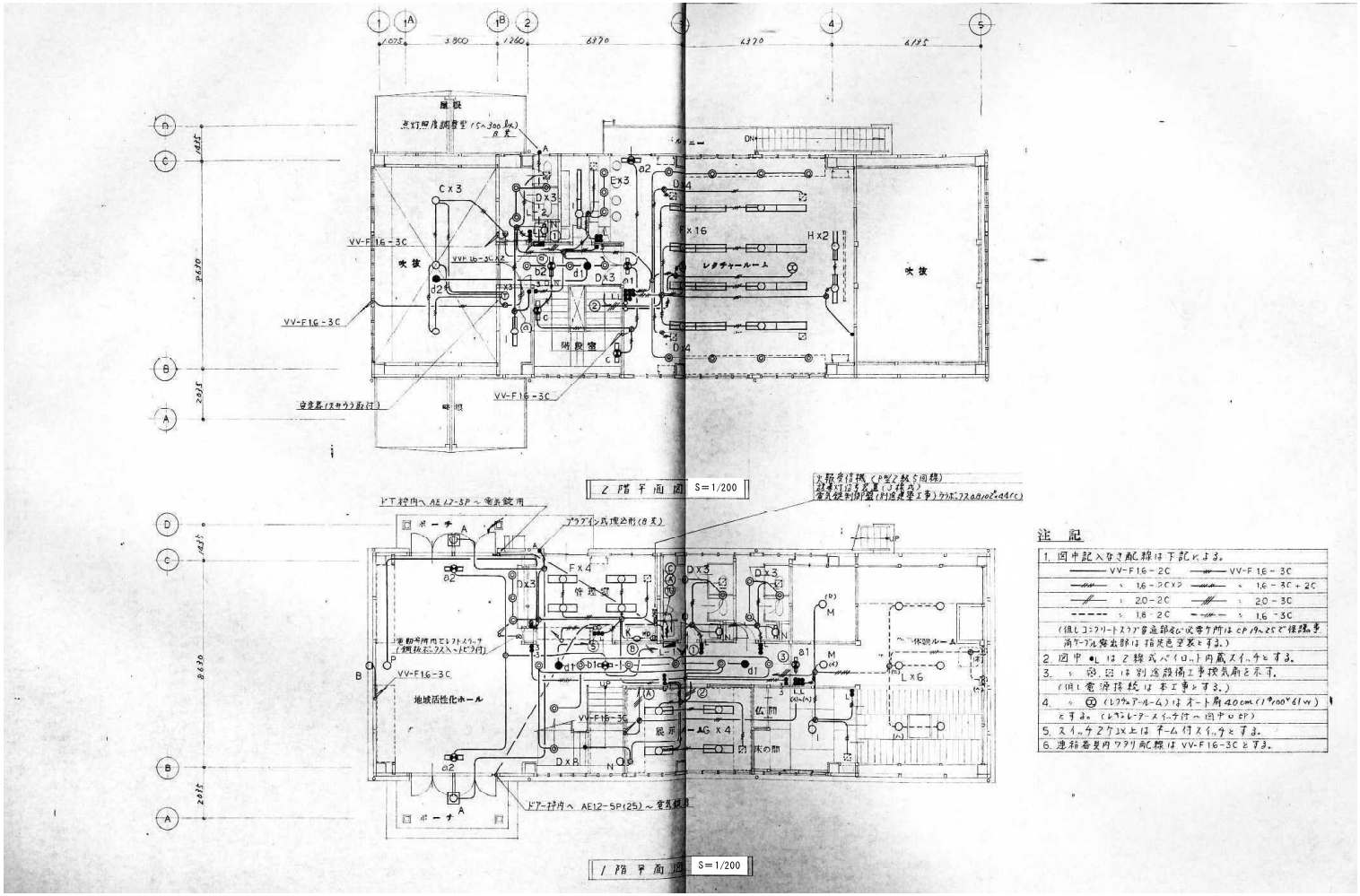
拡声設備			
AMP	カセット付卓上アンプ	定格出力60W	(WA-760同等品)
ⓐ	天井埋込スピーカー		(WS-4630 〃)
ⓑ	壁掛スピーカー	(研修ルーム)	(WS-1000 〃)
ⓒ	〃	(活性化ホール)	(WS-1010 〃)
ⓓ	ホーン型スピーカー		(WT-715 〃)
ⓔ	音量調整器	(管理室)	(WZ-511/1 〃)
ⓔ	〃	(レクチャールーム)	(WZ-511/2 〃)
マイクロホン	ゴールデイン付		(WR-150 〃)
インターホン設備			
①	親機 (電源部兼)	卓上形	(VL-471K同等品)
①	子機	〃	(VL-571K 〃)
テレビ共同受信設備			
ⓣn	直列ユニット		SU-7F-R(BP兼)
電話配管設備			
ⓣ	電話アウトレット	OB102°X54 (7分アーマ,ローゼット兼)	
ⓣPT	〃 (公衆電話)	OB102°X44 (C,プルP付)	

拡声系統
1. 1階
2. 2階
3. 屋外

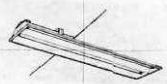
注記

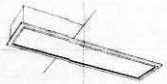
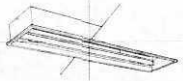
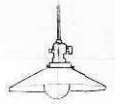
1. 図中記入なき配線は下記による。
   - コンセント: 2.0×2 (19) / 2.0×4 (25)
   - 拡声: AE12-2C / AE12-3C / 〃 12-4C
   - インターホン: AE12-2C (19) / AE12-2C
   - テレビ: 5C-FB
   - (他ケーブル配線でコンクリートスラブ貫通部および必要な所はCPパイプなど保護の事)
2. 図中ⓣは シーケース用電源とする。(OB102°X44 CP)
3. 〃 ⓣET はヒーター用電源とする。

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 E-03
					図面名称	1階・2階コンセント・通信設備図	縮尺	1/200	意匠 ◎ 構造

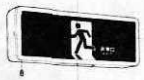
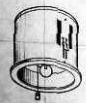


備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(ﾘ)第１９２５号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 E-04
					図面名称	1階・2階電灯設備図	縮尺	1/200	意匠 ㊙ 構造

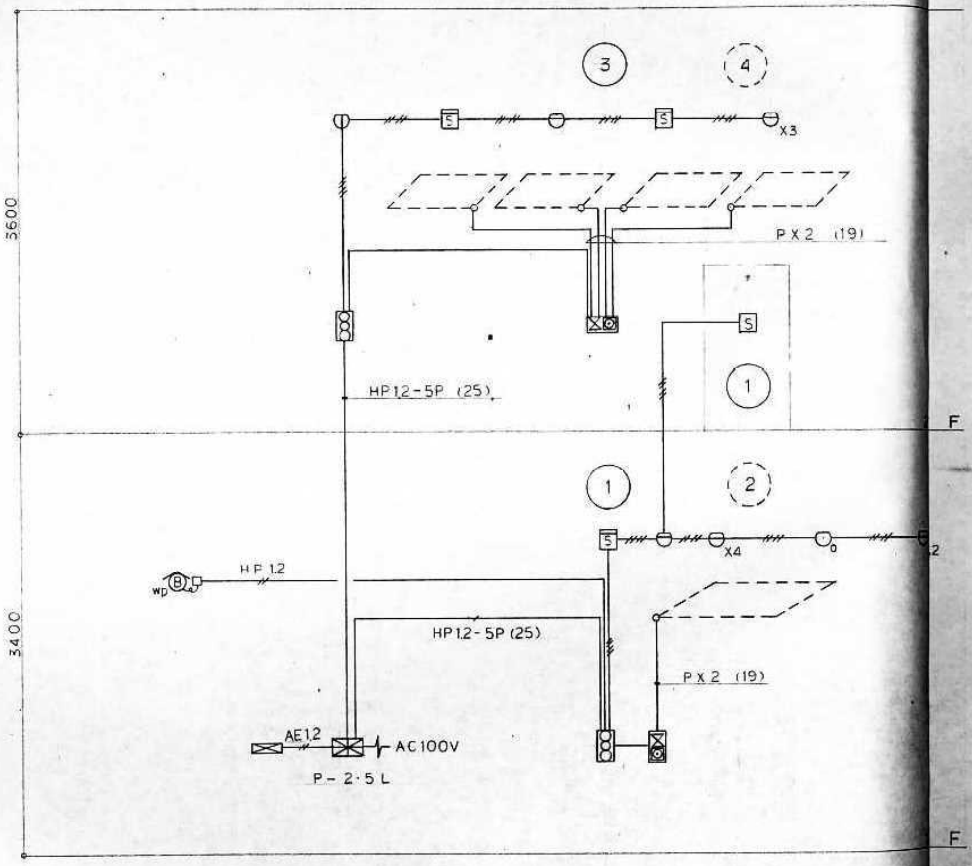
A. FCL30WGL WP	B. BHGF100W 200V	C. MF400W (電動昇降装置付)	D. FL13W(ツイン2相当)	E. FL17W	F. FL40Wx2 RH
					
本体：鋼板(ブラウン)，セード：アクリル(乳白)	透明強化ガラス（1/2ハーフミラー）	安定器（200V高力率）別置（倉庫天井内）	アルミ反射板，バッフル(ホワイトつや消し)，断熱施工用	反射板（アルミホワイト）	

G. FL40Wx2 RH	H. FL40WRH	I. FL40W RH	J. FL20W GL	K. FL20WGL	L. IL100W
					
枠：白木(OS仕上げ)，カバー（乳白）	照射角度自在形		建築化ルーバー内取付		ガラスセード（乳白）

M. IL100W	N. FL10WGL	O. FL18W RH	P IL85W		
					
		ショーケース用，遮光板付			

a1. FL10W GL(小)	b1. FL10WGL(小)(両面型)	C. FL20Wx2 GL	d1. IL20W		
a2. FL20W GL(中)	b2. FL20WGL(中)(〃)		d2. IL40W		
					
誘導灯（蓄池内蔵型）	〃	〃	広照型(アルミ反射板)，非常照明（蓄池内蔵型）		

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(1)第1925号 TEL 025-780-3580・FAX 780-0980 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名：浅井 守人	建築士登録番号等：一級建築士登録 第242222号	工事名称：魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日：2026.01	図面番号：E-05
					図面名称：照明器具姿図	縮尺：	原図 ○ / 複製



火災報知設備系統図

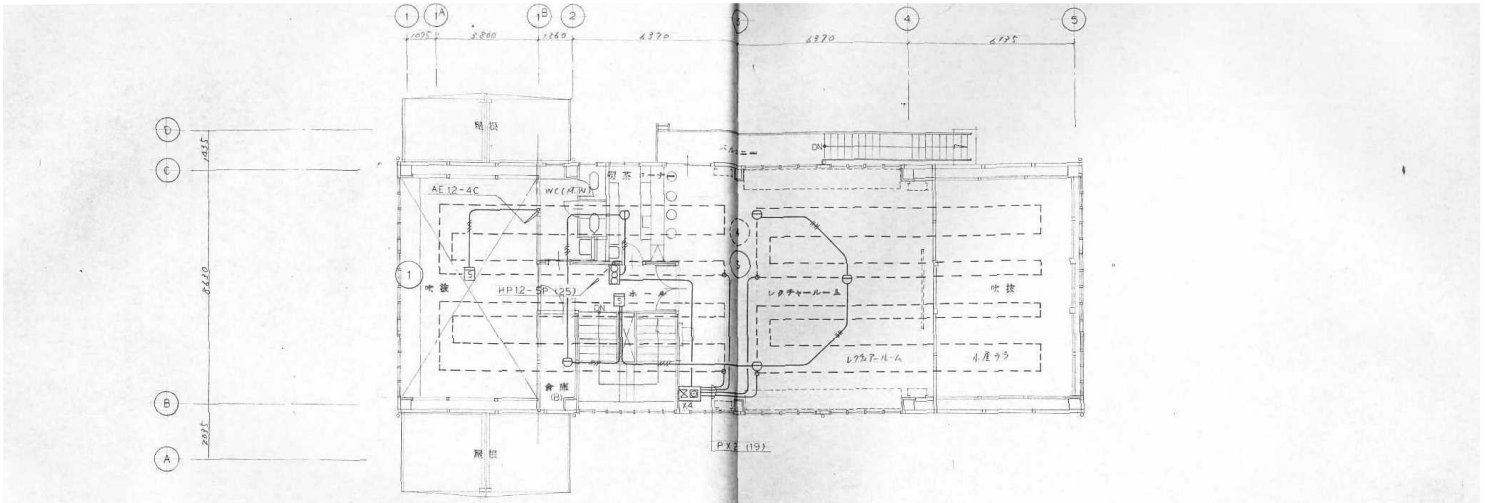
凡　例

記号	名称	備考
	受信機	P型2級5回線（バッテリー内蔵）
	総合盤	P型2級（ワテ型へ埋込）
Ⓑ	会上電鈴	DC24V 150φ
○	〃 表示灯	DC30V 2W
Ⓟ	〃 発信機	P型2級
Ⓑwp	電鈴	DC24V 150φ（屋外型）
⊖	スポット型感知器	差動式2種（確認灯付）
⊖	〃	定温式1種(防水)（　〃　）
$\bigcirc_0$	〃	〃 特種（　〃　）
S	煙感知器	光電式2種(非蓄積)（　〃　）
区	差動式分布型感知器	2種ボックス共（埋込）
◘	回路試験器	会上ボックス内取付
---+---	空気管	20φ塗装品（メッセンジャー付）
—·—	警戒区域境界線	
NO	警戒区域番号	NOは小屋ウラ
⊠	誘導灯信号装置	3線式

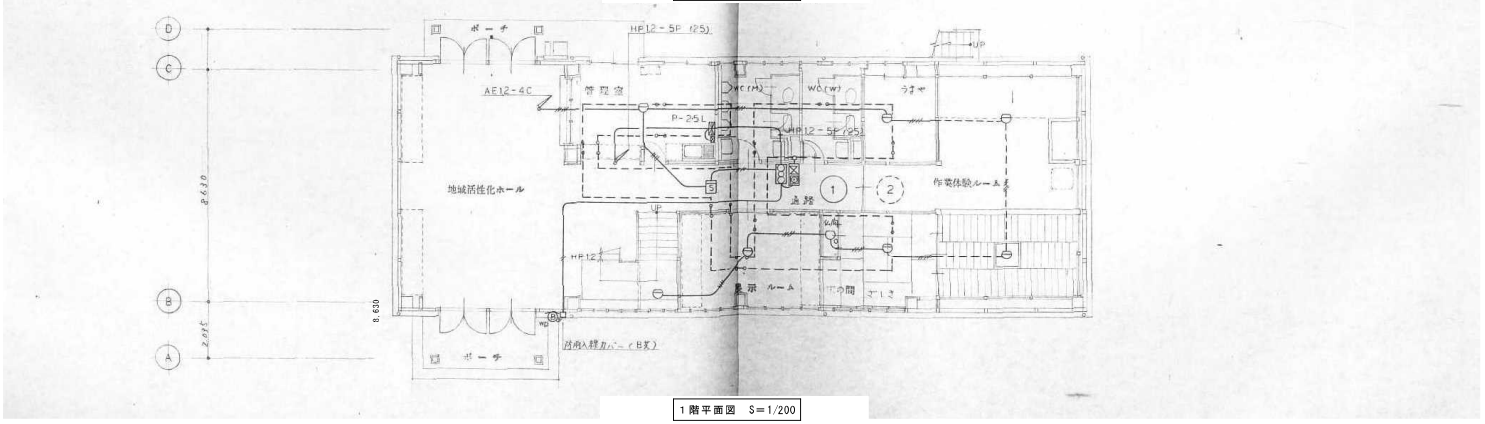
注記

1. 図中記入なき配線は下記による。
   ——— AE1.2－2C　　———— AE1.2－4C
   （但しコンクリートスラブ貫通部及び必要ケ所はCP19～25で保護の事）
2. 図中 --o-o-- は空気管の梁間横断配管（CP19）とする。

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(1)第1925号 TEL025-780-3580・FAX780-0910 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名：浅井 守人	建築士登録番号等：一級建築士登録 第242222号	工事名称：魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日：2026.01	図面番号：E-06
					図面名称：火災報知機系統図	尺：	意匠 ◎ 構造



2階平面図　S＝1/200



1階平面図　S＝1/200

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(ﾘ)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0910 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名 浅 井 守 人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 E－０７
					図面名称	１階・２階火災報知設備図	縮尺	1/200	意匠 ◎ 構造

雪国観光会館建設　工事特記仕様書

工事場所　魚沼市大栃山136番地6

衛生設備工事特記仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されない事項は、すべて新潟県建築設備工事共通仕様書（昭和60年版）による。
2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
特記事項は◎印のついたものを適用する。
(2) ◎印のない場合は単印のついたものを適用する。
◎印と◉印のある場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（　）内表示番号は、共通仕様書の当該項目又は当該条を示す。ただし、建築工事の当該項目又は条は（建）で示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	設計書の優先順序は次の通りとする。 1. 現場説明書　2. 特記仕様書　3. 図面　4. 符合表　5. 共通仕様書 工事写真の撮り方　建築編（社団法人 営繕協会） 機材の製造所及び製品などは、建築資材製造者等指定名簿（新潟県土木部制定　SG3）及び監督員の承諾を得たものとする。
	② 機材の選定	
	③ 発生材の処理	◎構外搬出運切処理　・発生材置場と共に監督員に引渡す　(1.1.9) ・構内に処理　・監督員の指示により処理
	④ 技術者	技能士を工事現場に（・おく（・a・b）　・おかない）　(1.5.2)

機種の区分は、下表による。

区分	技能士の種別	作業内容	作業範囲
a	1 建築配管技能士	配管工事の施工	機械設備工事の配管
b	1 給排水衛生施工技能士	給排水工事の施工	機械設備工事の保温・保冷・防露

⑤ 工事写真等	建築工事写真撮影要領により撮影し、工事完了検査時のうえ、監督員に提出する。(1.6.1) 工事施工状況写真　◎1部　・部提出する。 完成写真　◎1部　◎2部提出する。 完成写真は　◎カラー写真とする　・カラー写真は監督員の指示による。	
⑥ 完成図等	◎提出する（◎完成図　◎保守指導要領書　◎機器性能試験成績書）	
⑦ 足場・さん橋等	◎別契約の関係調負者が定義したものは、無償で使用できる。　(2.1.1) ・本工事で定義する。	
⑧ 監督員事務所等	◎設けない　・設ける（・1時・2号・3号・4号・5号・　㎡）　(建2.3.1表) ・仮設事務所の中に監督員用空間を　㎡程度確保する。	
⑨ 工事用電力・用水等	工事用電力　構内既存の施設　◎利用できる（◎有償　・無償）・利用できない 工事用水　構内既存の施設　◎利用できる（◎有償　・無償）・利用できない	
⑩ 残土処分	◎構内指示の場所に作りならし　・構内指示の場所にたい積　(2.2.1) ・構外細出運切処理	
⑪ 地業工事	割り石及び栗石地業　種別（◎栗石地業　・割り石地業）　(2.3.1) 砂利地業　種別（・砂利敷均し　・砂利敷き）、転圧種別（◎砂利　・砂石）	
⑫ 鉄筋工事	◎異形鉄筋（◎A級　・B級）、（◎SD30　・SD35）　(2.4.1)（建5.1.1表） ・丸　鋼（◎A級　・B級）　(建5.1.2表)	
⑬ コンクリート工事	組骨材 ◎砂利　・砕石　・砂利と砕石の混合（　　㎥/wt以下）　(建6.2.2) 細骨材 ◎洗砂　・　(2.4.1) 普通コンクリート ◎レディーミクストコンクリート（◎工場　・自練）　(建6.4.1表) ・現場練りコンクリート（・機械練り　・手練り）　(建6.10.1～4) 設計基準強度（kg/㎠）　(建6.9.1表) 210 施工箇所（　　） 180 施工箇所（研ベース種） 150 施工箇所（　　） 135 施工箇所（　　） 現場練りコンクリート施工箇所（　　） 強度試験　◎有明る。　(建6.11.4) ・下記のコンクリートは、強度試験を実施する。 （　　）	
⑭ 塗装工事	塗料の品質　◎JIS規格品　・規格外品　(2.7.1) 塗料の規格種別 さび止めペイント 鉄面 ◎（JIS K 5622～5625）・（JIS K 5621） 亜鉛めっき面 ◎（JIS K 5627）・（JIS K 5629） アルミニウムペイント 鉄面 ◎（JIS K 5492）	
⑮ 他工事との取合い	電気一次側電源盤の機器の接地は（・本工事　◎別途）とする。 電気二次側の機器及び特記のある機器の接地は（◎本工事　・別途）とする。 鉄筋コンクリートの躯体（はり、壁、床）の貫通スリーブは（◎本工事　・別途）とする。 鉄筋コンクリート部の壁、床に埋込みスは貫通する型おく（型枠、消火栓、大便器等）人れは（・本工事　◎別途）とする。 設備用スリーブ及び型わくの関口部の開強鉄筋は（・本工事　◎別途）とする。 埋込形器具類の壁及び天井の下地の切込み、及び補強は（・本工事　◎別途）とし、壁及び天井のボード類の切り込みは（◎本工事　・別途）とする。	
⑯ 防災対策	耐震性能を確保するため設備機器及び配管の耐震施工水平震度は次とする。 ・最上階、屋上及び塔屋　◎1.0　・1.5 (2.0) ・2階便以上　◎0.6　・1.0 (1.3) ・地階及び1階　◎0.4　・0.6 （　）内の数値は防振機器の場合を示す。	

⑰ 保温工事	共通仕様書第1編1.2.7～1.2.9及による保温の施工種別は、下表により適用する。	

屋内配管の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序	使用区分	管種及び保温の厚さ(mm)	備考
a	1.保温筒 2.鉄線 3.原紙 4.綿布	屋内露出配管	給水・排水・通気・消火・給湯管 15～80A 20 100～150A 25 200 A 40	1.共通仕様書第1編2.7表註(3)項のロックフォーム保温材をグラスウール保温材に読み替える。 2.保育施設の保温材保護層（ステンレス鋼板）の高さは1.75m以上とする。
c	1.保温筒 2.鉄線 3.アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト内及び露出配管		
e	(排水・通気を除く) 1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトプライマ 4.防水紙布 5.アスファルトプライマ	床下、埋設内及びコンクリート内配管		3.屋内露出パルプの保温 ・無しない ・有する（ポリスチレンフォームカバー）
f_1	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.鉄線 5.ステンレス鋼板	屋内露出配管	給水・排水・通気・消火・給湯管 20～ 25 A 50 32～200 A 40	

注　建物躯体下端屋内の給水及び消火管の保温材料のグラスウール保温筒をポリスチレンフォーム保温筒（厚さ50㎜）に、鉄線を粘着テープに読み替える。

屋外配管の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序	使用区分	管種及び保温の厚さ(mm)	備考
f_2	1.保温筒 2.粘着テープ	屋外露出配管	給水・排水・通気・消火・給湯管 20～ 25 A 50 32～200 A 40	
防凍	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.鉄線 5.ステンレス鋼板			

機器の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序	機種及び保温の厚さ(mm)	備考
K_a	1.ロックウール 2.保温板（1号） 3.鉄線 4.アルミニウム板	50	
P	1.保温筒 2.鉄線 3.アルミガラスクロス 4.きっ甲金網	給水槽 膨張水槽 貯湯槽 50 給水加熱器 膨張水槽 50	隠ぺい箇所

施工種別	材料及び施工順序	機種及び保温の厚さ(mm)	備考
h_a	ポリスチレンフォーム 1.保温板 2.アスファルトルーフィング 3.鉄線 4.アルミニウム板	調圧給水槽 調圧給水槽 圧力水槽 減圧水槽 25	調圧給水槽保温（・要・不要） 圧力水槽保温（・要・不要） 減圧水槽保温（・要・不要）

⑱ 地中配管のつり金物	地中埋設の鋼管類（保温されるもの及び排水管を除く）は、ペトロタム系防食用テープ厚さ0.1㎜の上、JIS Z 1901(防食用ビニルテープ)による厚さ0.1㎜のものと、テープの幅の1/2重ね1回巻きとする。	
⑲ 地中配管等の防食工事	最下階の床下露出鋼管、鋼管支持部、コンクリート内埋設及び貫通部は防食用ビニルテープ（0.4㎜）厚重ね1回巻きとする。 ただし、各種で特記されたものはこの限りでない。	

① 給水方式	◎直結給水方式　・高置水槽方式　・圧力水槽方式　・ポンプ圧送給水方式	
② 量水器	親メータ（◎貸与　・買取り）　子メータ（・貸与　◎買取り）	
③ 量水器さや	親メータ用　水道事業者指定品（・貸与　◎買取り）　（鋳鉄製さや）	
	子メータ用　水道事業者指定品（・貸与　◎買取り）　（鋳鉄製さや）	
④ 量水器弁	◎単独詳細図による　・水道事業者の仕様による。　(1.9.3)	
⑤ 弁	水道直結部分　JIS（・5kgf/㎠　◎10kgf/㎠）　(1.7.2)	
	その他の部分　JIS（◎5kgf/㎠　・10kgf/㎠）	
	ライニング弁　（・使用する　・使用しない）	
⑥ 定水位調整弁	◎調整弁と電磁弁併用式 ・調整弁単独式	
⑦ 弁さや	◎水道事業者指定品（・貸与　◎買取り）　（鋳鉄製さや）（標準図・BS・BS）	
⑧ 弁	◎単独詳細図による。　・水道事業者の仕様による。　(1.9.2)	
⑨ 管	屋内　◎ライニング鋼管（◎VA　・VB）　(1.7.1)	
	・ポリ粉体ライニング鋼管（・PA）	
	屋外埋設　◎内外面ライニング鋼管（◎SGP-VD）　◎水道用硬質塩化ビニル管	
	・外面1層被覆ポリ粉体ライニング鋼管（PD）	
	・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　・水道用ポリエチレン管	
⑩ ライニング鋼管の接合	管の接合は、下記により、ねじ接合部には管端防食用コアを使用する。　(2.2.2) ◎呼び径80以下はねじ接合、100以上はフランジ接合とする。フランジ接合の場合はフランジ付管（鋳鉄及び鋳鋼）を使用する。 ◎接合は、ねじ接合とする。	
⑪ ポンプ等の防振基礎	防振材を使用する場合の防振材の種類及び振動絶縁効率は下記による。　(2.2.1) ・ゴム　（効率　　%以上） ・スプリング　（効率　　%以上）	

⑫ つり金物	◎機種重内配管等で振動の伝達を防ぐ必要のある場合のつり金物は、下記による。	

機種名			
防振	シングル	◎	◎
つり金物	ダブル	・	・
施工範囲		躯体面、消火管	

③ 給水設備	受水槽　G、高置水槽　C　(1.1.1) 一般地の埋設深さは、原則として鋼管450㎜以上塩ビ管は750㎜以上とする。　(2.2.3) 等の凍結の深度と上は（・山砂　・現場上の良質土）で行う。	
⑭ 管の埋設		
⑮ 水栓柱	・人研ぎ製　・合成樹脂製（・内部保温材入り　・　）　(1.7.12)	
⑯ 地中埋設標	◎設置する　・設置しない、材質（・コンクリート製・鉄製◎水道事業者指定品）	
⑰ 埋設表示テープ	・埋設する　・埋設しない　(2.2.3)	
⑱ 水質検査	・公的機関による試験成績書を提出する　・省略する	

① 排水方式	※建物内汚水と雑排水（※分流　・合流） ◎建物外放流先　汚水（◎直接流下放流　・し尿浄化槽　前処（◎排水管 雑排水（◎直接流下放流　・排水管　・側溝　・　）に接続	
④ 管	◎硬質塩化ビニル管（VP）・配管用炭素鋼鋼管（G）・コーティング鋼管　(1.7.1) ・ラバージョイント形排水鋳鉄管（メカニカル及びスラリー形を含む） ・排水用鋳鉄管（コーキング接合）	
③ 床排水トラップ	・鋼製トラップ形（・T5タイプ）◎PトラップP形（・T3タイプ・T16タイプJIS.B.3）	
④ 洗濯器等の排水管	洗濯器等の排水は、器具トラップより1サイズアップとする。 洗濯機も台などの床上露出部の配管は、硬質塩化ビニル管（VP）とする。 洗濯ユニットのトラップと排水管は、専用アダプタを使用して接合する。	
⑤ 排水桝	◎桝　・桝（共通仕様書標準図による）◎FRP製桝　(1.9.4)	
⑥ 排水試験箇所	※図示箇所に取付ける。　・試験栓が3階以上にある場合は、各階ごとに取付ける。　(2.3.3)	
⑦ ヒューム管及びビニル管の布設	※共通仕様書第2編2.3.3による。（・山砂　・切込み砕石　・切込み砂利） ◎布設箇所の土質が良質の場合は、掘切り底を充分突固めた後、管をなじみ良く布設する。	
⑧ 試験	※通水試験　・満水試験　・煙試験　(2.3.4)	

① 管	※鋼管（※M　・L）　◎鋼製電気ライニング鋼管　・ステンレス管　(1.7.1)	
② 電触防止継手	・取付ける　◎取付けない	
③ 弁	JIS（5kgf/㎠　・10kgf/㎠）　(1.7.2)	
④ ガス湯沸器	使用ガス　・都市ガス（発熱量　kcal/㎥） ◎液化石油ガス（発熱量3000kcal/kg）	
⑤ 煙突排煙筒	バランス形以外のものは（・連動強制排気装置付　・DSスイッチ（A形）付）とする。 湯沸器と給水管及び給湯管の接続は、鋼製又はステンレス製のフレキシブルチューブを使用してもよい。	
	給湯ボイラ　煙突（・本工事　※別途）　(1.3.1)	
	煙道（※本工事　・別途）	
	鋼板の厚さ（※3.2㎜　・　㎜）	
	ガス湯沸器　排気筒（※本工事　・別途）	
	材質　ステンレス鋼板（◎SUS304　・SUS430）	
	厚さ（※0.3㎜　・　㎜）	
⑥ 湯沸器の給湯配管保温工事	※湯沸器からの給湯配管でコンクリートに埋設されるもの(屋内のもの)は、防水紙巻等を（※1回　・2回）巻きとする。	

① 大便器洗浄弁	バキュームブレーカ付（※器具水形　・一般形）　(1.1.4)	
② 小便器洗浄弁	・個別洗浄弁ファンネル　・一括洗浄小ハイタンク　・タイムスイッチハイタンク ・専用スイッチハイタンク　・照明連動小ハイタンク	
③ 小便器洗浄用ハイタンク	※露出　・隠ぺい、壁内埋込	
④ 小便器洗浄弁	・埋込　・露出、埋込洗浄弁（ライニング弁　※VA　・VB）　(1.1.5)	
⑤ 化粧機	・陶製（※露出形　・埋込形）　・ガラス製（※レールなし　・レール付）　(1.1.7)	
⑥ 水石けん入れ	・埋形　◎形　(1.1.8)	
⑦ 水栓	※給水こま　・玉こま　(1.1.3)	
⑧ 流し台等	形式　・B L形　◎台形	
	水槽は流しぼりとし、木切部との接合はシール塗装とする。（トラップ付）	
	材質　◎ステンレス鋼板（◎SUS304　・SUS430）	

① 給水方式	◎直結給水方式　・高置水槽方式　・圧力水槽方式　・ポンプ圧送給水方式	
② 量水器	親メータ（※貸与　・買取り）　子メータ（・貸与　※買取り）	
③ 量水器さや	親メータ用　水道事業者指定品（・貸与　※買取り）　（鋳鉄製さや）	
	子メータ用　水道事業者指定品（・貸与　※買取り）　（鋳鉄製さや）	
④ 量水器弁	※単独詳細図による　・水道事業者の仕様による。　(1.9.3)	
⑤ 弁	水道直結部分　JIS（・5kgf/㎠　◎10kgf/㎠）　(1.7.2)	
	その他の部分　JIS（◎5kgf/㎠　・10kgf/㎠）	
	ライニング弁　（・使用する　・使用しない）	
⑥ 定水位調整弁	※調整弁と電磁弁併用式 ・調整弁単独式	
⑦ 弁さや	◎水道事業者指定品（・貸与　※買取り）　（鋳鉄製さや）（標準図・BS・BS）	
⑧ 弁	※単独詳細図による。　・水道事業者の仕様による。　(1.9.2)	
⑨ 管	屋内　※ライニング鋼管（※VA　・VB）　(1.7.1)	
	・ポリ粉体ライニング鋼管（・PA）	
	屋外埋設　◎内外面ライニング鋼管（※SGP-VD）　◎水道用硬質塩化ビニル管	
	・外面1層被覆ポリ粉体ライニング鋼管（PD）	
	・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　・水道用ポリエチレン管	
⑩ ライニング鋼管の接合	管の接合は、下記により、ねじ接合部には管端防食用コアを使用する。　(2.2.2) ※呼び径80以下はねじ接合、100以上はフランジ接合とする。フランジ接合の場合はフランジ付管（鋳鉄及び鋳鋼）を使用する。 ◎接合は、ねじ接合とする。	
⑪ ポンプ等の防振基礎	防振材を使用する場合の防振材の種類及び振動絶縁効率は下記による。　(2.2.1) ・ゴム　（効率　　%以上） ・スプリング　（効率　　%以上）	

① 種類	・都市ガス（発熱量　kcal/㎥）◎液化石油ガス（発熱量12000 kcal/kg）	
② 管（継手）	◎ガス管用炭素鋼鋼管（※白　・黒）　(2.1.1) ・PLP管（　）　(3.1.1)	
③ ボンベ	別途（・10kg　・20kg　◎50kg）　2 本立 転倒防止用鎖（・本工事　・別途）◎設置する・設置しない）（詳細図参照）	
④ メータ	◎貸与品　・買取り	
⑤ ガスコック	・ねじガス用（通常出荷仕様コック） ◎液化石油ガス用（通常出荷仕様コック）	
⑥ ガスもれ警報器	◎取付ける（※別途　・本工事）　・取付けない　(2.2.1)　(3.1.3)	
⑦ 防食工事	コンクリート内埋設又は直通部及び配管支持部 ◎防食用ビニルテープ厚重ね（※1回巻き　・2回巻き）とする。 ・ガス事業者の仕様による。	
	地中配管埋設部 ・ペトロタム系防食用テープ厚重ね1回巻きの上防食用ビニルテープ（0.4㎜）厚重ね2回巻きとする。 ・ガス事業者の仕様による。	
⑧ 地中埋設標	・設置する　・設置しない、材質（・コンクリート製・鉄製・ガス事業者指定品）　(2.6.3)	
⑨ 絶縁継手	・取付ける　・取付けない	
⑩ 埋設表示テープ	◎埋設する　・埋設しない	
⑪ 試験	※気密試験結果のチャートを提出する。　(3.7.5)（7.2.5）	

① 種類	屋内　※配管用炭素鋼鋼管（・白　◎黒）・　、屋外埋設　※PLP管　・ 下記による。ただし中継タンクに設置する場合は、消火設備の承認するものとする。 ※マレアブル鉄製玉形弁（ダスク・パッキンはテフロン製）LPG用10kg f/㎠ ・JIS B 2073（鋳鋼10kg f/㎠ラジンク形外ねじ仕切弁）	
② 弁		
③ 油配管	管の接合は、原則として溶接接合とする。溶接工は、JIS Z 3801（溶接技術検定における試験方法及び判定基準）による検定に合格した者とし、監督員の承認を受ける。	
④ 緊急遮断装置	防爆形遠隔弁（通電時開）手動リセット形	
⑤ 油槽用付属金物	油槽ふた ※標準図（・WPM－AW　・WPM－DW）による。　・汎用形	
	通気い機装置用ボックス（・取付ける　・取付けない）	
	遠隔油量指示計、指示ユニット（※屋内側取付け　・油槽側取付け）	
	屋外警報ブザー（・取付ける　・取付けない　・ブザーボックス付）	
	エアーバージ式油量計（・900形　・1200形）	
	油面制御装置（・本管安全弁機形SHSラコート　・汎用油入り防爆形機・トエイ）	
	油面計（・フロート式　・ダイヤフラム圧式（・ガラスゲージ）	
	緊急遮断装置には、見易い箇所に幅100㎜以上、長さ250㎜以上の合成樹脂製銘板に、地を赤色、文字を白色とした標識を設ける。また、点検のために設けた開口部にある配管ごとに、地を黒300㎜の黄色とし、黒色の文字で取扱う危険物の種別を表示する。	
	標識板の材質（・塩化ビニル製　・アクリル樹脂製）	
⑥ 標識等	PLP管の吉様接合部は、ペトロタム系防食テープ厚重ね1回巻きの上、防食用ビニルテープ（0.4㎜）厚重ね2回巻きとする。	
⑦ 防食工事	下記の箇所に消火器を設置する。	
⑧ 消火器の設置	・中継タンク室　能力単位　　個　防納箱（・要　・不要）	
	・地下タンク貯蔵所　能力単位　　個（※鋼板製　・ステンレス鋼板製）	
⑨ 試験	試験は雪気圧試験とし、最大常用圧力の1.5倍の圧力とする。なお、試験結果のチャートを提出する。	

① 機器の寸法	機種寸法とする。	
② 燃焼機器	使用ガス　・都市ガス（発熱量　kcal/㎥） ◎液化石油ガス（発熱量12000 kcal/kg）	
③ 制御盤・操作盤	製造者の標準とする。	

① 設置場所等	・屋外設置　・屋内設置　ダンパ（・要　・不要）	
② 燃焼方式	・自然燃焼式　・バーナ燃焼式（・ガス　・油　・　）	
③ 焼却能力	kcal/h	
④ 煙突	・本工事（・製造者標準品　・　）・別途	
⑤ 煙道	・本工事　鋼板の厚さ（・3.2㎜　・　㎜）・別途	
⑥ 保温	煙突の保温（・要　・不要）	

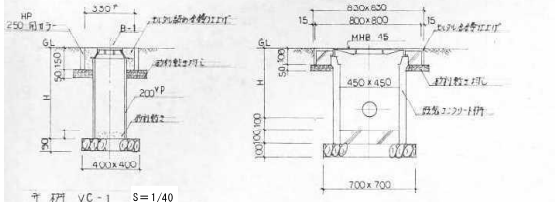
① 処理対象人員	人	
② 放流水水質	生物化学的酸素要求量（BOD）　ppm以下　(1.1.1)	
③ 処理種別	※単独処理　・分離接触ばっき方式	
④ 形式	※ユニット形　・	
⑤ 施工範囲	土工事及びコンクリート躯体工事は（・本工事　・別途）とし、その他は共通仕様書第7編1.1.2 (b) による。	

追加特記事項	1. 本工事に於ける工事着手前に施工図並び代品承認図等を提出し承認後工事に着手する事 2. 官庁公庁への諸申請 届け出事項は建築主に代り、本社に於ける業務内容は全て請負者負担とする 3. 本工事に於いて設計図書に疑義の生じた時は監督員との協議により決定する。尚施工上重要な変更内容は文書の提出の事 4. 工事に際しては官庁検査官と立会打ち合せを行なう事 5. 試運転は特記以外は1ヶ月程度行なう。

備考	有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL 025-780-3580・FAX 780-0910 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号	M-01
				図面名称	（建設時）衛生設備工事特記仕様書	縮尺		意匠	構

雨水桝・汚水桝　一覧表

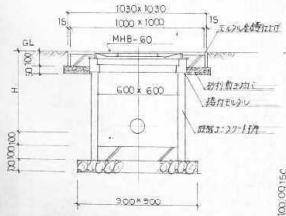
雨水桝				汚水桝			
記号	形式		深さ	記号	形式		深さ
1	AM-1	㊊	H=250	A	FRP既製品 300φ		H=250
2	AM-1	㋑	〃 350	B	〃 〃		〃 320
3	AM-2	㋑	〃 450	C	〃 〃		〃 330
4	AM-2	㋺	〃 530	D	〃 〃		〃 400
5	AM-2	㋒	〃 600	F	〃 〃		〃 460
6	AM-1	㋒	〃 250	F	〃 〃		〃 550
7	AM-1	㋒	〃 350	G	〃 〃		〃 560
8	AM-2	㋒	〃 450	H	〃 〃		〃 620
9	AM-3	㋒	〃 570	I	RC既製品 300φ		〃 680
注記	AM-1は450φまで対応可						
	AM-2は600φまで	〃					
	AM-3は600φまで	〃					
㊊ 桝調整、㋒ 下期調整、のみ対応します							



汚桝 VC-1　S=1/40

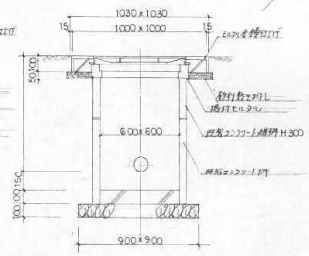
※ 汚水桝設置については別途打合せ

雨水桝 AM-1（H≦420）S=1/40

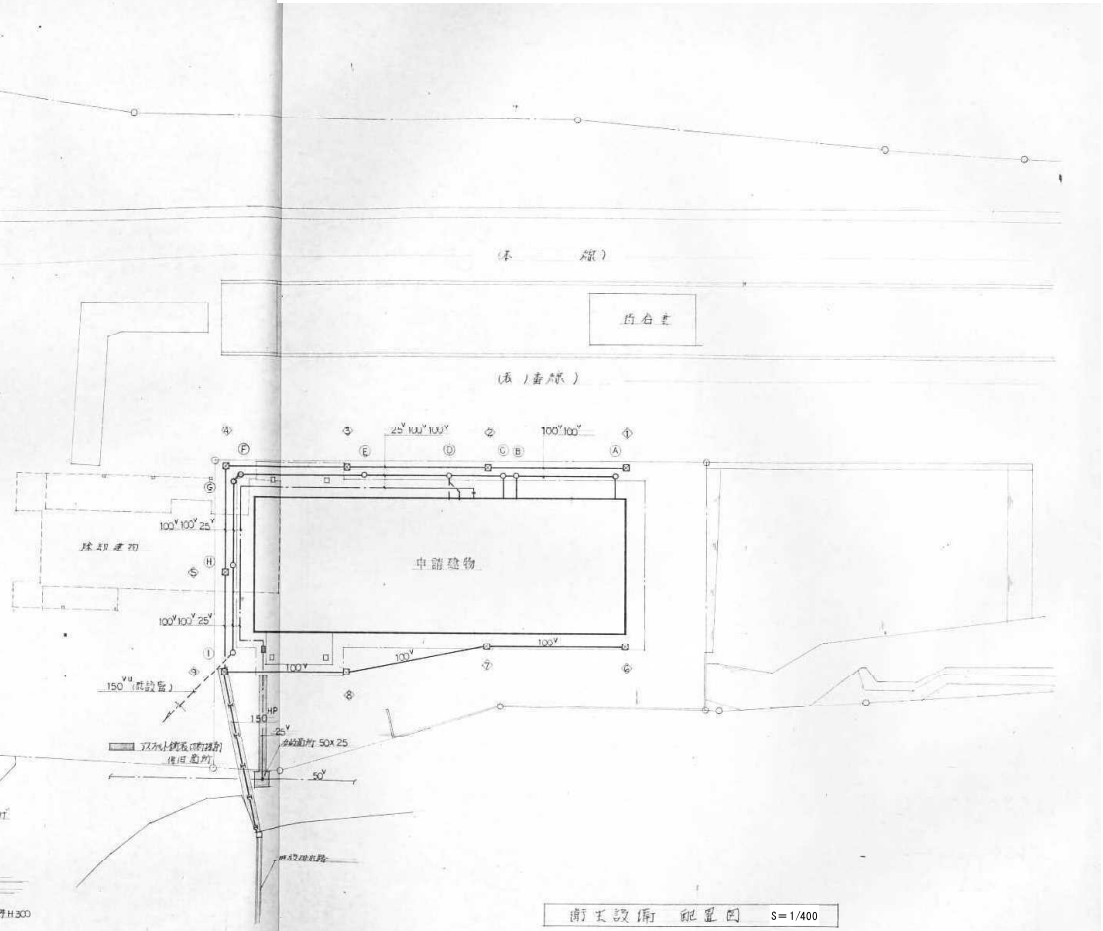


雨水桝 AM 2（430≦H≦570）S=1/40

※ スラブ心の位置は一般参考に従う



雨水桝 AM 3（580≦H≦820）S=1/40



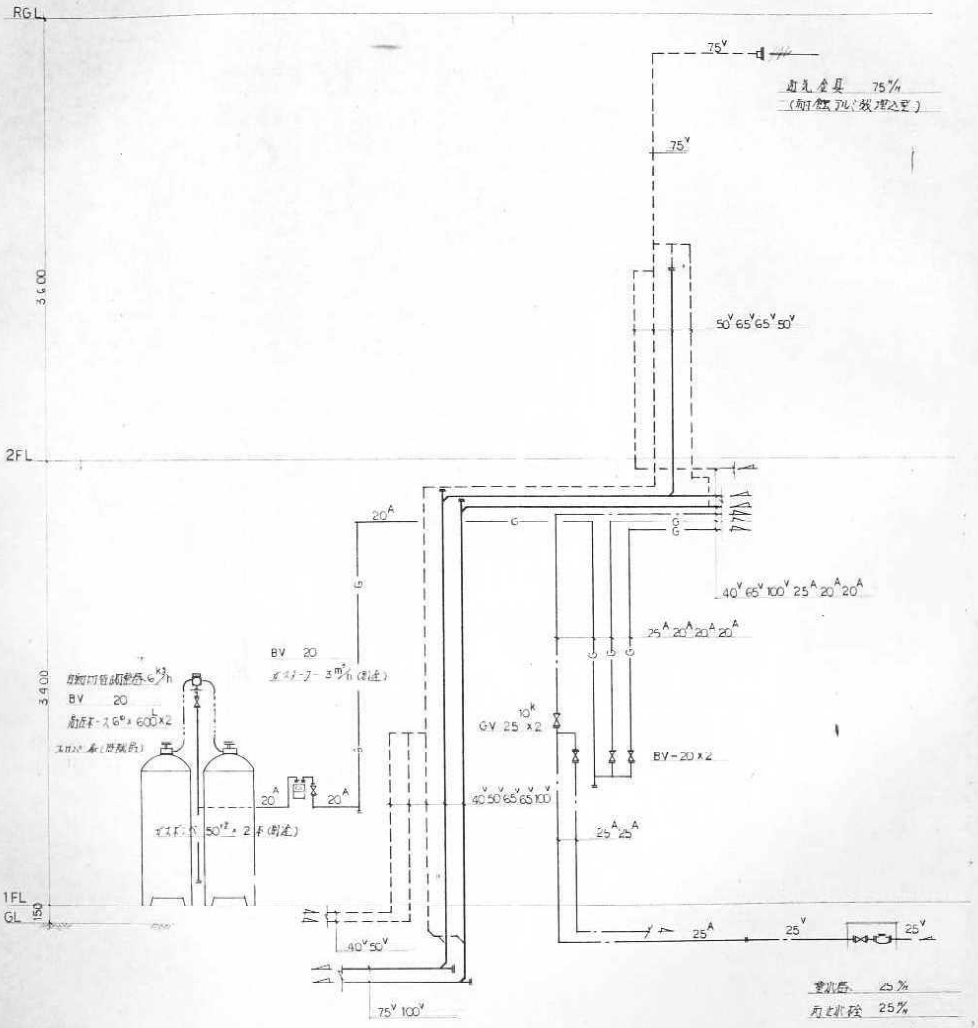
衛生設備 配置図　S=1/400

備考			有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01	図面番号 M-02
				浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	図面名称	衛生設備配置図、桝一覧表	縮尺	1/400 、1/40	意匠 電気 構造

衛生設備器具表

器具名	品番	衛生陶器名	1F ボイラー室	厨房	管理室	男子便所	女子便所	作業員休憩室		2F 便所	映像ブース	レストルーム	合計
和風大便器	C750V, S570B	洗浄弁(埋込型)、化粧鏡付				1	1			1			3
和風暫用便器	C750AV, S570B	〃								1			1
洋風便器	C21, S536B	〃				1	1						2
ストール形小便器(中型)	U-307C, T60P	洗浄弁、化粧鏡付				3							3
洗面器	L220, T210S	自動水栓(電気式)、給排水、排水トラップ共				1	1			1		1	4
手洗器	T5B, T407	〃 〃									1		
掃除流シ	SK22A, T23AE20	床排水口、足踏式開閉弁、ゴミトラップ				1							1
化粧鏡(治具用化粧鏡)	363×455×5[t], TS119AE3	耐震固定				1	1			1	1	1	5
流シ台	1200×550×800[H] (1穴加工)	(NB-S-120)			1								1
手下棚	600×370×500[H]	(NB-A-60H NB-H-60)			1								1
集合用流シ台(2槽)	1000×450×800[H] ④	1穴加工付 (ちどり:ワンピースST-104)									1		①
調理台	1200×450×800[H] ③	(ちどり WTT-124CSA									1		①
ガス台	600×450×600[H] ②	(〃 P-KTT-64)									1		①
ガステーブル(2口)	558×305×75[H] ①	(リンナイ PA-200J) ガスコード、ホースバンド共									1		①
〃 (1口)	310×360×80[H]	(RTS 〃			1								1
ガス瞬間湯沸器	5号(元止式) GH1	(PH-5KB) 給湯配管(水栓T4A 自記温コック、逆止弁、ガスコック共			1								1
〃	8号(強制排気型)付 GH2	(PH-801CM FH) 給湯配管(水栓T4A ガスコック共									1		1
ガス10口ヒューズコック	3/8B (LB)				1								1
ガス20口ヒューズコック	3/8B (LB)										1		1
横形自在水栓(泡沫)	T31S13				1						4		5
吐水口回転型横長横水栓	T200BS13			2									2
自動洗浄付 散水栓	T28-13		1										1
ステンレス製 散水栓ボックス	250×300×100		1					1					2
床排水トラップ	T5A-50					1	1						2
〃	T3A-50							1			1		2
〃	T3D-50									1			1
排水目皿(押釦)	D-50			1									1
排水栓(ワンタッチ)	SNA-50			1									1

○は別途指示する事とする。



衛生設備 系統図 S:NOSCALE

備考														

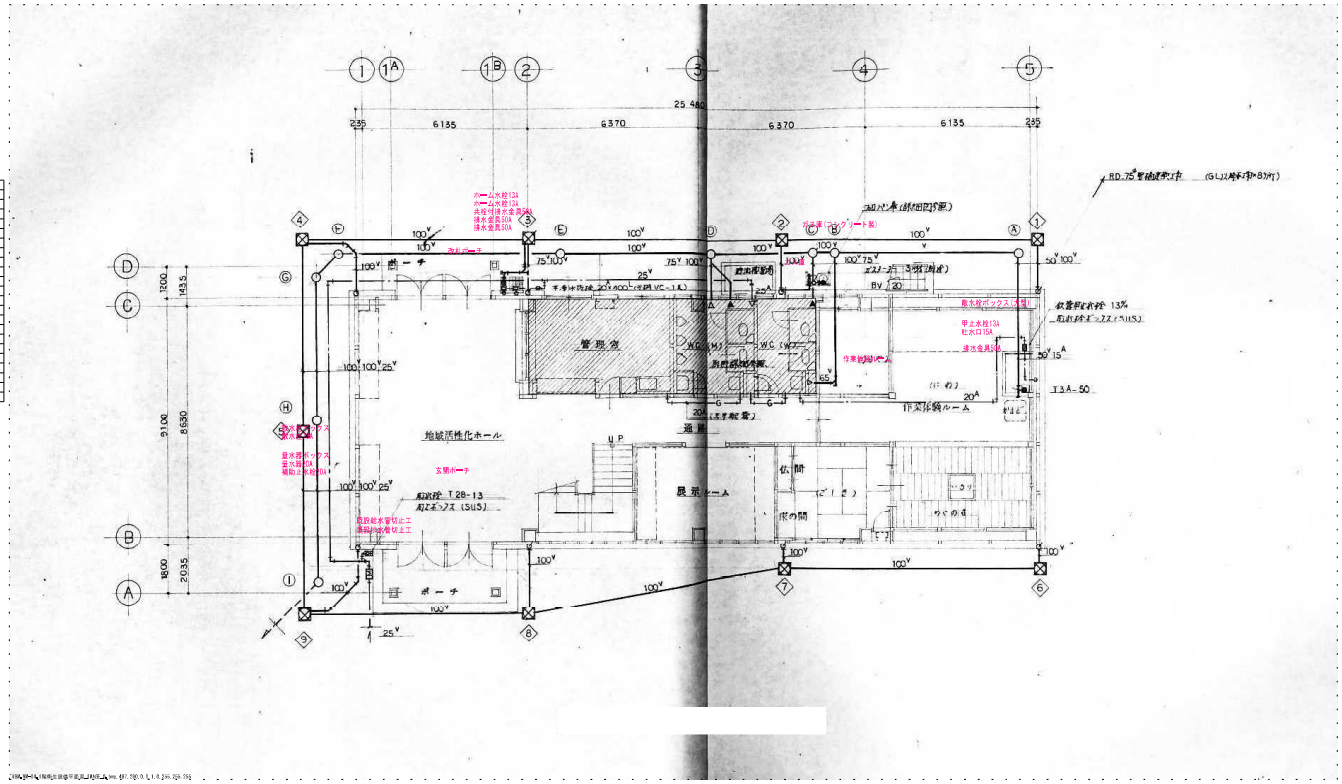
有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)
一級建築士事務所登録(1)第1925号 TEL 025-780-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01
図面名称	衛生設備器具表・系統図	縮尺	図面番号 M-03

意 電 構 設

屋外				
玄関ポーチ				
	給水管	塩ビ管敷去工	VP	25A　0.5m
		塩ビ管切断工		25A　2.0箇所
	排水管	塩ビ管敷去工	VP	100A　0.5m
		塩ビ管切断工		100A　2.0箇所
ガス庫				
	ガス管	鋼管敷去工	SGP	20A　1.4m
		鋼管切断工		20A　2.0箇所
		鋼管敷去工	SGP	15A　0.6m
		鋼管切断工		15A　1.0箇所
1階				
作業休憩ルーム				
	給水管	鋼管敷去工	SGP	20A　0.3m
		鋼管切断工		20A　2.0箇所
作業休憩ルーム(便所)				
	給水管	鋼管敷去工	SGP	20A　1.0m
		鋼管切断工		20A　1.0箇所
		保温材撤去工	アルミガラスクロス	20A　1.0m



1階衛生設備平面図　S＝1/200

屋外				
玄関ポーチ				
	給水管	塩ビ管撤去工	VP	25A　0.5m
		塩ビ管切断工		25A　2.0箇所
	排水管	塩ビ管撤去工	VP	100A　0.5m
		塩ビ管切断工		100A　2.0箇所
ガス庫				
	ガス管	鋼管敷去工	SGP	20A　1.4m
		鋼管切断工		20A　2.0箇所
		鋼管敷去工	SGP	15A　0.6m
		鋼管切断工		15A　1.0箇所
1階				
作業休憩ルーム				
	給水管	鋼管敷去工	SGP	20A　0.3m
		鋼管切断工		20A　2.0箇所
作業休憩ルーム(便所)				
	給水管	鋼管敷去工	SGP	20A　1.0m
		鋼管切断工		20A　1.0箇所
		保温材撤去工	アルミガラスクロス	20A　1.0m

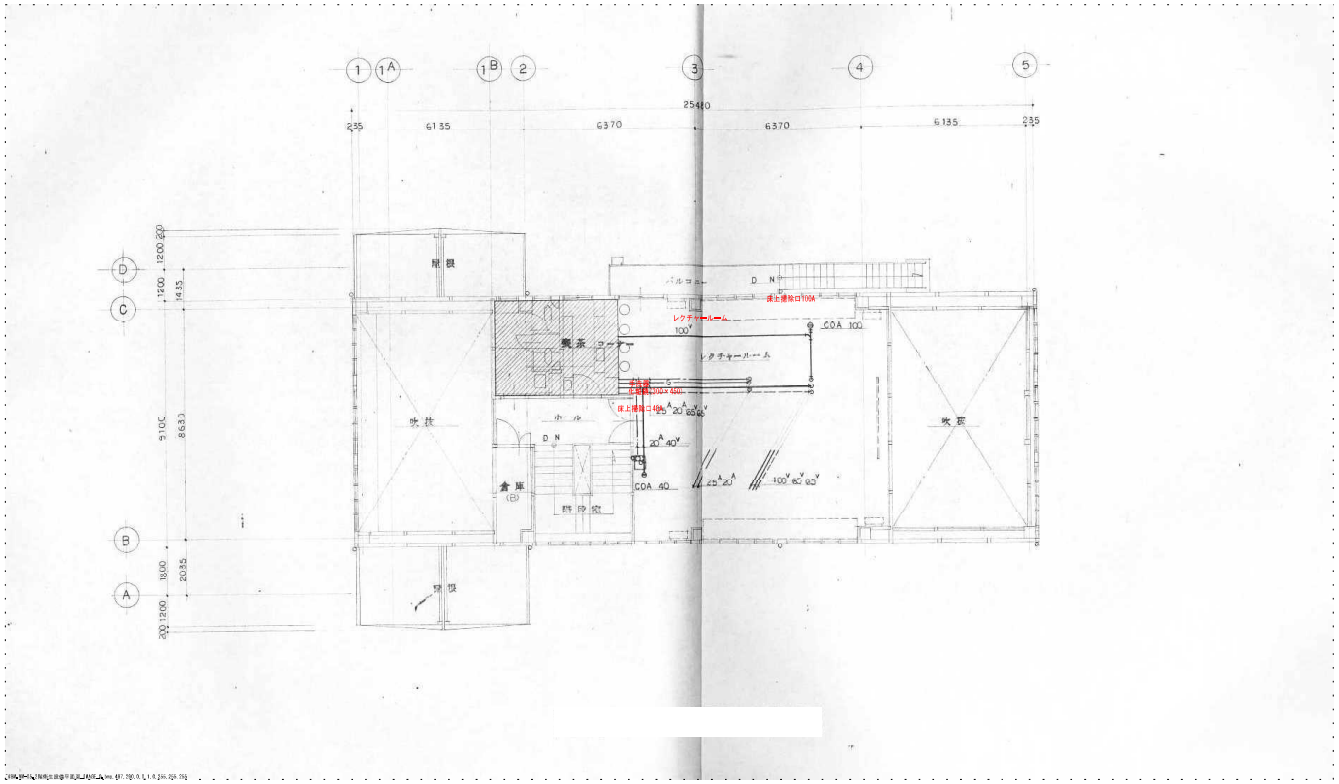
備考					

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第１９２５号　TEL 025-780-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026.01
図面名称	1階衛生設備平面図	縮尺	1/200

図面番号 M-04
意 電 構 施



２階衛生設備平面図　S＝1/200

2階				
レクチャールーム	手洗器		1．0個	
	化粧鏡300×450		1．0枚	
	床上掃除口(蓋のみ)	100A	1．0個	
	床上掃除口(蓋のみ)	40A	1．0個	

2階				
レクチャールーム(壁内)				
給水管	鋼管被去工	SGP	20A	0．7m
	鋼管切断工		20A	1．0箇所
	保温材撤去工	アルミガラスクロス	20A	0．7m
排水管	塩ビ管撤去工	VP	40A	0．5m
	塩ビ管切断工		40A	1．0箇所
	保温材撤去工	アルミガラスクロス	40A	0．5m
レクチャールーム(床下)				
給水管	鋼管撤去工	SGP	25A	4．8m
	鋼管撤去工	SGP	20A	3．6m
	鋼管切断工		25A	3．0箇所
	鋼管切断工		20A	3．0箇所
	保温材撤去工	アルミガラスクロス	25A	4．8m
	保温材撤去工	アルミガラスクロス	20A	3．6m
ガス管	鋼管撤去工	SGP	20A	5．2m
	鋼管切断工		20A	4．0箇所
排水管	塩ビ管撤去工	VP	65A	7．1m
	塩ビ管撤去工	VP	40A	3．6m
	塩ビ管切断工		65A	5．0箇所
	塩ビ管切断工		40A	3．0箇所
	保温材撤去工	グラスウール	65A	7．1m
	保温材撤去工	アルミガラスクロス	40A	3．6m
汚水管	塩ビ管撤去工	VP	100A	9．9m
	塩ビ管切断工		100A	6．0箇所
	保温材撤去工	アルミガラスクロス	100A	9．9m
通気管	塩ビ管撤去工	VP	65A	7．1m
	塩ビ管切断工		65A	5．0箇所

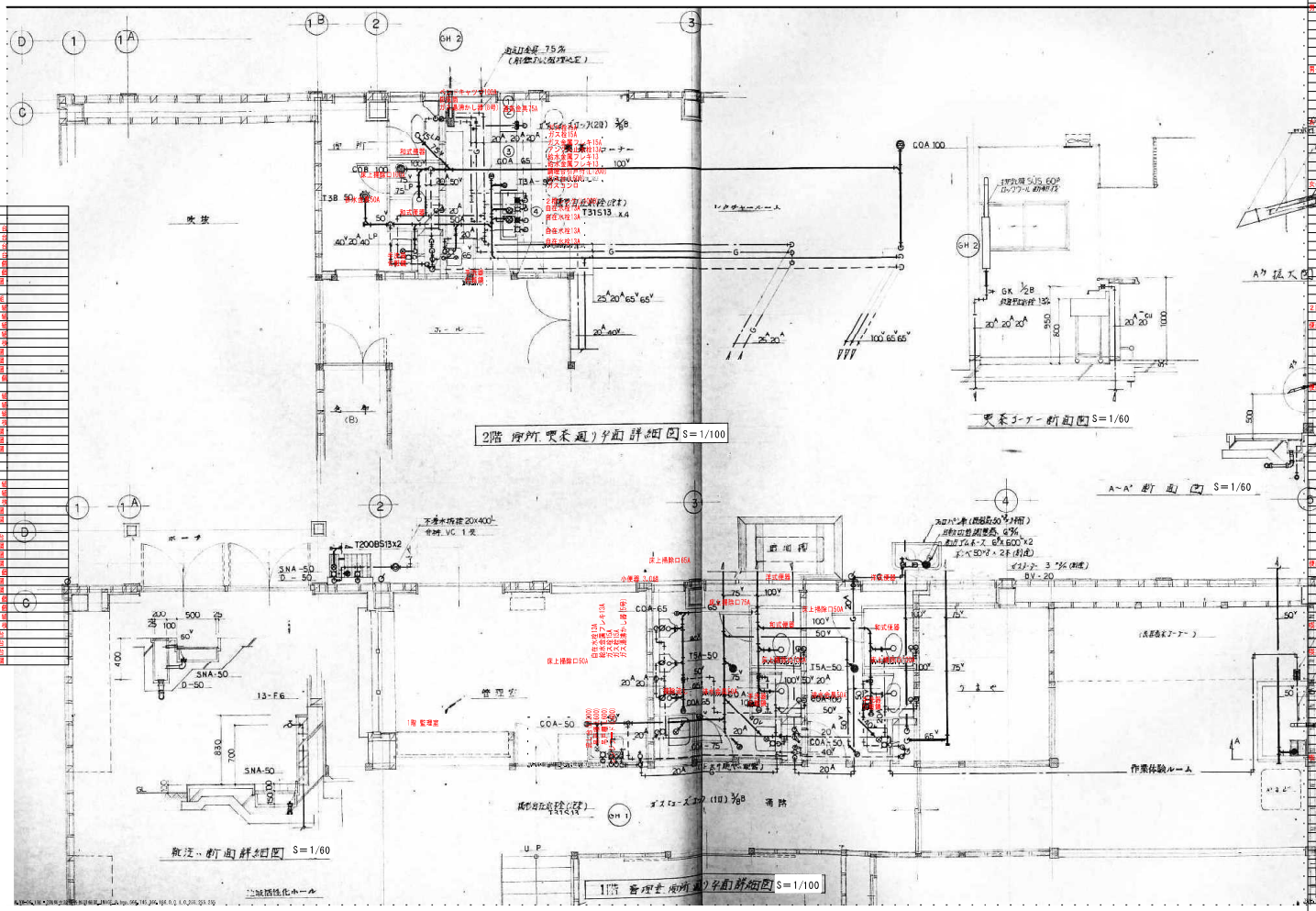
備考

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅 井 守 人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１
図面名称	２階衛生設備平面図	縮尺	1/200

図面番号 M－０５
意 電
構 (設)



1階				
監理室(壁内)				
	流し台 L1200			1.0台
	吊戸棚 L900			2.0台
	レンジフード L600			1.0台
	ガス湯沸かし器 5号			1.0台
	ガス栓	15A		2.0個
	自在水栓	13A		1.0個
	床上掃除口(壁のみ)	50A		1.0個
男子便所	検袖流し			2.0組
	小便器			3.0組
	和式便器(タンク式)			1.0組
	洋式便器			1.0組
	手洗器			1.0組
	化粧鏡300×450			1.0枚
	排水金具(目皿、トラップのみ)	50A		1.0個
	床上掃除口(壁のみ)	100A		1.0個
	床上掃除口(壁のみ)	75A		1.0個
	床上掃除口(壁のみ)	65A		2.0個
女子便所	和式便器(タンク式)			1.0組
	洋式便器			1.0組
	手洗器			1.0組
	化粧鏡300×450			1.0枚
	排水金具(目皿、トラップのみ)	50A		1.0個
	床上掃除口(壁のみ)	100A		1.0個
	床上掃除口(壁のみ)	50A		1.0個
2階				
便所	和式便器(タンク式)			2.0組
	手洗器			1.0組
	化粧鏡300×450			1.0枚
	排水金具(目皿、トラップのみ)	50A		1.0個
	床上掃除口(壁のみ)	100A		1.0個
喫茶ニーナー	ガス湯沸かし器(3号)			1.0台
	排気筒			1.0個
	ベントキャップ	100A		1.0個
	通気金具	75A		1.0個
	ガス栓	15A		2.0個
	ガス栓フレキ	15A		1.0個
	アングル止水栓	13A		1.0個
	給水金具フレキ	13A		2.0個
	自在水栓	13A		4.0個
	手洗器			1.0組
	化粧鏡300×450			1.0枚
	2槽シンク L1000			1.0台
	調理台引戸付 L1200			1.0台
	ガス台 L600			1.0台
	ガスコンロ			1.0個

1階				
監理室(壁内)				
給水管	銅管継去工	SGP	20A	1.8m
	銅管切断工		20A	2.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	1.8m
ガス管	銅管継去工	SGP	20A	1.6m
	銅管切断工		20A	2.0箇所
女子便所(壁内)				
給水管	銅管継去工	SGP	20A	6.4m
	銅管切断工		20A	7.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	6.4m
排水管	塩ビ管撤去工	VP	40A	0.6m
	塩ビ管切断工		40A	1.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	40A	0.6m
男子便所(PS内)				
給水管	銅管継去工	SGP	25A	5.1m
	銅管切断工		25A	4.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	25A	5.1m
ガス管	銅管継去工	SGP	20A	5.8m
	銅管切断工		20A	5.0箇所
女子便所(壁内)				
	銅管継去工	SGP	20A	2.3m
	銅管切断工		20A	3.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	2.3m
排水管	塩ビ管撤去工	VP	40A	0.5m
	塩ビ管切断工		40A	1.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	40A	0.5m
女子便所(PS内)				
給水管	銅管継去工	SGP	25A	3.4m
	銅管切断工		25A	4.0箇所
	弥生材撤去工	グラスウール t20	65A	3.4m
汚水管	塩ビ管撤去工	VP	100A	3.4m
	塩ビ管切断工		100A	3.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	100A	3.4m
通気管	塩ビ管撤去工	VP	65A	3.4m
	塩ビ管撤去工	VP	50A	1.7m
	塩ビ管撤去工	VP	40A	1.7m
	塩ビ管切断工		65A	3.0箇所
	塩ビ管切断工		50A	2.0箇所
	塩ビ管切断工		40A	2.0箇所
2階				
便所(壁内)				
給水管	銅管継去工	SGP	20A	2.3m
	銅管切断工		20A	3.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	2.3m
排水管	塩ビ管撤去工	VP	40A	0.5m
	塩ビ管切断工		40A	1.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	40A	0.5m
便所(床下)				
給水管	銅管継去工	SGP	20A	6.6m
	銅管切断工		20A	5.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	6.6m
排水管	塩ビ管撤去工	VP	50A	3.3m
	塩ビ管撤去工	VP	40A	1.5m
	塩ビ管切断工		50A	3.0箇所
	塩ビ管切断工		40A	2.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	50A	3.3m
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	40A	1.5m
汚水管	塩ビ管撤去工	VP	75A	2.7m
	塩ビ管切断工		100A	2.0箇所
	塩ビ管切断工		75A	3.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	100A	1.8m
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	75A	2.7m
通気管	塩ビ管撤去工	VP	65A	1.0m
	塩ビ管撤去工	VP	50A	3.6m
	塩ビ管切断工		65A	2.0箇所
	塩ビ管切断工		50A	3.0箇所
便所(PS内)				
通気管	塩ビ管撤去工	VP	75A	1.8m
	塩ビ管撤去工	VP	65A	3.6m
	塩ビ管撤去工	VP	50A	3.8m
	塩ビ管切断工		75A	2.0箇所
	塩ビ管切断工		65A	3.0箇所
	塩ビ管切断工		50A	3.0箇所
	塩ビ管撤去工	VP	50A	0.2m
	塩ビ管切断工		50A	2.0箇所
喫茶ニーナー				
給水管	銅管継去工	SGP	20A	3.5m
	銅管切断工		20A	4.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	3.5m
給湯管	銅管継去工	SGP	20A	2.8m
	銅管切断工		20A	3.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	2.8m
ガス管	銅管継去工	SGP	20A	1.6m
	銅管切断工		20A	2.0箇所
通気管	塩ビ管撤去工	VP	40A	0.3m
	塩ビ管切断工		40A	1.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	40A	0.5m
給水管	銅管継去工	SGP	25A	2.9m
	銅管継去工	SGP	20A	16.4m
	銅管切断工		25A	3.0箇所
	銅管切断工		20A	10.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	25A	2.9m
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	16.4m
給湯管	銅管継去工	SGP	20A	6.0m
	銅管切断工		20A	5.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	20A	6.0m
ガス管	銅管継去工	SGP	20A	2.3m
	銅管切断工		20A	5.0箇所
通気管	塩ビ管撤去工	VP	65A	5.3m
	塩ビ管撤去工	VP	50A	2.7m
	塩ビ管撤去工	VP	40A	2.1m
	塩ビ管切断工		65A	4.0箇所
	塩ビ管切断工		50A	3.0箇所
	塩ビ管切断工		40A	3.0箇所
	弥生材撤去工	グラスウール t20	65A	5.3m
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	50A	2.7m
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	40A	2.1m
汚水管	塩ビ管撤去工	VP	100A	2.7m
	塩ビ管切断工		100A	3.0箇所
	弥生材撤去工	アルミガラスクロス	100A	2.7m
通気管	塩ビ管撤去工	VP	65A	2.9m
	塩ビ管切断工		65A	3.0箇所
喫茶ニーナー(天井)				
通気管	塩ビ管撤去工	VP	75A	9.1m
	塩ビ管切断工		75A	5.0箇所

備考		有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(り)第1925号 TEL 025-78-3580・FAX 792-0990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 浅井 守人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日 2026.01 / 図面番号 M-06
					図面名称	1階・2階衛生設備各部詳細図	縮尺 1/100、1/60、1/20 / 意匠 / 構造 / 電気

雪国観光会館建設　工事特記仕様書

工事場所　魚沼市大栃山136番地6

空気調和設備工事特記仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されない事項は、すべて新潟県機械設備工事共通仕様書（昭和60年版）による。
2. 特記仕様
   (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
   特記事項は⊙印のついたものを適用する。
   (2) ⊙印のない場合は※印のついたものを適用する。
   ⊙印と※印のある場合は共に適用する。
   (3) 特記事項に記載の（　）内表示番号は、共通仕様書の当該項目又は表を示す。ただし、建築工事の当該項目又は表は（建　）で示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①適用基準等	設計書の優先順序は次の通りとする。 1. 現場説明書　2. 特記仕様書　3. 図面　4. 設計書　5. 共通仕様書 工事写真の撮り方　建築設備編（社団法人 営繕協会）
	②機材等	機材の製造所及び製品などは、建築資材製造者等指定名簿（新潟県土木部制定 S63）及び監督員の承諾を得たものとする。
	③発生材の処理	⊙構外搬出適切処理　・発生材調書と共に監督員に引渡す。　(1.1.9) ・構内に集積　・監督員の指示により処理
	4. 技能士	技能士を工事現場に（・おく（・a・b・c）・おかない）　(1.5.2) 職種の区分は、下表による。

区分	技能士の種別	作業の内容	作業範囲
a	1級配管技能士	配管工事の施工	機械設備工事の配管
b	1級熱絶縁施工技能士	熱絶縁工事の施工	機械設備工事の保温、保冷、防露
c	1級冷凍空気調和機器技能士	冷凍、冷却及び空気調和機器の据付及び整備	ターボ冷凍機、吸収冷凍機の据付け及び整備

項目	特記事項
⑤工事写真等	建築工事写真撮影要領により撮影し、工事完了後整理のうえ、監督員に提出する。(1.6.2) 工事施工状況写真　※1部　・　部提出する。 完成写真　※1部　⊙2部提出する。 完成写真は ⊙カラー写真とする。　・カラー写真は監督員の指示による。
⑥完成図等	提出する（⊙完成図 ⊙保守指導案内書 ⊙機器性能試験成績書）
⑦足場・さん橋等	※別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　(2.1.1) ・本工事で定置する。
⑧監督員事務所等	※設けない　・設ける（・1号・2号・3号・4号・5号・　m²）　(建2.3.1表) ・仮設事務所の中に監督員用空間を　m²程度確保する。
⑨工事用電力・用水等	工事用電力　構内既存の施設　※利用できる（※有償・無償）・利用できない 工事用水　構内既存の施設　※利用できる（※有償・無償）・利用できない
⑩残土処理	※構内指示の場所に敷きならし　・構内指示の場所にたい積　(2.2.1) ・構外搬出適切処理
11. 地業工事	割り石及び栗石地業　種別（※栗石地業　・割り石地業）　(2.3.1) 砂利地業　種別（・砂利敷き固め　・砂利敷き）　砂利種別（※砂利　・砕石）
12. 鉄筋工事	※異形丸鋼（※A類　・B類）、（※SD30　・SD35）　(2.4.1)(建5.1.1表) ・丸　鋼（※A類　・B類）　(建5.1.2表)
13. コンクリート工事	粗骨材　※砂利　・砕石　・砂利と砕石の混合（　/wt以下）　(建6.2.2) 細骨材　※洗砂　・　(2.4.1) 普通コンクリート　※レデーミクストコンクリート（※Ⅰ類・Ⅱ類）　(建6.1.1表) ・現場練りコンクリート（・機械練り・手練り）　(建6.10.1〜4) 設計基準強度（kg/cm²）　(建6.9.1表) 210 施工箇所（　） 180 施工箇所（　） 150 施工箇所（　） 135 施工箇所（　） 現場練りコンクリート施工箇所（　） 強度試験　※省略する ・下記のコンクリートは、強度試験を実施する。　(建6.11.4) （　）
⑭塗装工事	塗料の品質　※JIS規格品　・規格品　(2.7.1) 塗料の規格種別 さび止めペイント　鉄面　※（JIS K 5622〜5625）・（JIS K 5621） 亜鉛めっき面　※（JIS K 5627）・（JIS K 5629） アルミニウムペイント　鉄面　※（JIS K 5492）
⑮他工事との取合い	電気一次側電源供給の機器の接地は（・本工事　※別途）とする。 電気二次側の機器及び特記のある機器の接地は（※本工事　・別途）とする。 鉄筋コンクリートの躯体（はり・壁・床）の貫通スリーブは（※本工事　・別途）とする。 鉄筋コンクリート部の壁、床に埋込み又は貫通する型わく（壁箱、ダクト、吹出口等）入れは、（・本工事　※別途）とする。 設備用スリーブ及び型わくの開口部の補強鉄筋は（・本工事　※別途）とする。 埋込形器具類の壁及び天井の下地の切込み及び補強は（・本工事　※別途）とし、壁及び天井のボード類の切り込みは（※本工事　・別途）とする。
⑯防災対策	耐震性能を確保するため設備機器及び配管の耐震施工水平震度は次による。 最上階、屋上及び塔屋　・1.0　・1.5 (2.0) 2階床以上　・0.6　・1.0 (1.3) 地階及び1階　・0.4　・0.6 （　）内の数値は防振機器の場合を示す。

17. 保温工事　共通仕様書第1編1.2.9〜1.2.11表による保温の施工種別は、下表により適用する。

屋内配管の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序（グラスウール）	管種及び保温の厚さ（mm）	施工種別	材料及び施工順序（グラスウール）	管種及び保温の厚さ（mm）	施工種別	材料及び施工順序（ポリスチレンフォーム）	管種及び保温の厚さ（mm）	使用区分
A	1.保温筒 2.鉄線 3.原紙 4.綿布	蒸気管 15〜25A 25 32〜50A 30 65〜150A 40 200A 50		1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.原紙 5.綿布	冷温水管 15A 25 20〜25A 30 32〜200A 40	A	1.保温筒 2.原紙 3.綿布	冷水管 15〜25A 30 32〜200A 40	屋内露出配管
B	1.保温筒 2.鉄線 3.原紙 4.アルミガラスクロス	温水管 15〜80A 20 100〜150A 25 200A 40	B	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.アルミガラスクロス	ドレン管 15〜80A 20 100〜150A 25 200A 40	B	1.保温筒 2.ビニルテープ		天井内、パイプシャフト内配管
E	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.防水麻布 5.アスファルトプライマ		E	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.防水麻布 5.アスファルトプライマ		E	1.保温筒 2.アスファルトフェルト 3.防水麻布 4.アスファルトプライマ		床下、暗渠内及びコンクリート内配管
F_1	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.鉄線 5.ステンレス鋼板		F_1	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.鉄線 5.ステンレス鋼板		F_1	1.保温筒 2.アスファルトフェルト 3.鉄線 4.ステンレス鋼板		浴室、厨房などの多湿箇所の配管

注1. 共通仕様書第1編1.2.9表注3後段のロックウール保温材をグラスウール保温材に読み替える。
2. 床貫通部の保温材保護被覆（ステンレス鋼板）の高さは75mm以上とする。

屋外配管の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序（グラスウール）	管種及び保温の厚さ（mm）	施工種別	材料及び施工順序（グラスウール）	管種及び保温の厚さ（mm）	施工種別	材料及び施工順序（ポリスチレンフォーム）	管種及び保温の厚さ（mm）	使用区分
F_1（防凍）	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.鉄線 5.ステンレス鋼板	温水管 20〜25A 50 32〜200A 40	F_1（防凍）	1.保温筒 2.鉄線 3.アスファルトフェルト 4.鉄線 5.ステンレス鋼板	冷温水管 20〜25A 50 32〜200A 40	F_1（防凍）	1.保温筒 2.アスファルトフェルト 3.鉄線 4.ステンレス鋼板	冷水管 20〜25A 50 32〜200A 40	屋内露出配管

機器の保温施工種別

施工種別	材料及び施工順序（ロックウール）	使用区分	保温の厚さ（mm）	施工種別	材料及び施工順序（ポリスチレンフォーム）	使用区分	保温の厚さ（mm）
M_1	1.ブランケット 2.鉄網 3.亜鉛鉄板	ボイラ	75	H_3	1.接着材 2.保温板 3.アスファルトルーフィング 4.鉄線 5.アルミニウム板	冷凍機、冷水槽、冷水管寄せ、冷水ポンプの付属弁	50
M_2	1.ブランケット 2.鉄網 3.着色亜鉛鉄板	煙道	75				
H_1	1.鋲 2.保温板（2号） 3.アスファルトルーフィング 4.鉄線 5.アルミニウム板	冷温水槽、冷温水管寄せ、冷温水ポンプ付属弁	50				
K_3	1.鋲 2.保温板（2号） 3.鉄線 4.アルミニウム板	温水槽、還水槽、熱交換器、温水管寄せ、蒸気管寄せ、膨張水槽	50 膨張水槽 25				

風道の保温施工種別

矩形風道 施工種別	材料及び施工順序（ロックウール）	施工種別	材料及び施工順序（グラスウール）	円形風道（スパイラルダクト） 施工種別	材料及び施工順序（ロックウール）	施工種別	材料及び施工順序（グラスウール）	使用区分	保温の厚さ（mm）
X_1	（中央機械室）1.鋲 2.保温板（2号） 3.亜鉛鉄板	X_2	（各階機械室）1.鋲 2.保温板（2号40K） 3.接着剤 4.アルミガラスクロス	X_1	（中央機械室）1.保温帯 2.鉄線 3.亜鉛鉄板	X_2	（各階機械室）1.保温帯 2.鉄線 3.接着剤 4.アルミガラスクロス	屋内露出風道	50
W	（排煙風道の場合）1.鋲 2.保温板（2号） 3.アルミガラスクロス 4.きっ甲金網	V	1.化粧保温板（ロール状アルミニウムはく貼り2号24K） 2.鉄線 3.目貼り 4.きっ甲金網	W	（排煙風道の場合）1.保温帯 2.鉄線 3.アルミガラスクロス 4.きっ甲金網	V	1.化粧保温板（ロール状アルミニウムはく貼り2号24K） 2.鉄線 3.目貼り 4.きっ甲金網	天井などの屋内隠ぺい風道	25
Y_1	1.鋲 2.保温板（2号） 3.アスファルトルーフィング 4.鉄網 5.亜鉛鉄板		—	Y_1	1.保温帯 2.鉄線 3.アスファルトルーフィング 4.鉄線 5.亜鉛鉄板		—	屋外露出及び浴場、厨房などの多湿箇所の風道	50

注　グラスウール化粧保温板は、建設省告示による不燃材料の認定表示のあるものとする。

項目	特記事項
⑱地中配管のつり金物	屋内最下階の床下土中配管は、床配筋などよりつり金物で支持する。
⑲地中配管等の防食工事	地中埋設の鋼管類（保温されるものを除く）は、~~ペトロラタム系防食用テープ半重ね1~~回巻きの上、JIS Z 1901(防食ビニールテープ)による厚さ0.4mmのものをテープ幅の半重ね2回巻きとする。 最下階の床下露出鋼管、鋼管支持部及びコンクリート貫通部は防食用ビニルテープ(0.4mm)半重ね1回巻きとする。 ただし、各項で特記されたものはこの限りではない。

章	項目	特記事項
② 空気調和設備	1. 方式	・空気調和　・ダクト方式（・定風量　・変風量）　・パッケージ方式 ・ファンコイルユニットダクト併用方式 ・温風暖房　・ダクト方式（・定風量　・変風量） ・ファンコイルユニットダクト併用方式　・ファンコイル方式 ・冷暖房　・暖房専用 ・将来冷房考慮（・ダクトのみ考慮　・ダクト及び機器を考慮） ・温風暖房機 ・空気調和機 ・直接暖房　・コンベクタ　・ファンコンベクタ　・ベースボードヒータ ・温水　・蒸気 ⊙在来暖房　⊙温風暖房（・温風暖房機　・空気調和機） ・直接暖房
	②設計温湿度	（下表）

区分	外気 温度(DB)	外気 湿度(RH)	室内 一般系統 温度(DB)	室内 一般系統 湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
冬季	−14℃	66%	22℃	成行 %	℃	%	℃	%

項目	特記事項
3. 機器に付属する制御盤	共通仕様書第1編2.9.3による。ただし下記の項目は本仕様による。 ・故障表示及び故障表示用無電圧接点並びに端子を設ける。 ・往復動冷凍機、パッケージ形空気調和機、遠心冷凍機、吸収冷凍機及び冷温水発生機には、ポンプインタロック用端子を設ける。 ・往復動冷凍機には、冷凍機操作用の遠方、手元切換スイッチを設ける。 ・遠心冷凍機の主開閉器は気中式とする。 ・電動機停止時には、電動機及び進相コンデンサは無電圧となるように主回路に電磁接触器を設ける。 ・パッケージ形空気調和機（ルームエアコンを含む）で圧縮機の電動機出力3.75KW以下のものは、製造者標準品でもよい。ただし、機器の総合力率が90%未満のものには進相コンデンサを取付ける。 ・進相コンデンサの容量が電力会社の電気供給規定にないものは、定格総力時における改善後の力率を90%として選定する。
4. 煤煙濃度計	※設ける（電源はバーナ電源（2次側）より取出すものとし配管配線は（※本工事・別途）とする）　・設けない　(1.1.9)
5. ばいじん量測定口	・設ける（測定口は径150φとし、取付部は煙道の直線部とする） ・設けない
6. 煙突	・本工事　・別途
7. 煙道	※本工事　・別途　鋼板の厚さ（※3.2mm　・4.5mm）　(1.1.8)
8. 放熱器付属品	温水用には温水用放熱器弁及びレタンコックを取付ける。　(1.7.5〜10) コンベクタ及びベースボード用の弁及びトラップは（※内蔵　・露出）とする。 蒸気用給湿器を（・取付ける　・取付けない）
9. 風道	・低速風道　・高速風道　(2.2.1)
10. 風量測定口	取付け箇所は、下記による。　(2.2.6) ・図示した位置 ・送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・外気取り入れダクト ・空調機出口チャンバの分岐ダクト 取付個数は、共通仕様書第3編2.2.5による。
11. チャンバ	内貼りを施すチャンバの表示寸法は外法を示す。 空気調和機、温風暖房機に取付けるサプライチャンバ、レタンチャンバ及び風道系で消音内貼りしたチャンバには、点検口を設ける。点検口の大きさは図示による。 外面に面するガラリに直接取付けるチャンバ及びホッパには、排水管（呼び径20）を取付け、屋外又は間接排水口に導く。
12. 防煙ダンパ	共通仕様書第3編1.11.12によるほか、下記による。　(1.11.12) (1) 自動閉鎖機構はソレノイド（瞬時通電式）又は電動式とし、自動復帰機構は、電動式とする。定格入力はDC 24V、0.7A以下とする。 (2) 煙感知器、連動制御器及び配管配線（煙感知器から連動制御器を経て防煙ダンパに至るまで）は（・本工事　※別途）とする。 防煙ダンパの復帰は（・手動復帰　・遠隔復帰）とする。
13. ピストンダンパ	・手動復帰式　・自動復帰式　(1.11.14)
⑭管	蒸気管　配管用炭素鋼鋼管（黒）　(1.12.1〜2) 油管　⊙~~配管用炭素鋼鋼管（・黒・白）~~ 防食処理鋼管　・PLP管（地中配管） 冷温水管　※配管用炭素鋼鋼管（白）　・ステンレス管 冷却水管　・ライニング鋼管（・VA　・VB）　・ステンレス管 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラへの給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）　・水道用亜鉛めっき鋼管 ドレン管　※配管用炭素鋼鋼管
15. ライニング鋼管の接合	管の接合は、下記によりねじ接合部には管端防食コアを使用する。 ※呼び径80以下はねじ接合、100以上はフランジ接合とする。フランジ接合の場合は、フランジ付管（直管及継手）を使用する。 ・接合は、ねじ接合とする。
16. 弁	・JIS（※5kgf/cm²　・10kgf/cm²）　・バタフライ弁　(1.12.3)
17. 温度計	下記の管及び風道に取付ける。なお、温度計は円形指示計（ブルドン管膨張式）とする。 ・冷凍機の冷水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ・冷温水発生機の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ・ボイラの温水管（送り） ・空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置後の冷温水管（返り） ・熱交換器の温水管（送り、返り） ・冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの返り管 ・空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンバ、レタンダクト、外気ダクト及びレタンチャンバ ・温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気ダクト及びレタンチャンバ
18. 圧力計	下記の管に取付ける。 ・冷凍機の冷却水管（送り、返り）及び冷水管（送り、返り） ・空気調和機の冷温水管（送り、返り） ・直だき吸収冷温水機の冷却水管（送り、返り）及び冷水管（送り、返り） ・熱交換器の温水管（送り、返り） ・冷温水ヘッダー
19. 瞬間流量計又は瞬間流量計取付け用タッピング	下記の管に取付ける。なおタッピングは32Aとする。 ・冷凍機の冷水管及び冷却水管（送り、返り）に（・流量計・タッピング）を設ける。 ・直だき吸収冷温水機の冷温水管及び冷却水管（送り、返り）に（・流量計・タッピング）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管（送り、返り）に（・流量計・タッピング）を設ける。 ・冷温水ヘッダーの送り管に（・流量計・タッピング）を設ける。
⑳可撓継手~~の性能~~	※共通仕様書第2編1.7.10による。⊙ コイル巻処理 ・合成ゴム製は、下表により適用する。

呼び径	40以下	50〜80	100以上
全長mm	300以上	以上	以上

項目	特記事項
21. 送風機ポンプ等の防振基礎	防振材を使用する場合の防振材の種類及び振動絶縁効率は、下記による。 ・ゴム　（効率　%以上） ・スプリング　（効率　%以上）
22. つり金物	※機械室内配管で振動の伝播を防ぐ必要のある場合のつり金物は、下表による。　(2.2.3)(3.2.3)

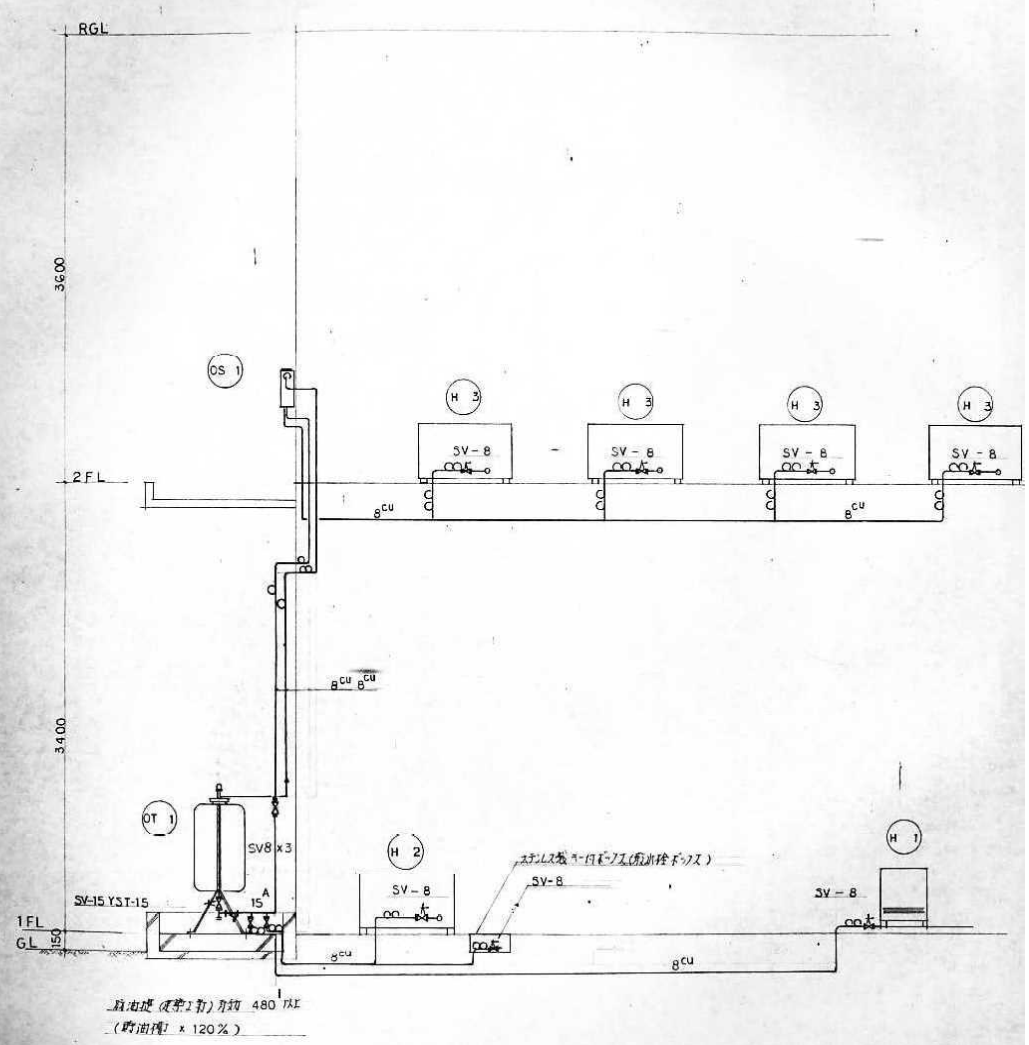
機械室名				
防振つり金物	シングル	※	※	※
	ダブル	・	・	・
施工範囲		冷却水管、冷温水管、温水管、風道		

項目	特記事項
23. 油槽用付属金物	油槽ふた ※標準図（・WPM−AW　・WPM−DW）による。　・汎用形 漏えい検査管口用ボックス（・取付ける　・取付けない） 遠隔油量指示計　指示ユニット（※屋内側取付け　・油槽側取付け） 屋外警報ブザ　（・取付ける　・取付けない　・プルーボックス付） エアパージ式油量計（・900形　・1200形） 油面制御装置（・本質安全防爆形SUSフロート・汎用油入り防爆形フロートスイッチ） 油面計（・フロート式　・ダイヤフラム側圧式　・ガラスゲージ）
㉔油配管	管の接合は、原則として溶接接合とする。溶接工は、~~JIS Z 3801（溶接技術検定における試験方法及び判定基準）による検定に合格した者とし、監督員の承諾を受ける。~~ 防食処理鋼管
㉕消火器の設置	下記の箇所に消火器を設置する。 ・ボイラ室　能力単位　個　・格納箱 ⊙地下タンク貯蔵所　能力単位 3　1 個　（※鋼板製・ステンレス鋼板製）
26. 蒸気配管	管の接合のうち溶接接合は、「ボイラ構造規格」に定めるアーク溶接とし、溶接工は、前記油配管の項による。
27. 保温工事	返り風道の保温（保温の厚さ25mm）　・要　※不要 外気風道の保温（保温の厚さ25mm）　・要　※不要 仕様は、一般共通事項16、保温工事（X_2）による。
28. 消音工事	チャンバ類及び風道の消音内貼り（図示箇所）は下記による。　(2.2.6) サプライチャンバ　1. 鋲　2. グラスウール保温板（2号40K厚さ50mm） 3. ガラスクロス　4. 鋼きっ甲金網 レタンチャンバ吹出口等のチャンバ風道の消音エルボ 1. 鋲　2. グラスウール保温板（※2号40K厚さ25mm・2号24K） 3. ガラスクロス 消音内貼りを施したチャンバ及び風道の保温は不要とする。
㉙油管の防食工事	~~PLP管の溶接接合部は、ペトロラタム系防食テープ半重ね1回巻きの上、防食用ビニルテープ(0.4%)半重ね2回巻きとする~~⊙防食処理鋼管の埋設部は防食テープ2巻
30. 自動制御	配管配線の種類、太さ、本数及び盤類等の寸法で図示されないものは、製造業者等の標準仕様とする。
㉛測定表	工事が完成したときは、監督員の指示により、下記の測定表を提出する。 ⊙温度　・湿度　・風量　・騒音
③換気設備 ①風道	※低速風道（スパイラルダクト）　(2.2.1) ・下記の部分は、1番手厚いものを適用する。 範囲（・厨房用排気ダクト　・　）
2. 風量測定口	取付位置は（・図示した位置・送風機吐出ダクト又は吸込ダクト・外気取入れダクト）
3. 防煙ダンパ	空気調和設備の防煙ダンパの項による。　(1.11.12)
4. ピストンダンパ	空気調和設備のピストンダンパの項による。　(1.11.14)
5. 多湿箇所の風道範囲	・厨房　・浴室
4 排煙設備 1. 風道	・亜鉛鉄板　・普通鋼板製（厚さ1.6mm）　(2.2.3)
2. 排煙口の形式	・天井取付け（1枚形　・　）　(1.11.9) ・壁取付け　（表面スリット形　・　）
3. 排煙口開放装置	・手動　・手動及び遠隔操作可能なもの
4. 排煙風量測定	※建築設備定期検査業務基準指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
追加特記事項	1. 衛生設備 追加特記事項に準ずる。

有限会社 サクライ設計	設計者等 氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	図面番号
新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(9)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	浅井 守人	一級建築士登録 第242222号	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	2026.01	M-07
			図面名称：（建設時）空気調和設備工事特記仕様書	縮尺	意匠 電 機

暖房換気設備　機器表

記号	機器名	仕様	電源	容量	台数	備考
H 1	石油気化式温風暖房機	暖房能力 3,400kcal/h、石油消費量 0.44L/h 前面化粧カバー、脚ラムダモ、加湿コンセント、給排気筒共	1φ 100	620W～53W	1	CFF-V366S
H 2	〃	暖房能力 4,000kcal/h、石油消費量 0.52L/h 前面化粧カバー、脚ラムダモ、加湿皿、給排気筒共	1φ 100	580W～53W	1	CFF-V12SV
H 3	〃	暖房能力 5,510kcal/h、石油消費量 0.64L/h 前面化粧カバー、脚ラムダモ、加湿皿、給排気筒共	1φ 100	617W～64W	4	CFF-L16C
OS 1	オイルサーバー	吸上量 350cc/min、揚程 6m 時、吐出圧 8cu	1φ 100V	17W	1	OS-3A
OT 1	地上型貯油槽	有効容量 400L、鋼板製 ﾌｧｰﾌﾟﾗｲﾝ(20A) 14φ×4(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ)			1	OT-D461
F 1	天井埋込換気扇 (低騒音 1ランク下)	150φ×150m³/h×3mmAq	1φ 100V	18.5W	1	VD-18ZX W　P-18FA
F 2	天井埋込換気扇 (低騒音形)	150φ×160m³/h×3mmAq	1φ 100V	19W	3	VD18ZS　P-18FA
F 3	〃 (標準形)	150φ×270m³/h×3mmAq	1φ 100V	35W	1	VD18Z　P-18FA
F 4	〃 (低騒音、ルーバ付)	150φ×270m³/h×3mmAq	1φ 100V	35W	6	VD-18ZXP-W　P-18FA
F 5	壁付換気扇 (ルーバ付)	250φ×570m³/h	1φ 100	17W	2	EX-25EX-L　P25CA2



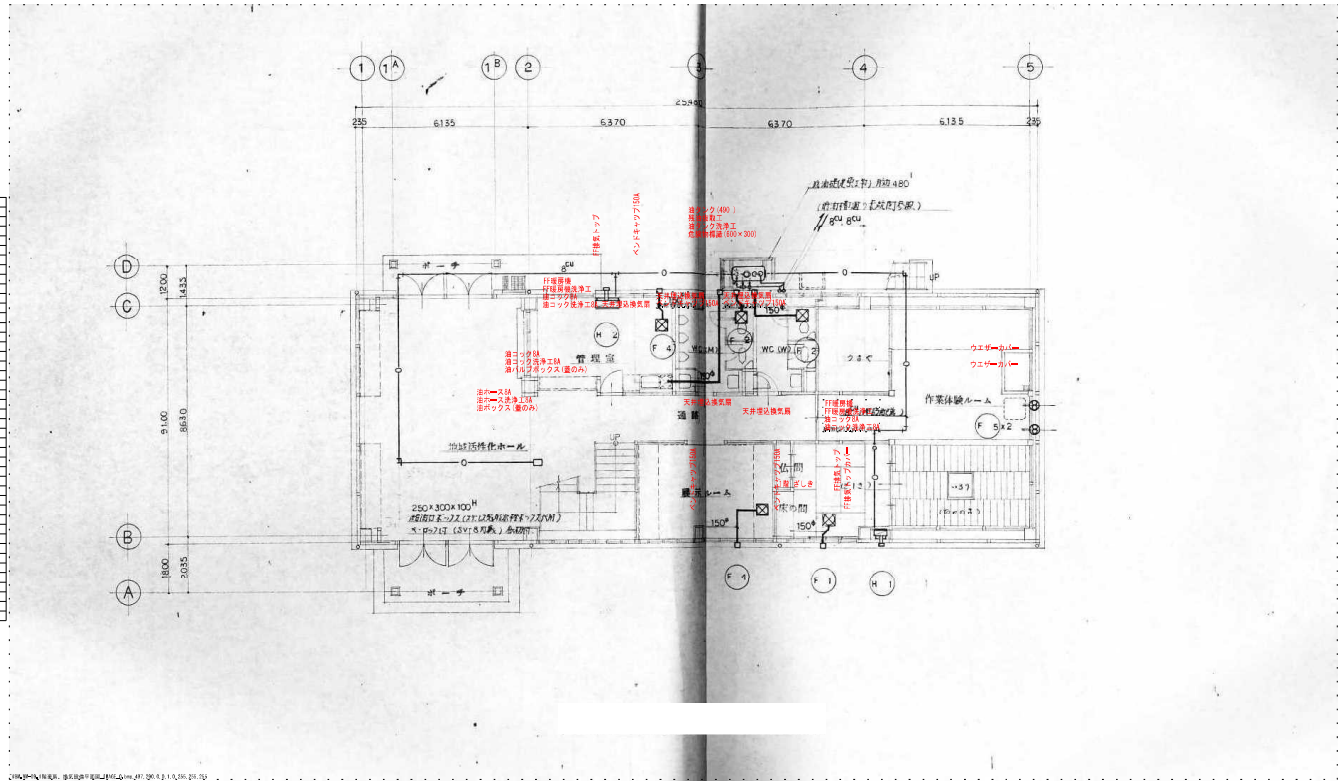
暖房設備　系統図　S:NOSCALE

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町）
一級建築士事務所登録(1)第１９２５号 TEL 025-792-3580・FAX 792-0990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事
図面名称	暖房、換気設備機器表・系統図
年月日	2026.01
尺	
図面番号	M-08
意匠	②
構	
設	

屋外				
油タンク	油タンク（490）		1．0基	
	残油処理工		1．0基	
	油タンク洗浄工		1．0基	
	危険物標識（600×300）		2．0枚	
1階				
地域活性化ホール	油ホース	8A	1．0本	
	油ホース洗浄工	8A	1．0本	
	油ボックス（置のみ）		1．0個	
	油コック	8A	1．0個	
	油コック洗浄工	8A	1．0個	
	油バルブボックス（置のみ）		1．0個	
管理室	天井埋込換気扇		1．0台	
	ベンドキャップ	150A	1．0個	
	FF暖房機		1．0台	
	FF排煙横洗浄工		1．0台	
	FF排気トップ		1．0個	
監理室（壁内）	油コック	8A	1．0個	
	油コック洗浄工	8A	1．0個	
男子便所	天井埋込換気扇		1．0台	
	ベンドキャップ	150A	1．0個	
女子便所	天井埋込換気扇		1．0台	
	ベンドキャップ	150A	1．0個	
展示ホール	天井埋込換気扇		1．0台	
	ベンドキャップ	150A	1．0個	
ざしき	油コック	8A	1．0個	
	油コック洗浄工	8A	1．0個	
	天井埋込換気扇		1．0台	
	ベンドキャップ	150A	1．0個	
	FF暖房機		1．0台	
	FF暖房横洗浄工		1．0台	
	FF排気トップ		1．0個	
	FF排気トップカバー		1．0個	
作業体験ルーム	ウエザーカバー		2．0個	

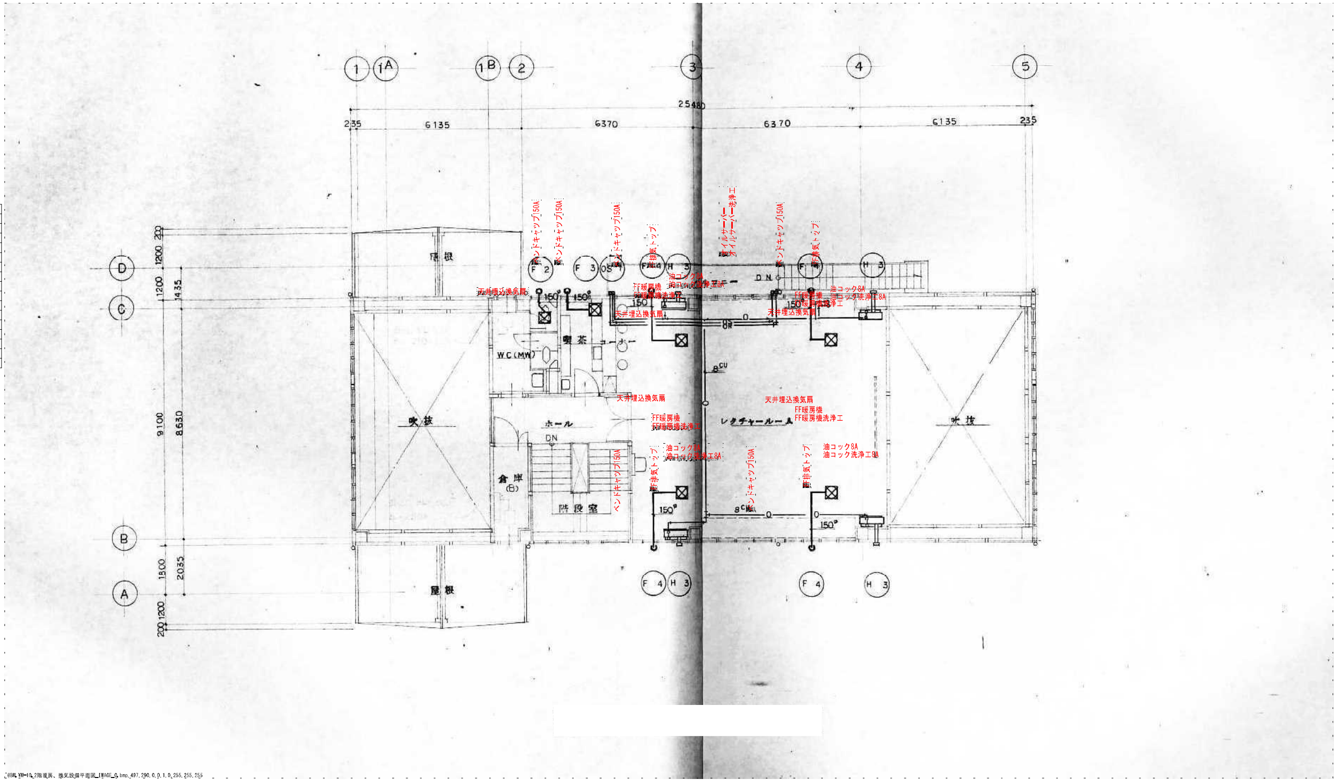


屋外				
屋外（油タンク）				
油管	鋼管撤去工	SGP	15A	5．8m
	油管洗浄工		15A	5．8m
	鋼管切断工		15A	4．0箇所
油管	鋼管撤去工		8A	7．5m
	油管洗浄工		8A	7．5m
	被覆鋼管切断工		8A	5．0箇所
1階				
監理室（壁内）				
油管	被覆鋼管撤去工		8A	0．5m
	油管洗浄工		8A	0．5m
	被覆鋼管切断工		8A	1．0箇所
監理室（天井内）				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	7．5m
	スパイラルダクト切断工		150A	4．0箇所
男子便所（天井内）				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	0．8m
	スパイラルダクト切断工		150A	1．0箇所
女子便所（天井内）				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	2．7m
	スパイラルダクト切断工		150A	2．0箇所
展示ホール（天井内）				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	2．3m
	スパイラルダクト切断工		150A	2．0箇所
ざしき（壁内）				
油管	被覆鋼管撤去工		8A	0．5m
	油管洗浄工		8A	0．5m
	被覆鋼管切断工		8A	1．0箇所
ざしき（天井内）				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	0．8m
	スパイラルダクト切断工		150A	1．0箇所

1階暖房、換気設備平面図　S＝1/200

備考										
			有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６（小出東町） 一級建築士事務所登録(り)第１９２５号 TEL 025-10-1588・FAX 792-0990 一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等 氏名 浅 井 守 人	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号	工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	２０２６．０１	図面番号 M－０９
						図面名称	１階暖房、換気設備平面図	縮尺	1/200	意匠 電気 構造

2階				
便所	天井埋込換気扇		1．0台	
	ベンドキャップ	150A	1．0個	
喫茶コーナー	ベンドキャップ	150A	1．0個	
レクチャールーム	油コック	8A	4．0個	
	油コック洗浄工	8A	4．0個	
	天井埋込換気扇		4．0台	
	ベンドキャップ	150A	4．0個	
	FF暖房機		4．0台	
	FF暖房機洗浄工		4．0台	
	FF排気トップ		4．0個	
バルコニー	オイルサーバー		1．0台	
	オイルサーバー洗浄工		1．0台	



2階				
便所(天井内)				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	0．8m
	スパイラルダクト切断工		150A	1．0箇所
喫茶コーナー(天井内)				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	1．8m
	スパイラルダクト切断工		150A	1．0箇所
換気筒	保温撤去工		150A	1．8m
レクチャールーム(壁内)				
油管	被覆銅管撤去工		8A	58．5m
	油管洗浄工		8A	58．5m
	被覆銅管切断工		8A	31．0箇所
レクチャールーム(床下)				
油管	被覆銅管撤去工		8A	2．0m
	油管洗浄工		8A	2．0m
	被覆銅管切断工		8A	4．0箇所
レクチャールーム(天井内)				
換気管	スパイラルダクト撤去工		150A	11．7m
	スパイラルダクト切断工		150A	8．0箇所
バルコニー(壁内)				
油管	被覆銅管撤去工		8A	3．9m
	油管洗浄工		8A	3．9m
	被覆銅管切断工		8A	6．0箇所

２階暖房、換気設備平面図　S＝1/200

備考

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島１２０９番地１６　（小出東町）
一級建築士事務所登録(リ)第１９２５号　TEL 025-792-3586・FAX 792-9990
一級建築士登録 第２４２２２２号 管理建築士 浅 井 守 人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
浅井 守人	一級建築士登録 第242222号

工事名称	魚沼市入広瀬雪国観光会館解体撤去工事	年月日	2026．01	図面番号 M-10
図面名称	２階暖房、換気設備平面図	縮尺	1/200	意 電 構 機